

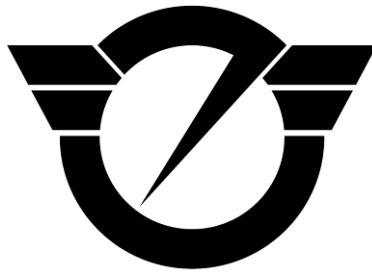
消 防 年 報

2022年(令和4年)版



遠距離送・排水システム車

藤 沢 市 消 防 局



藤 沢 市 市 民 憲 章

制定 昭和39年7月1日

前 文

わたくしたち藤沢市民は、藤沢市を豊かな明るい美しい産業、文化、観光都市とするために、市民ひとりひとりが守るべき規範として、ここに市民憲章を定めます。

本 文

- 1 元気で働き、明るい家庭をつくりましょう。
- 1 つねに健康な心とからだをきたえましょう。
- 1 いつもだれにも親切にしましょう。
- 1 きまりをまもり良い風習をそだてましょう。
- 1 教養を深め、文化の高いまちをきずきましょう。

カワセミ



市 の 鳥

ふ じ



市 の 花

くろまつ



市 の 木

は じ め に

この消防年報は、2021年中（一部2021年度中）における、藤沢市の消防現勢、業務概要、各種統計を収録し、藤沢市消防行政を紹介することを目的に編集しました。


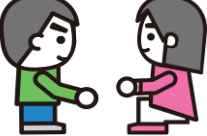


この年報により、藤沢市消防局の現況を認識され、深くご理解いただければ幸いです。

2022年（令和4年）4月

藤 沢 市 消 防 局

藤沢消防の基本指標

2022年（令和4年）4月1日

市勢 人口・世帯数 予算				
	面積	人口	世帯数	消防局予算
	69.56 km ²	441,547人	198,213世帯	6,077,374千円

組織				
	署所	消防職員	消防部隊数	消防団員
	2署 12出張所 1分遣所 1救急ワークステーション	484人	指揮隊 2隊 高度救助隊 1隊 救助隊 2隊 水難救助隊 1隊 消防隊 11隊 救急隊 14隊	445人

車両				
	消防ポンプ車	高規格救急車	救助工作車	梯子車
	17台	18台	3台	4台

災害件数 (2021年)				
	火災（取扱いのみ）	救急	救助（火災活動含む）	119番通報
	87件	22,070件	68件	28,878件

予防		
	防火対象物	危険物施設
	12,486対象	364施設

総 目 次

1	藤沢市の市勢	1 頁
2	消防の概要	5 頁
3	総 務	29 頁
4	予 防	47 頁
5	火 災	69 頁
6	警 防	87 頁
7	救急救命	99 頁
8	救 急	107 頁
9	通信指令	123 頁
10	救 助	133 頁
11	消防団	139 頁
12	その他	151 頁

目 次

1 藤沢市の市勢

1 位置	3
2 地勢	3
3 面積及び広ぼう	3

2 消防の概要

4 消防のあゆみ	7
5 消防力の増強状況	19
6 消防庁舎概況	25

3 総 務

消防組織と事務分掌

7 消防局組織図	31
8 消防署組織図	32

業務概要

9 予算	33
10 「消防出初式」の開催	34
11 消防音楽隊の概要	34

統 計

12 叙位・叙勲者	36
13 消防庁長官表彰授章	43
14 消防職員年齢	43
15 消防職員勤続年数	43
16 消防職員配置表	44
17 消防職員特殊技能資格	45

4 予 防

業務概要

18 火災予防対策	49
19 広報活動	49
20 住宅防火対策の推進	50
21 防火推進員の活動	50
22 防火協力会	51
23 防火対象物の現況	52
24 防火対象物に係る 表示制度	54
25 防火管理及び防災管理に 関する講習	54
26 自衛消防組織の設置と 防災管理	54
27 違反対象物の公表制度	55

28 建築許可等についての 同意事務	55
29 危険物規制事務	56

統 計

30 防火対象物状況	58
31 建築同意処理状況	60
32 各種申請及び届出状況	61
33 危険物製造所等許可数量	64
34 危険物製造所等立入検査 実施状況	66
35 危険物施設の推移・現況	67

5 火 災

火災の実態

36 火災の概要	71
----------	----

統 計

37 火災比較表	72
38 出火時間別火災状況	73
39 署所別火災状況	74
40 地区別火災状況	76
41 月別火災状況	78
42 防火対象物別火災状況	80
43 出火原因別火災状況	82
44 他都市との火災比較	84

6 警 防

業務概要

45 一般業務	89
46 大規模災害対策	89
47 本市の訓練実施状況	89
48 警防施設の整備	90
49 消防車両等の整備	90
50 開発行為規制事務	90
51 広域応援体制	91
52 国際消防救助隊	91
53 歳末火災特別警戒	92

統 計

54 消防局署現有車両	93
55 署所別消防水利設置状況	96
56 開発行為等事務処理状況	97

7 救急救命

業務概要

57 救急救命事業	101
58 救急高度化事業	102
59 応急手当普及啓発推進事業	103
60 救急隊の配置状況	105

8 救 急

統 計

61 総救急件数	109
62 隊別・地区別・ 曜日別救急活動状況	110
63 時間別・収容所要時間別 救急活動状況	112
64 年齢別・傷病程度別・ 応急処置別救急活動状況	114
65 月別救急事故種別一覧表	116
66 過去5年間の救急業務	118
67 医師同乗出動	119
68 ドクターヘリ	119
69 救急業務の推移	120

9 通信指令

業務概要

70 指令システム	125
71 無線設備	127
72 各種装置	127

統 計

73 119番受信状況	129
74 自動案内サービス（音声合成）	130
75 災害出場指令状況	130
76 気象	131

10 救 助

統 計

77 救助活動状況	135
78 月別救助活動状況	136

11 消防団

消防団の概要

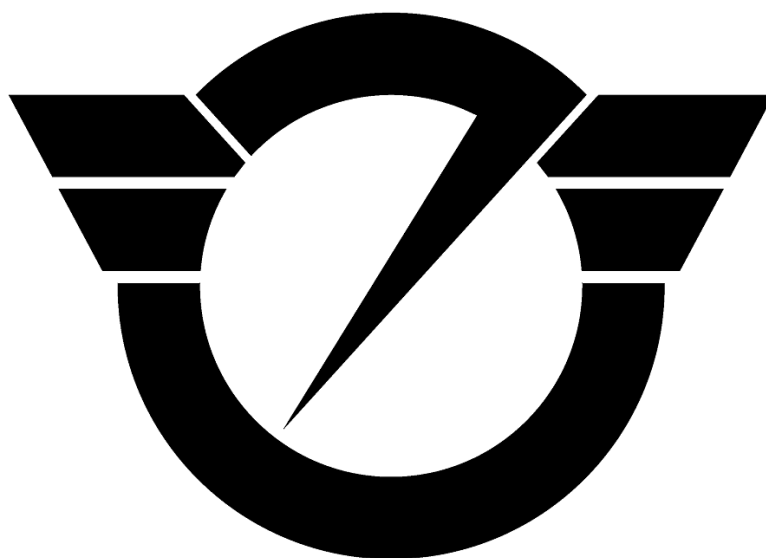
79 藤沢市消防団組織図	141
80 藤沢市消防団施設位置図	142

81 施設及び車両	143
82 消防団員産業別状況	145
83 消防団員年額報酬	146
84 消防団員出動報酬	146
85 過去5年間消防団員の 入団、退団、定数状況	146
86 消防団員勤続年数状況	146
87 消防団員年齢状況	147
88 女性・学生等消防団員数	147
89 消防団の活動状況	148

12 その他

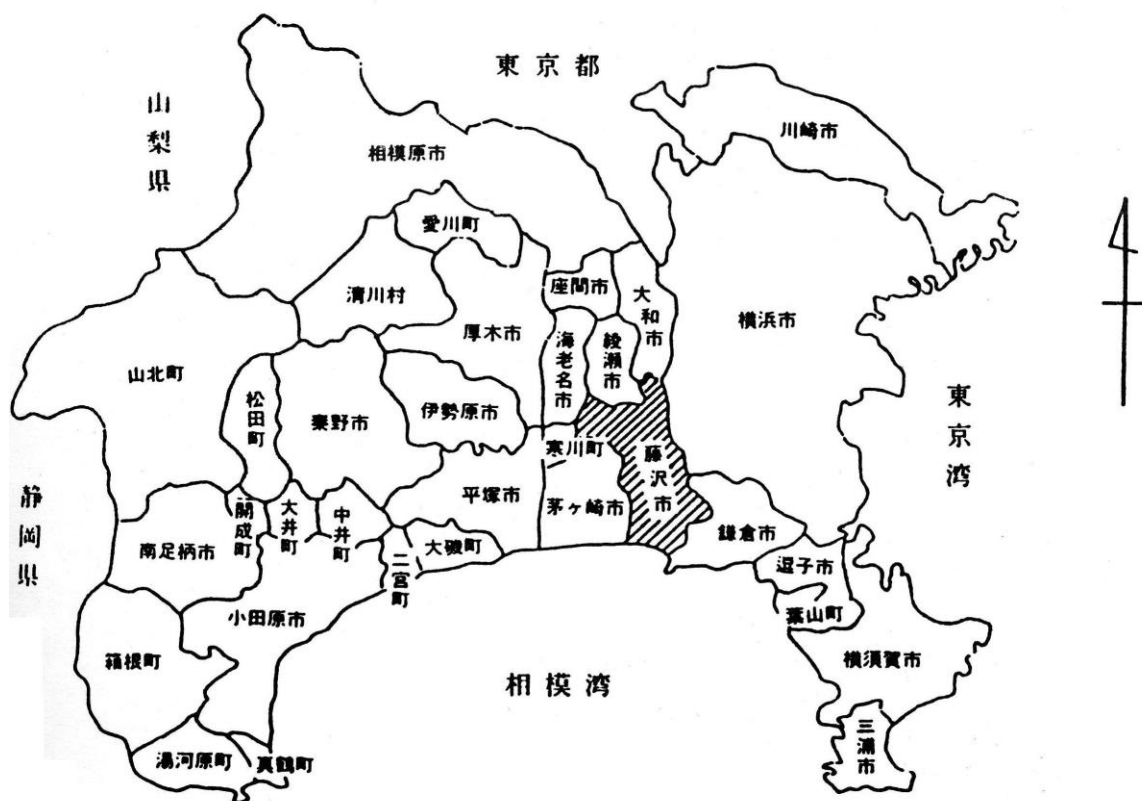
90 藤沢火災史	153
91 自治体消防発足以来の火災状況	156
92 昭和23年以降の主な火災	162
93 過去における風水害等	164

1 藤沢市の市勢



1 位置

藤沢市は、神奈川県の中南部東経139度23分40秒から139度31分6秒、北緯35度17分39秒から35度25分35秒に位置し、JR東海道本線で東京駅まで51.1km（所要時間50分）横浜駅まで22.3km（所要時間20分）で達し、南は相模湾にのぞみ南北に細長く12km、東西に6.55kmで北は大和市、海老名市、綾瀬市に、西は茅ヶ崎市、寒川町に、北東は横浜市に、南東は鎌倉市に接している。



2 地勢

北部は相模原台地の南端に当たる標高40～50mの坦々たる丘陵性の台地を形成し、南部は湘南砂丘の低地部から形成され、境川、引地川等の流域は狭い沖積平野となっている。

3 面積及び広ぼう

面積	周囲	海岸線	東西	南北	江の島周囲
69.56km ²	39.72km	5.25km	6.55km	12.00km	約5km

2 消防の概要



4 消防のあゆみ

1908. 4. 1 (明治41年)	鵜沼、明治村を合併して、藤沢町が発足と同時に、藤沢町消防組を組織する。
1939. 4. 1 (昭和14年)	警防団令公布施行と同時に、消防組と自主的に設置された防護団とを統合して警防団を組織する。
1940. 10. 1 (昭和15年)	市制を施行、藤沢市警防団と改名する。
1941. 6. 1 (昭和16年)	村岡村と合併
1942. 3. 10 (昭和17年)	六会村と合併
1943. 3. 31 (昭和18年)	警防団内に常設消防部を置き、石井金太郎 初代常設消防部長に就任 ◎組 織：部長以下13人 ◎設 備：消防ポンプ1台 ◎設置場所：藤沢市藤沢1番地
1944. 3. 31 (昭和19年)	初代常設消防部長 石井金太郎氏勇退
1944. 4. 1 (昭和19年)	米山実 2代目常設消防部長に就任
1947. 4. 1 (昭和22年)	片瀬町と合併
1947. 8. 14 (昭和22年)	消防団令公布施行により警防団を消防団に改組する。 鈴木竹次郎 初代消防団長に就任 ◎組 織：団長以下団員800人 17個分団 ◎設 備：消防ポンプ自動車10台、三輪ポンプ自動車1台、手引ガソリンポンプ10台
1948. 2. 14 (昭和23年)	常設消防部を警察行政の一部として神奈川県警察に移管し、神奈川県藤沢消防署として発足、小山義雄 初代消防署長に就任 ◎組 織：署長以下17人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 ◎設置場所：藤沢市藤沢1858番地
1948. 3. 7 (昭和23年)	消防組織法の施行に伴い、警察行政から分離して消防本部及び消防署を設置、自治体消防として発足する。 小山義雄 初代消防長に就任 ◎組 織：消防長以下18人 ◎設 備：消防ポンプ自動車2台 ◎設置場所：藤沢市藤沢1858番地
1949. 2. 23 (昭和24年)	定数条例一部改正 36人
1949. 5. 31 (昭和24年)	初代消防団長 鈴木竹次郎氏勇退
1949. 6. 1 (昭和24年)	池田進 2代目消防団長に就任
1949. 10. 16 (昭和24年)	2代目消防団長 池田進氏勇退

1949. 10. 17 (昭和24年)	消防副団長 秋元大太郎 3代目消防団長に就任																																																									
1951. 6. 1 (昭和26年)	市役所庁舎大道東125の5番地に新築移転、併せて、消防本部、署も同庁舎に移転する。																																																									
1951. 6. 15 (昭和26年)	初代消防長 小山義雄氏勇退																																																									
1951. 6. 16 (昭和26年)	元神奈川消防署長 富田伸利 2代目消防長に就任																																																									
1951. 8. 1 (昭和26年)	辻堂出張所を設置する。 ◎組 織：署員12人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 ◎設置場所：藤沢市辻堂1383番地(第8分団詰所内)																																																									
1952. 4. 21 (昭和27年)	藤沢遊行寺本堂において、消防慰霊祭を挙げる。 故藤沢市消防司令補 宮沢 長蔵氏 (昭和26. 7. 17殉職) 故第3分団消防部長 吉野 多吉氏 (昭和17. 7. 20殉職) 故第8分団消防副部長 石井善太郎氏 (昭和26. 3. 7殉職) 故第8分団消防副部長 桜井 太典氏 (昭和26. 3. 7殉職)																																																									
1952. 8. 28 (昭和27年)	定数条例一部改正 55人																																																									
1953. 9. 30 (昭和28年)	藤沢市火災予防条例の制定																																																									
1954. 5. 18 (昭和29年)	救急車1台を本署に配置し、救急業務を開始する。																																																									
1955. 4. 5 (昭和30年)	渋谷町の一部、御所見村、小出村の一部と合併し、これらの消防団を藤沢市消防団に統合。併せて分団名を改正する。 ◎組 織：団長以下639人 31個分団 ◎設 備：消防ポンプ自動車15台(内三輪車4台) 可搬動力ポンプ9台、手引動力ポンプ5台 その他……………4台 (分団名新旧対照表)																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>新</th> <th>旧</th> <th>新</th> <th>旧</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1分団 (江 の 島)</td> <td>17分団</td> <td>17分団 (湘 南 台)</td> <td>13分団</td> </tr> <tr> <td>2 " (片瀬州鼻)</td> <td>16分団</td> <td>18 " (下 土 棚)</td> <td>14分団</td> </tr> <tr> <td>3 " (片瀬西方)</td> <td>15分団</td> <td>19 " (遠 藤)</td> <td rowspan="2">} 小出村 消防団</td> </tr> <tr> <td>4 " (鵜沼海岸)</td> <td>5分団</td> <td>20 " (")</td> </tr> <tr> <td>5 " (本 鵜 沼)</td> <td>4分団</td> <td>21 " (高 倉)</td> <td rowspan="4">} 渋谷町 消防団</td> </tr> <tr> <td>6 " (村 岡)</td> <td>9分団</td> <td>22 " (")</td> </tr> <tr> <td>7 " (南 藤 沢)</td> <td>3分団</td> <td>23 " (長 後)</td> </tr> <tr> <td>8 " (大 鋸)</td> <td>1分団</td> <td>24 " (")</td> </tr> <tr> <td>9 " (本 町)</td> <td>2分団</td> <td>25 " (")</td> <td rowspan="8">} 御所見村 消防団</td> </tr> <tr> <td>10 " (辻 堂)</td> <td>8分団</td> <td>26 " (瀬 郷)</td> </tr> <tr> <td>11 " (羽 鳥)</td> <td>6分団</td> <td>27 " (打 戻)</td> </tr> <tr> <td>12 " (大 庭)</td> <td>7分団</td> <td>28 " (宮 原)</td> </tr> <tr> <td>13 " (石 川)</td> <td>12分団</td> <td>29 " (菖 蒲 沢)</td> </tr> <tr> <td>14 " (西 俣 野)</td> <td>18分団</td> <td>30 " (用 田)</td> </tr> <tr> <td>15 " (亀井野新田)</td> <td>11分団</td> <td>31 " (葛 原)</td> </tr> <tr> <td>16 " (亀 井 野)</td> <td>10分団</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	新	旧	新	旧	1分団 (江 の 島)	17分団	17分団 (湘 南 台)	13分団	2 " (片瀬州鼻)	16分団	18 " (下 土 棚)	14分団	3 " (片瀬西方)	15分団	19 " (遠 藤)	} 小出村 消防団	4 " (鵜沼海岸)	5分団	20 " (")	5 " (本 鵜 沼)	4分団	21 " (高 倉)	} 渋谷町 消防団	6 " (村 岡)	9分団	22 " (")	7 " (南 藤 沢)	3分団	23 " (長 後)	8 " (大 鋸)	1分団	24 " (")	9 " (本 町)	2分団	25 " (")	} 御所見村 消防団	10 " (辻 堂)	8分団	26 " (瀬 郷)	11 " (羽 鳥)	6分団	27 " (打 戻)	12 " (大 庭)	7分団	28 " (宮 原)	13 " (石 川)	12分団	29 " (菖 蒲 沢)	14 " (西 俣 野)	18分団	30 " (用 田)	15 " (亀井野新田)	11分団	31 " (葛 原)	16 " (亀 井 野)	10分団	
新	旧	新	旧																																																							
1分団 (江 の 島)	17分団	17分団 (湘 南 台)	13分団																																																							
2 " (片瀬州鼻)	16分団	18 " (下 土 棚)	14分団																																																							
3 " (片瀬西方)	15分団	19 " (遠 藤)	} 小出村 消防団																																																							
4 " (鵜沼海岸)	5分団	20 " (")																																																								
5 " (本 鵜 沼)	4分団	21 " (高 倉)	} 渋谷町 消防団																																																							
6 " (村 岡)	9分団	22 " (")																																																								
7 " (南 藤 沢)	3分団	23 " (長 後)																																																								
8 " (大 鋸)	1分団	24 " (")																																																								
9 " (本 町)	2分団	25 " (")	} 御所見村 消防団																																																							
10 " (辻 堂)	8分団	26 " (瀬 郷)																																																								
11 " (羽 鳥)	6分団	27 " (打 戻)																																																								
12 " (大 庭)	7分団	28 " (宮 原)																																																								
13 " (石 川)	12分団	29 " (菖 蒲 沢)																																																								
14 " (西 俣 野)	18分団	30 " (用 田)																																																								
15 " (亀井野新田)	11分団	31 " (葛 原)																																																								
16 " (亀 井 野)	10分団																																																									

1957. 4. 1 (昭和32年)	片瀬分遣所を設置する。(第2分団と併設) ◎組 織：署員2人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 ◎設置場所：藤沢市片瀬2846番地
1957. 4. 1 (昭和32年)	定数条例一部改正 61人
1957. 7. 15 (昭和32年)	中短波無線局(基地局 1 移動局 4)
1957. 12. 27 (昭和32年)	長後分遣所を設置する。(第23分団と併設、昭和39. 3. 3分離) ◎組 織：署員2人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 ◎設置場所：藤沢市長後513番地
1959. 4. 1 (昭和34年)	定数条例一部改正 63人
1961. 12. 1 (昭和36年)	定数条例一部改正 75人
1962. 7. 1 (昭和37年)	定数条例一部改正 81人
1962. 7. 19 (昭和37年)	鵜沼出張所を設置する。 ◎組 織：署員14人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 ◎設置場所：藤沢市鵜沼5218番地
1962. 7. 23 (昭和37年)	藤沢市火災予防条例制定(昭和28. 9. 30条例第29号は廃止)
1962. 10. 1 (昭和37年)	定数条例一部改正 83人
1963. 4. 1 (昭和38年)	定数条例一部改正 96人
1963. 6. 1 (昭和38年)	中短波無線を超短波無線に切替え業務を開始する。
1963. 7. 1 (昭和38年)	長後出張所を設置する。(分遣所を昇格させる。) ◎組 織：署員12人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 ◎設置場所：藤沢市長後513番地
1964. 3. 31 (昭和39年)	2代目消防長 富田伸利氏勇退
1964. 4. 1 (昭和39年)	消防次長 瀬沼和男 3代目消防長に就任
1964. 4. 1 (昭和39年)	消防署に専任消防署長を置く
1964. 7. 1 (昭和39年)	定数条例一部改正 106人
1964. 7. 1 (昭和39年)	機構改革により、消防本部に総務課、警防課の2課を新設する。
1965. 4. 1 (昭和40年)	定数条例一部改正 110人
1965. 9. 27 (昭和40年)	消防庁舎を鵜沼2121番地に新築、消防本部、消防署を移転する。

1966. 4. 1 (昭和41年)	定数条例一部改正 120人
1966. 6. 16 (昭和41年)	救助隊を編成する。署員 16人
1966. 7. 10 (昭和41年)	警防課を予防課に改め、警防事務を消防署に移管する。
1967. 4. 1 (昭和42年)	定数条例一部改正 126人
1967. 4. 1 (昭和42年)	長後出張所において救急業務を開始する。 ◎組 織：署員6人 ◎設 備：救急自動車1台
1967. 10. 1 (昭和42年)	定数条例一部改正 140人
1968. 2. 1 (昭和43年)	本町出張所を設置する。(第9分団と併設) ◎組 織：署員14人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 2、3階独身寮併設(18人収容) ◎設置場所：藤沢市本町4丁目5番21号
1968. 3. 7 (昭和43年)	消防庁長官から消防本部、消防団に竿頭授与
1968. 4. 1 (昭和43年)	定数条例一部改正 147人
1968. 9. 16 (昭和43年)	消防本部組織を一部改正し、総務課、予防課に加え警防課を新設する。
1968. 12. 25 (昭和43年)	用田分遣所を設置する。(第30分団と併設) ◎組 織：署員2人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 ◎設置場所：藤沢市用田480番地の1
1969. 4. 1 (昭和44年)	定数条例一部改正 154人
1970. 4. 1 (昭和45年)	定数条例一部改正 161人
1971. 12. 16 (昭和46年)	荻田出張所を設置する。(第5分団と併設) ◎組 織：署員14人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 ◎設置場所：藤沢市本鵠沼4丁目3番1号
1972. 3. 31 (昭和47年)	3代目消防団長 秋元大太郎氏勇退
1972. 4. 1 (昭和47年)	消防副団長 広田博 4代目消防団長に就任
1972. 7. 1 (昭和47年)	定数条例一部改正 181人
1972. 10. 1 (昭和47年)	辻堂出張所において救急業務を開始する。 ◎組 織：署員6人 ◎設 備：救急自動車1台
1973. 4. 1 (昭和48年)	定数条例一部改正 195人
1973. 4. 1 (昭和48年)	消防団定数条例一部改正 579人

1973. 4. 10 (昭和48年)	羽鳥出張所を設置する。(第11分団と併設) ◎組 織：署員14人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 ◎設置場所：藤沢市羽鳥4丁目12番21号
1973. 5. 16 (昭和48年)	機構改革により消防本部に消防次長を置き、消防署に庶務、警備第1、2担当(主幹)の3担当を新設する。
1973. 10. 1 (昭和48年)	藤沢市火災予防条例の全部改正
1973. 12. 1 (昭和48年)	六会出張所を設置し、長後出張所に仮配置して業務を開始する。 ◎組 織：署員14人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台
1974. 4. 1 (昭和49年)	定数条例一部改正 209人
1974. 4. 1 (昭和49年)	消防団定数条例一部改正 532人
1974. 6. 1 (昭和49年)	消防署の組織を一部改正、庶務、警備第1、2担当を課に改め、救助第1、2担当(主幹)の2担当を新設する。
1974. 12. 1 (昭和49年)	御所見出張所を設置する。(用田分遣所を昇格させる。) ◎組 織：署員14人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 ◎設置場所：藤沢市用田480番地の1
1975. 4. 1 (昭和50年)	定数条例一部改正 213人
1975. 4. 1 (昭和50年)	機構改革により、消防本部に消防担当次長及び防災担当次長の2担当次長を置き、地震対策課を新設する。
1975. 6. 2 (昭和50年)	広域避難場所を指定する。(市内12か所)
1975. 6. 25 (昭和50年)	地震対策条例を制定
1975. 8. 1 (昭和50年)	自主防災組織の育成始まる。
1975. 10. 4 (昭和50年)	藤沢市消防団葬を市民会館で挙げる。 故第21分団班長 岡本正勝氏 (昭和50. 6. 28殉職)
1976. 1. 1 (昭和51年)	街頭消火器設置開始
1976. 3. 6 (昭和51年)	六会出張所を建設、長後出張所から移転する。(第16分団と併設) ◎設置場所：藤沢市亀井野1261番地の3
1976. 3. 31 (昭和51年)	藤沢市地域防災計画地震対策編策定
1976. 4. 1 (昭和51年)	定数条例一部改正 222人
1976. 6. 1 (昭和51年)	消防署の組織を一部改正し、救助第1、2担当を救助第1、2課に、警備課を南警備第1、2課及び北警備第1、2課に改める。

1976. 7. 1 (昭和51年)	消防団定数条例一部改正 504人
1976. 7. 21 (昭和51年)	本町出張所において救急業務を開始する。 ◎組 織：署員6人 ◎設 備：救急自動車1台
1977. 3. 29 (昭和52年)	藤沢市地域防災計画風水害対策編改正
1977. 4. 1 (昭和52年)	定数条例一部改正 226人
1978. 4. 1 (昭和53年)	定数条例一部改正 233人
1979. 3. 31 (昭和54年)	藤沢市防災行政用広報無線局開局 ◎親 局 1局 ◎支 局 1局 ◎子 局 7局
1979. 4. 1 (昭和54年)	定数条例一部改正 242人
1979. 6. 1 (昭和54年)	消防本部の組織を一部改正し、消防総務担当参事及び消防担当次長を置き、総務課を消防総務担当に改める。
1980. 3. 5 (昭和55年)	消防庁長官から消防本部、消防署、消防団に表彰旗授与
1980. 3. 31 (昭和55年)	消防本部敷地内に防災センターを設置する。
1980. 3. 31 (昭和55年)	善行出張所を設置する。 ◎組 織：署員14人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 ◎設置場所：藤沢市藤沢3415番地の5
1980. 3. 31 (昭和55年)	4代目消防団長 広田博氏勇退
1980. 4. 1 (昭和55年)	消防副団長 秋本良夫 第5代目消防団長に就任
1980. 4. 1 (昭和55年)	消防本部の組織を一部改正し、指令第1、2課を新設する。
1980. 4. 1 (昭和55年)	定数条例一部改正 254人
1980. 6. 12 (昭和55年)	藤沢市火災予防条例全部改正
1980. 7. 11 (昭和55年)	市行政組織及び職制の改正に伴い、消防本部組織等規則及び消防署組織等規程の全部を改正し、消防本部に消防総務室、消防部を新設、消防総務担当を消防総務課に改め、救助第1、2課を消防本部所属とする。
1981. 3. 31 (昭和56年)	東海地震対策に伴い、地域防災計画地震対策編を改正する。
1981. 3. 31 (昭和56年)	5代目消防団長 秋本良夫氏勇退
1981. 4. 1 (昭和56年)	消防副団長 木村千代吉 第6代目消防団長に就任
1981. 4. 1 (昭和56年)	定数条例一部改正 284人

1981. 7. 31 (昭和56年)	3代目消防長 瀬沼和男氏勇退
1981. 8. 1 (昭和56年)	消防総務室長 大久保一 4代目消防長に就任
1981. 10. 1 (昭和56年)	御所見出張所において救急業務を開始する。 ◎組 織：署員8人 ◎設 備：救急自動車1台
1982. 4. 1 (昭和57年)	定数条例一部改正 290人
1982. 4. 1 (昭和57年)	消防本部組織等規則及び消防署組織等規程の全部を改正し、消防本部を消防局に、消防署を南消防署とし、北消防署を新たに設置する。救助第1、2課を廃止し、南消防署警備課に救助隊として所属させる。
1982. 4. 1 (昭和57年)	北消防署を設置する。 ◎組 織：署長以下28人 ◎設 備：指揮車 広報車 消防ポンプ自動車 救急車各1台 ◎設置場所：藤沢市湘南台2丁目7番1号
1983. 3. 1 (昭和58年)	50mの総括無線塔設置
1983. 4. 1 (昭和58年)	定数条例一部改正 298人
1983. 4. 1 (昭和58年)	消防音楽隊を設置する。(隊員44人)
1983. 7. 1 (昭和58年)	消防署組織等規程の一部を改正し、北消防署本署隊を救助隊として所属させる。
1984. 4. 1 (昭和59年)	定数条例一部改正 312人
1984. 7. 10 (昭和59年)	定数条例一部改正 311人
1984. 7. 21 (昭和59年)	消防本部組織等規則の一部改正に伴い、消防総務室を消防部に改める。
1984. 8. 2 (昭和59年)	第34回神奈川県消防操法大会に藤沢市消防団第16分団が出場し、最優秀賞を受賞
1984. 10. 21 (昭和59年)	第9回全国消防操法大会に藤沢市消防団第16分団が県代表として出場し、優良賞を受賞
1985. 3. 8 (昭和60年)	南消防署に訓練塔を設置する。(地上5階建)
1985. 3. 31 (昭和60年)	4代目消防長 大久保一氏勇退
1985. 4. 1 (昭和60年)	土地開発公社 理事長 稲葉易祐 5代目消防長に就任
1985. 4. 1 (昭和60年)	西部出張所を設置する。 ◎組 織：署員22人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 救急車1台 ◎設置場所：藤沢市大庭4364番地の2
1985. 4. 1 (昭和60年)	定数条例一部改正 319人

1986. 3. 31 (昭和61年)	6代目消防団長 木村千代吉氏勇退
1986. 4. 1 (昭和61年)	市行政組織の改正に伴い、消防本部組織等規則及び消防署組織等の規程を一部改正し、消防局を消防本部に改め、消防総務課を消防総務担当に、指令第1、2課を指令一、二課に、南北消防署庶務課を管理課に、警備第1、2課を警備一、二課とした。
1986. 4. 1 (昭和61年)	消防副団長 鯨井義一 7代目消防団長に就任
1987. 5. 1 (昭和62年)	荻田出張所において救急業務を変則的に開始する。
1987. 11. 25 (昭和62年)	辻堂出張所を辻堂5653番地に移転
1988. 3. 9 (昭和63年)	日本消防協会から特別表彰。まといを藤沢市消防団が授章する。
1988. 3. 31 (昭和63年)	7代目消防団長 鯨井義一氏勇退
1988. 4. 1 (昭和63年)	市行政組織の改正に伴い消防本部消防部を廃止、次長制とし、消防総務担当を消防総務課に、地震対策課を市長部局総務部地震防災課とした。
1988. 4. 1 (昭和63年)	定数条例一部改正 322人
1988. 4. 1 (昭和63年)	消防副団長 福島其一 8代目消防団長に就任
1988. 5. 1 (昭和63年)	荻田出張所において救急業務を正式に開始する。 ◎組 織：署員8人 ◎設 備：救急車1台
1988. 6. 30 (昭和63年)	5代目消防長 稲葉易祐氏収入役に就任
1988. 7. 1 (昭和63年)	市場長 佐藤彰美 6代目消防長に就任
1989. 3. 31 (平成元年)	消防緊急情報システムを導入し運用を開始する。
1989. 9. 27 (平成元年)	日本損害保険協会から、普通消防ポンプ自動車1台寄贈を受ける。
1990. 3. 31 (平成 2年)	鵜沼出張所を改築する。3階に津波現地対策本部室を設置する。
1990. 3. 31 (平成 2年)	6代目消防長 佐藤彰美氏勇退
1990. 4. 1 (平成 2年)	南消防署長 亀井敬一 7代目消防長に就任
1990. 12. 10 (平成 2年)	鵜沼出張所で水難救助業務を開始する。
1991. 3. 31 (平成 3年)	7代目消防長 亀井敬一氏勇退
1991. 4. 1 (平成 3年)	消防次長 山口正直 8代目消防長に就任
1992. 4. 1 (平成 4年)	定数条例一部改正 335人
1992. 7. 1 (平成 4年)	長後出張所を長後163番の1に新築移転する。

1993. 2. 1 (平成 5年)	定数条例一部改正 367人
1993. 3. 31 (平成 5年)	8代目消防長 山口正直氏助役付行政課題担当理事に就任
1993. 4. 1 (平成 5年)	市民病院 事務局長 佐藤龍緒 9代目消防長に就任
1995. 3. 31 (平成 7年)	9代目消防長 佐藤龍緒氏民生総務部長に就任
1995. 4. 1 (平成 7年)	消防次長 伊藤昭男 10代目消防長に就任
1995. 7. 29 (平成 7年)	消防本部を藤沢市役所庁舎内に移転
1995. 9. 15 (平成 7年)	南消防署を鵠沼東8番地3号に新築移転
1996. 10. 1 (平成 8年)	藤沢市消防本部消防職員委員会を設置
1997. 4. 1 (平成 9年)	定数条例一部改正 393人
1997. 4. 1 (平成 9年)	女性消防吏員2人採用
1998. 4. 1 (平成10年)	村岡出張所を設置する。 ◎組 織：署員16人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 ◎設置場所：藤沢市渡内656番地の1
1999. 2. 9 (平成11年)	日本消防協会から、指揮広報車1台寄贈を受ける。
1999. 4. 1 (平成11年)	善行出張所において救急業務を開始する。 ◎組 織：署員10人 ◎設 備：救急車1台
1999. 10. 15 (平成11年)	日本損害保険協会から、普通消防ポンプ自動車1台寄贈を受ける。
2000. 3. 31 (平成12年)	10代目消防長 伊藤昭男氏勇退
2000. 4. 1 (平成12年)	消防本部参事兼警防課長 前崎文男 11代目消防長に就任
2000. 4. 1 (平成12年)	消防本部の組織を一部改正し、救急救命課を新設し、指令一・二課を廃止し通信指令課を新設する。
2000. 4. 1 (平成12年)	消防署の組織を一部改正し、南・北消防署に副署長を置き、鵠沼出張所消防隊を鵠沼出張所水難救助隊とした。
2000. 11. 15 (平成12年)	渡内北部土地区画整理組合から、消防広報車1台寄贈を受ける。
2000. 12. 11 (平成12年)	いすゞ自動車株式会社から、高規格救急車1台寄贈を受ける。
2001. 3. 31 (平成13年)	11代目消防長 前崎文男氏勇退
2001. 3. 31 (平成13年)	8代目消防団長 福島其一氏勇退
2001. 4. 1 (平成13年)	消防本部参事兼警防課長 小野寺正一 12代目消防長に就任

2001. 4. 1 (平成13年)	消防副団長 植木謙治 9代目消防団長に就任
2002. 7. 1 (平成14年)	消防本部 藤沢市総合防災センターに移転
2003. 3. 31 (平成15年)	12代目消防長 小野寺正一氏勇退
2003. 4. 1 (平成15年)	総務部長 塩崎不志雄 13代目消防長に就任
2003. 4. 1 (平成15年)	村岡出張所において救急業務を開始する。 ◎組 織：署員10人 ◎設 備：救急車1台
2004. 3. 19 (平成16年)	片瀬分遣所を改築する。(第2分団と併設)
2005. 3. 31 (平成17年)	13代目消防長 塩崎不志雄氏勇退
2005. 4. 1 (平成17年)	消防次長 大津正男 14代目消防長に就任
2006. 2. 9 (平成18年)	藤沢東ロータリークラブから、軽自動車1台寄贈を受ける。
2006. 3. 31 (平成18年)	14代目消防長 大津正男氏勇退
2006. 4. 1 (平成18年)	消防次長 金子司洋 15代目消防長に就任 南藤沢救急隊2を増隊 ◎組 織：署員10人 ◎設 備：救急車1台
2006. 12. 21 (平成18年)	藤沢市消防防災訓練センターを設置する。 ◎所在地：藤沢市石川3417-1 ◎敷地面積：19,573.23㎡ ◎施設内容 ○訓練塔(鉄骨造)3棟(A塔：高さ19.4m、B・C塔：高さ7m) ○耐震性防火水槽40㎡1基 ○模擬消火栓1基 ○教育訓練棟(軽量鉄骨平屋建・延面積210㎡)
2007. 3. 23 (平成19年)	羽鳥出張所を辻堂新町1丁目11番23号に新築移転。名称を明治出張所に改める。
2007. 3. 31 (平成19年)	9代目消防団長 植木謙治氏勇退
2007. 4. 1 (平成19年)	消防副団長 川口勇喜夫 10代目消防団長に就任
2007. 4. 1 (平成19年)	明治出張所において救急業務を開始する。 ◎組 織：署員10人 ◎設 備：救急車1台
2007. 4. 1 (平成19年)	消防署の組織を一部改正し、南・北消防署に指揮隊を新設する。
2008. 3. 31 (平成20年)	15代目消防長 金子司洋氏勇退
2008. 4. 1 (平成20年)	消防本部参事兼救急救命課長 阿部正昭 16代目消防長に就任

2008. 11. 13 (平成20年)	救急振興財団から、救急普及啓発広報車1台寄贈を受ける。
2008. 12. 18 (平成20年)	日本損害保険協会から、ミニ消防車1台寄贈を受ける。
2009. 3. 31 (平成21年)	16代目消防長 阿部正昭氏勇退
2009. 4. 1 (平成21年)	消防本部参事兼救急救命課長 鈴木正明 17代目消防長に就任
2009. 4. 1 (平成21年)	南消防署に高度救助隊を新設する。
2009. 4. 1 (平成21年)	通信指令課に情報通信担当を新設する。
2009. 7. 1 (平成21年)	南本署において高度救助隊の運用を開始する。
2010. 1. 27 (平成22年)	日本消防協会から、防災活動車1台寄贈を受ける。
2010. 12. 15 (平成22年)	大塚達美氏からミニ消防車1台寄贈を受ける。
2011. 3. 31 (平成23年)	17代目消防長 鈴木正明氏勇退
2011. 4. 1 (平成23年)	南消防署長 見澤由郎 18代目消防長に就任
2011. 4. 1 (平成23年)	消防本部に担当部長を新設する。
2012. 3. 31 (平成24年)	18代目消防長 見澤由郎氏勇退
2012. 4. 1 (平成24年)	消防次長 伊澤稔 19代目消防長に就任
2012. 4. 1 (平成24年)	通信指令課の情報通信担当を廃止する。
2013. 3. 31 (平成25年)	19代目消防長 伊澤稔氏勇退
2013. 4. 1 (平成25年)	消防本部参事兼消防総務課長 松藤弘行 20代目消防長に就任
2013. 4. 1 (平成25年)	市行政組織の改正に伴い、消防本部組織等規則及び消防署組織等規程の一部を改正し、消防本部を消防局に、消防次長を副消防局長に、消防局に予防室、警防室、査察指導課を新設し、予防課及び査察指導課を予防室所属、警防課及び救急救命課を警防室所属とし、通信指令課を通信指令担当に改め、警防課所属とする。救急救命課にワークステーション担当を新設するとともに、本町救急隊を配置する。
2013. 4. 1 (平成25年)	藤沢市消防防災訓練センターに自家用給油取扱所を新設する。 ◎所在地：藤沢市石川3417-1 ◎貯蔵量：30,000ℓ（軽油：15,000ℓ、ガソリン：15,000ℓ）
2013. 8. 1 (平成25年)	救急ワークステーションの運用を開始する。
2014. 9. 1 (平成26年)	受付勤務の廃止に伴い、全署所に駆け付け通報装置を設置し運用を開始する。
2015. 3. 1 (平成27年)	藤沢市消防局総合基本指針を策定する。

2015. 12. 7 (平成27年)	日本消防協会から、防災活動車1台寄贈を受ける。
2015. 2. 26 (平成28年)	藤沢東ロータリークラブから、軽自動車1台寄贈を受ける。
2016. 3. 18 (平成28年)	六会出張所を改築する。(第16分団と併設)
2017. 3. 31 (平成29年)	10代目消防団長 川口勇喜夫氏勇退
2017. 4. 1 (平成29年)	消防副団長 井上和弘 11代目消防団長に就任
2017. 4. 1 (平成29年)	定数条例一部改正 443人
2017. 4. 1 (平成29年)	市行政組織の改正に伴い、消防本部組織等規則及び消防署組織等規程の一部を改正し、予防室及び警防室を廃止し、消防局に副消防局長(警防オリンピック・パラリンピック担当)を、警防課にオリンピック・パラリンピック担当を新設する。
2017. 4. 1 (平成29年)	遠藤出張所を設置する。 ◎組 織：署員24人 ◎設 備：消防ポンプ自動車1台 救急車1台 ◎設置場所：藤沢市遠藤2932番地の1
2019. 1. 9 (平成31年)	鬼島忠氏から消防局旗一式寄贈を受ける。
2019. 3. 6 (平成31年)	消防庁長官から消防局、消防団に竿頭授与
2019. 3. 31 (平成31年)	20代目消防長 松藤弘行氏勇退
2019. 4. 1 (平成31年)	副消防局長 衛守玄一郎 21代目消防長に就任
2019. 4. 1 (平成31年)	定数条例一部改正 453人
2020. 4. 1 (令和2年)	六会出張所において救急業務を開始する。 ◎組 織：署員10人 ◎設 備：救急車1台
2020. 4. 30 (令和2年)	11代目消防団長 井上和弘氏勇退
2020. 8. 1 (令和2年)	消防副団長 西山幸成 12代目消防団長に就任
2021. 8. 6 (令和3年)	辻堂出張所を辻堂西海岸2丁目1-17に新築移転する。 (辻堂市民センターと併設)
2022. 4. 1 (令和4年)	消防局組織等規則及び消防署組織等規程の一部を改正し、警防課のオリンピック・パラリンピック担当を廃止。副消防局長(警防オリンピック・パラリンピック担当)を(警防担当)とする。 警防課消防団担当に「主幹」を、警防課通信指令担当に「総括主幹」を新設する。

5 消防力の増強状況

年度	定員の増加		庁舎等の状況	消防車等の増設	公設 消防栓	公設 防火水そう	
発足 当時	18		1本部 1署	消防ポンプ車	2	319	49
昭和 24	増 18 定 36	辻堂出張所及び 充実要員				319	64
25						391	64
26			消防本部、署が市役所庁舎 に移転(6. 1) 辻堂出張所を開所(8. 1)	消防ポンプ車(辻堂)	1	350	75
27	増 19 定 55	消防力の充実要員				360	85
28						407	97
29				救急車(本署)	1	431	107
30						448	112
31						522	135
32	増 6 定 61	長後分遣所及び 片瀬分遣所要員	片瀬分遣所開所(4. 1) 長後分遣所開所(12. 27)	消防ポンプ車 (長後・片瀬)	2	583	139
33						600	142
34	増 2 定 63	消防力の充実要員				617	146
35			辻堂出張所改築(6. 28)			657	151
36	増 12 定 75	鶴沼出張所要員				691	163
37	増 8 定 83	片瀬分遣所及び 救急隊要員	鶴沼出張所新築、 開所(7. 19)	消防ポンプ車(鶴沼) 広報車(本署)	1 1	714	170
38	増 13 定 96	長後出張所要員	長後出張所開所(7. 1)	消防ポンプ車(長後)	1	774	179
39	増 10 定 106	消防力の充実要員				869	198
40	増 4 定 110	各署所及び 本部充実要員	消防本部、署新築移転 (9. 27)			1, 110	197
41	増 10 定 120	消防力の充実要員		梯子車(24m本署)	1	1, 220	201
42	増 20 定 140	長後救急隊及び 本町出張所要員	長後出張所改築(4. 1) 本町出張所新築、開所 (2. 1)	救急車(長後) 消防ポンプ車(本町)	1 1	1, 311	207
43	増 7 定 147	用田分遣所及び本 部署所充実要員	用田分遣所新築、開所 (12. 25)	化学車(本署) 指令車(本部) 消防ポンプ車(用田)	1 1 1	1, 546	219
44	増 7 定 154	荻田出張所要員				1, 680	223
45	増 7 定 161	荻田出張所要員	片瀬分遣所改築(6. 29)			1, 940	225

年度	定員の増加		庁舎等の状況	消防車等の増設		公設 消火栓	公設 防火 水そう
46			荇田出張所新築、開所 (12. 16)	消防ポンプ車(荇田)	1	2, 110	236
47	増定 20 181	羽鳥出張所及び 辻堂救急隊要員		救急車(辻堂)	1	2, 203	262
48	増定 14 195	六会出張所要員	羽鳥出張所新築、開所 (4. 10) 六会出張所開所(長後出張 所に併設)(12. 1)	消防用ポンプ車 (羽鳥・六会) 指揮車(本署) 乗用車(本部)	2 1 1	2, 272	281
49	増定 14 209	御所見出張所及び 救急隊要員	御所見出張所開所 (用田分遣所を昇格) (12. 1)	梯子車(40m本署)	1	2, 429	334
50	増定 4 213	御所見出張所要員	六会出張所新築(3. 6)	起震車(本部)	1	2, 585	368
51	増定 9 222	御所見出張所及び 本町救急隊要員		救急車(本町)	1	2, 731	398
52	増定 4 226	本町救急隊要員	御所見出張所改築(3. 31)			2, 893	425
53	増定 7 233	善行出張所要員		シュノーケル車(本署) 査察車(本部)	1 1	3, 186	476
54	増定 9 242	善行出張所及び 指令室要員	善行出張所新築、開所 防災センター開設(3. 31)	消防ポンプ車(善行)	1	3, 297	527
55	増定 12 254	救助工作車、本部 充実要員、北消防 署開設準備要員				3, 407	582
56	増定 30 284	北消防署要員及び 御所見救急隊要員	北消防署新築(3. 6)	救急車(御所見)	1	3, 480	617
57	増定 6 290	北消防署要員	北消防署開所(4. 1)	消防ポンプ車(北署) 救急車(〃) 指揮車(〃) 広報車(〃) 水防活動車(南署)	1 1 1 1 1	3, 569	650
58	増定 8 298	北消防署救助隊 要員		梯子車(47m南署)	1	3, 631	672
59	増定 13 311	西部出張所要員				3, 708	698
60	増定 8 319	西部出張所要員	西部出張所新築、開所 (4. 1)	消防ポンプ車(西部) 救急車(西部)	1 1	3, 792	727
61			南消防署本署待機室改築 (10. 27)	化学車(北署)	更新1	3, 863	755
62			荇田救急業務開始(5. 1) 辻堂出張所新築移転(11. 25)	梯子車(30m南署)	更新1	3, 918	779
63	増定 3 322	荇田救急隊要員	六会出張所増築(3. 31)	化学車(南署) 工作車(北署) 消防ポンプ車(善行) シュノーケル車(西部)	1 1 更新1 更新1	4, 016	787

年度	定員の増加		庁舎等の状況	消防車等の増設		公設 消火栓	公設 防火 水そう
平成 元			鶴沼出張所改築 (3. 31) 津波現地対策本部室設置	団指令車(本部) 消防ポンプ車 (南署・荻田) 水防車	1 更新2 1	4, 062	825
2				梯子車(40m北署) 指揮車(北署)	更新1 更新1	4, 124	839
3	増 3 定 335			排煙高発泡車(荻田) 水防車(本町・荻田)	1 1	4, 222	845
4	増 32 定 367	週休2日制に伴う 要員 辻堂梯子車要員	長後出張所新築移転 (7. 1) 辻堂出張所梯子車車庫増 築(3. 26)	梯子車(40m辻堂) 高規格救急車 (南署・北署)	1 更新2	4, 243	858
5				指揮車(南署) 消防ポンプ車 (辻堂・西部) 高規格救急車 (本町・西部) 小型ポンプ積載型照 明(御所見)	更新1 更新2 更新2 1	4, 316	868
6			南消防署新築 平成6・7年継続	高規格救急車 (辻堂・長後) 水防用活動車(鶴沼)	更新2 更新1	4, 363	886
7			消防本部移転(7. 29) 南消防署新築移転 (9. 15)	消防ポンプ車 (本町・長後) 高規格救急車 (荻田・御所見) 小型動力ポンプ付大 型水槽車 (御所見・村岡) 海水利用型消防水利 システム	更新2 更新2 2 2	4, 409	884
8				消防ポンプ車(南署) 消防団広報車(警防課) 予防査察車(予防課) 指令車(総務課)	更新1 更新1 更新1 更新1	4, 469	898
9	増 26 定 393	村岡出張所要員 善行救急隊要員		消防ポンプ車 (鶴沼・御所見) 工作車(北署) 高規格救急車 (南署・北署) 水難救助艇 (ふじさわ1号)	更新2 更新1 更新2 1	4, 509	917
10			村岡出張所新築、開所 (4. 1)	消防ポンプ車(善行) 消防ポンプ車(村岡) 警防活動車(警防課)	更新1 1 更新1	4, 580	924
11				化学車(南署) 高規格救急車(御所見) 高規格救急車(善行)	更新1 更新1 1	4, 609	930
12				消防ポンプ車(荻田) 高規格救急車(荻田)	更新1 更新1	4, 636	937

年度	定員の増加		庁舎等の状況	消防車等の増設		公設 消火栓	公設 防火 水そう
13				化学車(北署) 高規格救急車(辻堂) 指揮車(北署) 水難救助ボート (ふじさわ2号)	更新1 更新1 更新1 更新1	4,664	947
14	増 4 定 397	村岡救急隊要員	消防本部移転(7.1) 藤沢市総合防災センター 新築、開所(7.1) 通信指令課移転(7.1) 六会前進基地局御所見出 張所に移転(7.1)	梯子車(50m南署) 消防ポンプ車(北署)	更新1 更新1	4,688	977
15			片瀬分遣所改築(3.19)	消防ポンプ車(羽鳥) 高規格救急車(本町) 高規格救急車(村岡)	更新1 更新1 1	4,707	978
16				高規格救急車 (長後・御所見)	2	4,723	922
17	増 10 定 407	南藤沢救急隊2要 員		支援車(本部) 梯子車(30m南署) 工作車(南署) 高規格救急車 (南署・北署) 指揮車(南署) 消防ポンプ車(辻堂)	1 更新1 更新1 更新2 更新1 更新1	4,737	979
18			羽鳥出張所新築移転 併せて明治出張所に名称 変更(3.23) 藤沢市消防防災訓練セン ター新設(12.21)	鵜沼水難救助車 予防火災調査車 高規格救急車(南藤2)	更新1 更新1 1	4,747	995
19	増 8 定 415	明治救急隊要員		消防ポンプ車(西部) 高規格救急車(善行) 高規格救急車(明治) 水上オートバイ (ふじさわ3号)	更新1 更新1 1 1	4,756	997
20	減 1 定 414	再任用職員の活用		梯子車(30m西部) 消防ポンプ車 (本町・長後) 高規格救急車 (辻堂・荻田・西部) 救急普及啓発広報車 (本部) ミニ消防車(南署)	更新1 更新2 更新3 1 1	4,807	1,012
21	減 1 定 413	再任用職員の活用		消防ポンプ車 (南署・鵜沼) 高規格救急車(本町)	更新2 更新1	4,814	1,009
22				梯子車(40m北署) 消防ポンプ車 (村岡・御所見)	更新1 更新2	4,822	1,011
23				消防ポンプ車(善行) 高規格救急車(村岡) 支援Ⅱ型(南署) 水難救助艇 (ふじさわ1号)	更新1 更新1 更新1 更新1	4,837	1,002

年度	定員の増加		庁舎等の状況	消防車等の増設		公設 消火栓	公設 防火 水そう
24	増1 定414	県からの移譲事務 対応に伴う予防課 要員		高規格救急車 (北署・御所見) 支援Ⅲ型(南署)	更新2 継続1	4,853	1,002
25			六会出張所改築に伴い仮 設庁舎に移転(3.17) 救急ワークステーション 開所(8.1)	消防ポンプ車(苅田) 化学車(明治) 梯子車(40m辻堂) 工作車(北署) 高規格救急車 (南署・長後)	更新1 更新1 更新1 更新1 更新2	4,864	1,002
26				消防ポンプ車(北署) 高規格救急車 (南署・明治) 小型動力ポンプ付水 槽車(御所見)	更新1 更新2 更新1	4,875	1,004
27			六会出張所改築(3.18)	大型ブローカー車 (苅田) 高規格救急車 (辻堂・善行)	1 更新2	4,892	1,008
28	増24 定438	遠藤出張所要員		化学車(六会) 高規格救急車 (西部・苅田)	更新1 更新2	4,907	1,004
29	増4 定442	東京オリンピック・パラ リンピック開催に向け た警備体制の整備 に伴う警防課要員	遠藤出張所新築、開所 (4.1)	広報車(救急救命課) 指揮車(北署) 高規格救急車 (本町・村岡) 水上オートバイ (ふじさわ3号) 消防ポンプ車(遠藤) 高規格救急車(遠藤) 江の島救急車(鶴沼)	更新1 更新1 更新2 更新1 1 1 1	4,922	1,005
30				指令車(警防) 消防ポンプ車(南署) 資機材搬送車 (南署・善行) 高規格救急車 (北署・御所見)	更新1 更新1 更新2 更新2	4,924	1,006
令和 元	増10 定452	六会救急隊要員		指揮車(南署) 高規格救急車 (南署・長後) 高規格救急車(六会) 資機材搬送車(本町) 水難救助ボート (ふじさわ2号)	更新1 更新2 1 更新1 更新1	4,927	1,004
2				工作車(南署) 消防ポンプ車 (長後・西部) 署長車(南署・北署) 高規格救急車(南藤2)	更新1 更新2 更新2 更新1	4,931	1,001

年度	定員の増加		庁舎等の状況	消防車等の増設		公 設 消火栓	公 設 防火 水そう
3			辻堂出張所新築移転、開所 (8.6)	遠距離送・排水システ ム車 (南署)	1	4,932	1,000

6 消防庁舎概況

区分 局 署所別	所在地 電話番号	開署(所) 年月日	構造	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)	備考
消 防 局	朝日町 1-1 (25) 1111	S 23. 3. 7	鉄筋コンクリート (免震構造) 7階建	市防災センター 1,257.15	623.33	消防局 (1~4F 2,191.07 ※4Fの一部を除く) 3,648.03	大道東125-5 移転 S26. 6. 1 鶴沼2121 新築 S40. 9. 27 市役所第1庁舎に入る H7. 7. 29 市総合防災センター新築 H14. 7. 1 市防災センターに名称変更 H30. 1. 4
	石川 3417-1	H 18. 12. 21	鉄骨造 2階建	19,587.29	787.79	1052.16	訓練塔 教育訓練棟 事務所棟 車庫棟
	藤沢 2-6-1 (54) 5500	H 25. 8. 1	鉄骨造 3階建	39,712.01 (併設施設含む)	131.12	406.64	1F 事務室 車庫 2F 会議室 3F 仮眠室
南 消 防 署	鶴沼東 8-3 (27) 8181	S 23. 3. 7	鉄骨造 5階建 地下1階	2,891.53	1,118.48 76.32	3,540.93 337.06	大道東125-5移転 S26. 6. 1 鶴沼2121 新築移転 S40. 9. 27 新築移転 H7. 9. 15 訓練塔A鉄筋コンクリート・B鉄骨
	辻堂西海岸 2-1-17 (34) 3100	S 26. 8. 1	鉄筋コンクリート 3階建	6,036.77 (併設施設含む)	2,379.784 (併設施設含む)	1,091.22 (消防部分)	辻堂1383 消防団第10分団と合同庁舎 改築 S35. 6. 28 辻堂5-5-18 新築移転 S62. 11. 25 車庫増築 H5. 3. 26 新築移転 R3. 8. 6 (辻堂市民センター併設)
	片瀬分遣所 3-15-17 (27) 3200	S 32. 4. 1	鉄骨造 2階建	128.92	92.05	176.51	消防団第2分団と合同庁舎 改築 H16. 3. 19
	本町出張所 4-5-21 (27) 3000	S 43. 2. 1	鉄筋コンクリート 3階建	800.89	187.17 32.40 42.70	494.25 32.40 42.70	消防団第9分団と合同庁舎 車庫 物置
	本鶴沼 4-3-1 (25) 3000	S 46. 12. 16	鉄筋コンクリート 平屋建	1,194.67	285.42 32.40 98.54	440.86	消防団第5分団と合同庁舎 増築 S62. 12. 23
	辻堂新町 1-11-23 (33) 3000	S 48. 4. 10	鉄筋コンクリート 2階建	5,974.42 (併設施設含む)	2,219.83 (併設施設含む)	630.16 (消防部分)	羽鳥4-12-21 消防団第11分団と合同庁舎 新築移転 H19. 3. 23 羽鳥から明治に名称変更 消防団第11分団と分離 (明治市民センター併設)

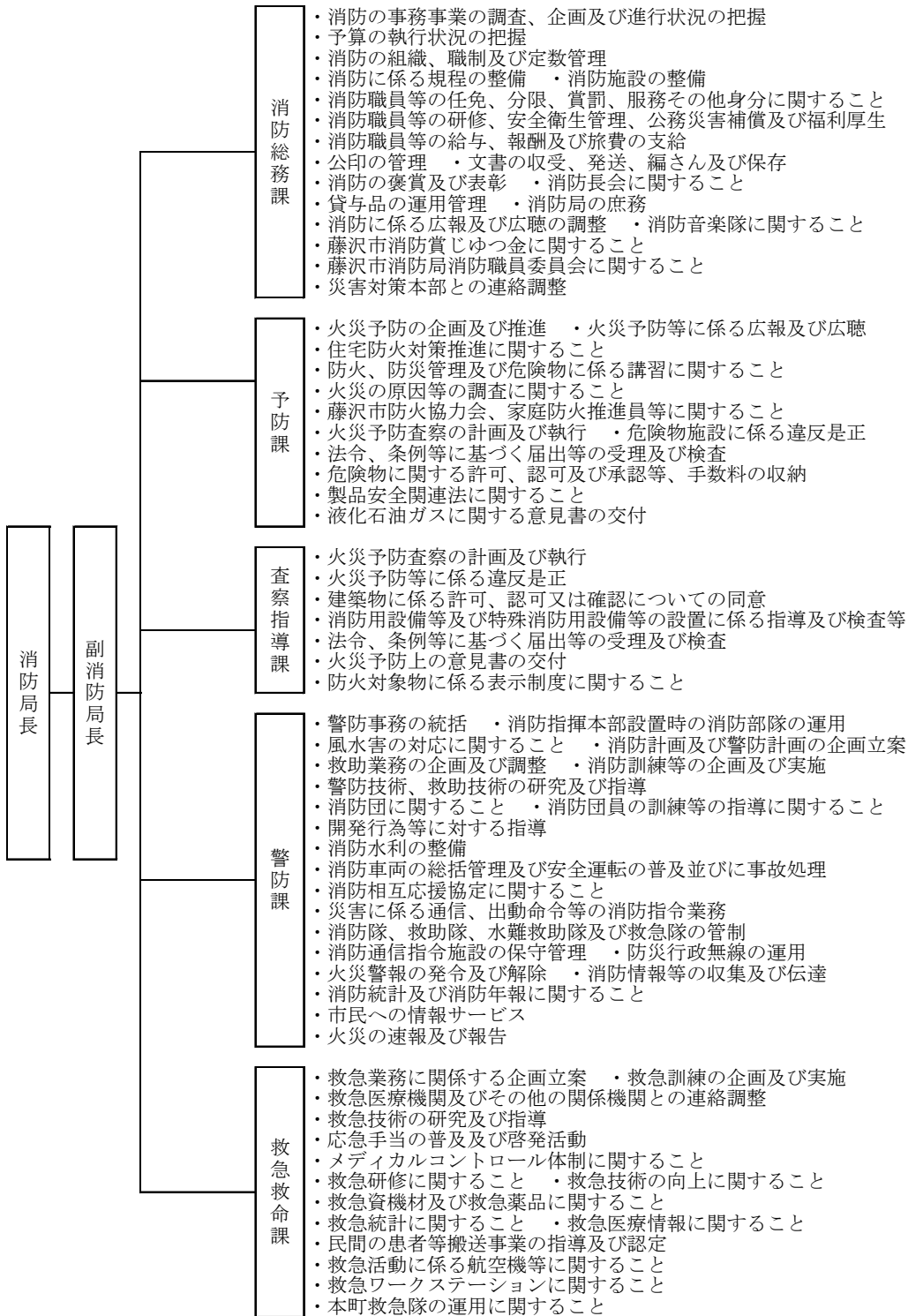
	鶴沼出張所	鶴沼海岸 4-1-12 (33) 3600	S 37. 7. 19	鉄筋コンクリート 3階建	535.08	208.67	407.34	改築 H2. 3. 31
	村岡出張所	渡内 5-1-1 (54) 2630	H 10. 4. 1	鉄骨・鉄筋 コンクリート 2階建	1,246.83	454.38	629.66	1F 事務室 車庫 防災備蓄倉庫 2F 仮眠室 会議室
北 消 防 署	本署	湘南台 2-7-1 (45) 8181	S 57. 4. 1	鉄筋コンクリート 3階建	1,351.07	504.21	1,467.23	1F 車庫及び防災備蓄倉庫 ボンベ庫 2F 事務室 仮眠室 3F 講堂 会議室
	長後出張所	長後 163-1 (43) 3000	S 38. 7. 1	鉄筋コンクリート 2階建	1,799.25	364.39	533.47	長後513 新築移転 H4. 7. 1
	西部出張所	大庭 5406-11 (87) 8119	S 60. 4. 1	鉄筋コンクリート 2階建	1,134.97	322.19	399.28	車庫増築 H1. 3. 30
	御所見出張所	用田 480 (48) 3000	S 49. 12. 1	鉄筋コンクリート 2階建	1,605.33	245.75 57.08 22.96	355.79 57.08 39.47	改築 S53. 3. 30 消防団第30分団と合同庁舎 車庫増築 倉庫別棟
	善行出張所	善行 7-7-10 (81) 2661	S 55. 3. 31	鉄筋コンクリート 2階建	657.38	245.84	329.45	増改築 H11. 3. 16 仮眠室 食堂増築 事務室改修
	六会出張所	亀井野 4-8-1 (81) 3200	S 51. 3. 6	鉄筋コンクリート 3階建	4,072.03 (併設施設 含む)	1,126.73 (併設施設 含む)	799.04 (消防部分)	第16分団と合同庁舎 増築 H1. 3. 31 改築 H28. 3. 18 (六会市民センター併設)
	遠藤出張所	遠藤 2932-1 (88) 5100	H 29. 4. 1	鉄筋コンクリート 2階建	1,238.00	612.95	981.88	1F 事務室 車庫 仮眠室 2F 仮眠室 会議室

3 総務

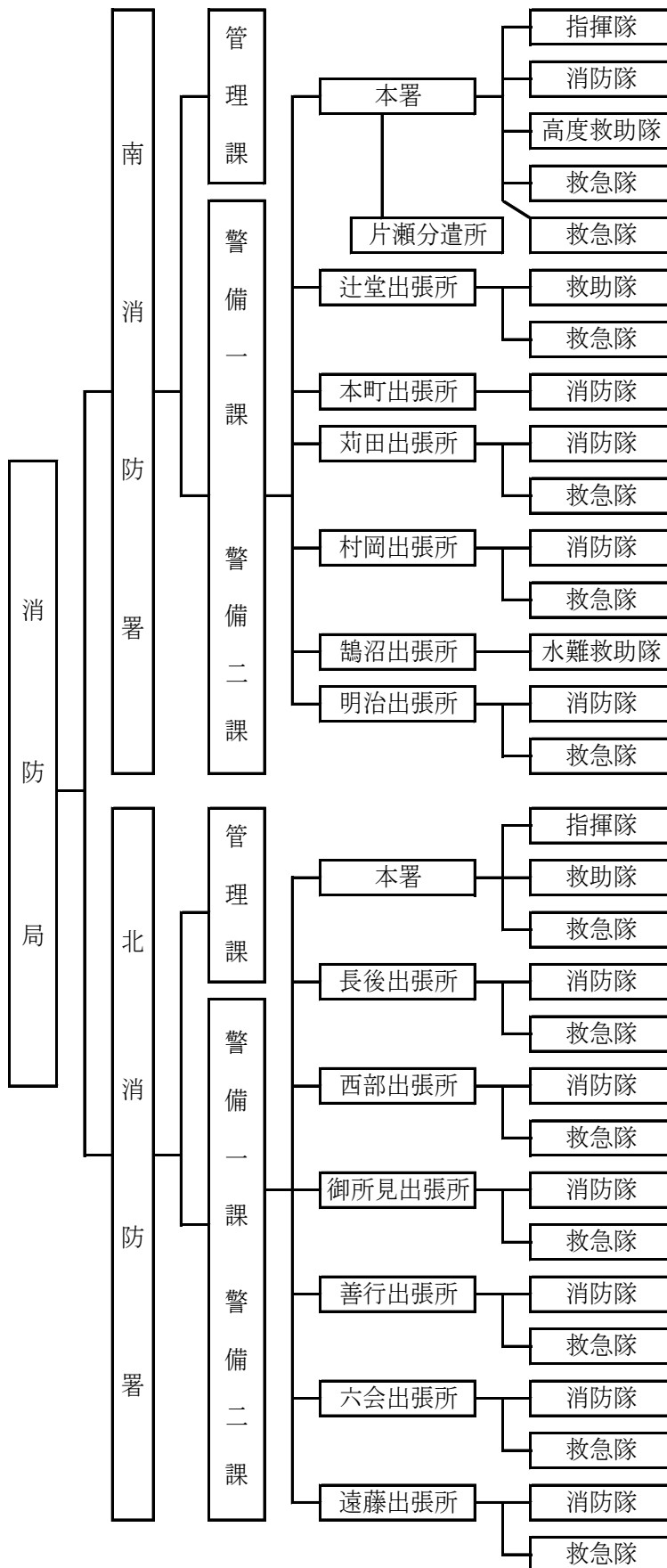


消防組織と事務分掌

7 消防局組織図



8 消防署組織図（2署12出張所1分遣所）



管理課の事務分掌

- ・署内の連絡調整
- ・公印の管理
- ・署内人事の内申
- ・消防活動上支障となる物件等の排除に関する事
- ・消防水利標識に関する事
- ・火災予防査察の計画及び指導
- ・火災予防違反の処理
- ・住宅防火対策推進に関する事
- ・普通及び上級救命講習に関する事
- ・救急搬送証明に関する事
- ・署内の消防統計に関する事
- ・署員の教育訓練計画に関する事
- ・署員の装備の管理に関する事
- ・車両の定期点検整備及び管理
- ・法令、条例等に基づく届出等の受理及び検査
- ・消防用設備等の審査及び指導に関する事
- ・火気の使用制限に関する事
- ・署指揮隊に関する事
- ・災害の調査及び火災の原因等の調査に関する事
- ・火災によるり災の証明に関する事
- ・署内の物品の出納及び管理
- ・署の庶務

警備課の事務分掌

- ・指揮隊、消防隊、救助隊、水難救助隊（藤沢市南消防署の警備一課及び警備二課に限る）及び救急隊の運用
- ・消防警備及び災害発生時における救助その他の活動の指揮並びに災害情報の収集及び調査に関する事
- ・火災等の防御及び人命救助
- ・傷病者に対する救急救命処置及び応急処置並びに傷病者の搬送
- ・火災防御計画の策定
- ・災害防御に係る特殊技術の研究及び訓練
- ・救急活動及び救助活動に係る特殊技術の研究及び訓練
- ・消防訓練及び地水利調査
- ・火災予防査察及び防火指導
- ・救命講習の指導
- ・開発行為等に係る消防施設の検査及び指導
- ・火災その他の災害の原因調査
- ・雑草地の火災予防対策
- ・自主防災組織等の訓練等の指導
- ・街頭消火器の点検
- ・所属施設等の管理

業務概要

9 予 算

(1) 令和4年度消防予算

款	項	目	金額(千円)	比率(%)
消 防 費	消 防 費	常 備 消 防 費	4,974,656	81.86
6,077,374千円	6,077,374千円	非 常 備 消 防 費	132,306	2.17
		消 防 施 設 整 備 費	970,412	15.97

(2) 市総予算と消防予算との比較

	市総予算(千円)	消防予算(千円)	比率(%)
R 4 年 度	161,366,000	6,077,374	3.8
R 3 年 度	156,268,000	5,078,976	3.3
R 2 年 度	148,056,000	5,362,876	3.6

(3) 消防費と人口の比較

予 算 額 (千 円)		1世帯当たり(円)	人口1人当たり(円)
市 総 予 算 額	161,366,000	823,720	367,664
消 防 予 算 額	6,077,374	31,023	13,847
常 備 消 防 費	4,974,656	25,394	11,335
非 常 備 消 防 費	132,306	675	301
消 防 施 設 整 備 費	970,412	4,954	2,211

2022.4.1 現在

(令和2年国勢調査人口等基本集計結果(確報)を基礎とした推計人口)

人口 441,547人

世帯 198,213世帯

10 「消防出初式」の開催

2022年（令和4年）1月9日（日）藤沢市消防防災訓練センターにおいて、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら縮小した形で実施した。

11 消防音楽隊の概要

1983年（昭和58年）4月1日、消防音楽隊として発足、消防総務課に属し、隊員は本部及び署所に配属され、隊長以下38人の職員をもって編成し、各種消防業務の傍ら練習に励み、消防広報のひとつとして、消防の行事及び市、その他諸行事に出演し、市民に親しまれ、愛される音楽隊として演奏活動に従事している。

(1) 発足経過

- 1982年（昭和57年）10月1日
消防職員福利厚生会音楽部として結成（部員28人）
羽田啓一氏（元横浜市消防局音楽隊長）専任講師に就任
- 1983年（昭和58年）4月1日
消防音楽隊として発足
隊長1人、隊員43人により編成する。
- 1987年（昭和62年）8月1日
隊長1人、副隊長1人、隊員41人に改める。
- 1990年（平成2年）7月1日
隊長1人、副隊長2人、隊員41人に改める。
- 1994年（平成6年）9月30日
羽田啓一氏専任講師を勇退
- 1995年（平成7年）4月1日
山田哲朗氏（元横浜市消防局音楽隊長）専任講師に就任
隊長1人、副隊長3人、隊員40人に改める。
- 1996年（平成8年）4月1日
隊長1人、副隊長3人、隊員36人に改める。
- 1998年（平成10年）4月1日
隊長1人、副隊長3人、隊員38人に改める。
- 2000年（平成12年）4月1日
統括者1人、副統括者2人、隊員50人以内に改める。
（隊員のうち隊長1人、副隊長3人、楽長1人を置く）
- 2001年（平成13年）4月1日
山田哲朗氏専任講師を勇退
- 2001年（平成13年）4月2日
清水誠氏専任講師に就任

(2) 年度別出演記録

年 度	回 数	年 度	回 数	年 度	回 数
H18	11	H25	15	R2	1※
H19	15	H26	16	R3	1※
H20	15	H27	14		
H21	17	H28	16		
H22	19	H29	14		
H23	19	H30	10		
H24	16	R1 (H31)	13		

※R2・3年度については、新型コロナウイルス感染症予防に伴い、活動自粛

(3) 楽器編成

楽 器 名	数量	楽 器 名	数量	楽 器 名	数量
ピッコロ	1	フレンチホルン	3	ティンパニー	1
フルート	2	トロンボーン	4	マーチングスネヤ	2
クラリネット	9	バストロンボーン	1	マーチングタムタム	1
バスクラリネット	1	ユーフォーニューム	3	マーチングホルン	3
ソプラノサクソ	1	コンパーチブルチューバ	2	マーチングテナー	1
アルトサクソ	2	スーザホーン	2	マーチングバリトン	6
テナーサクソ	2	ドラムセット	1	マーチングバス	2
バリトンサクソ	1	スネヤドラム	2	マーチングキーボード	1
トランペット	8	バスドラム	1	メロフォン	2
ピッコロトランペット	1	シンバル	2	ドラ	1
フリューゲルホルン	2	グロックンシュビーレ	1		

統 計

1 2 叙位・叙勲者

2022. 4. 1 現在

区 分	職・階級	氏 名	受章年月日	概 要
消防職員	消防司令長	小 山 義 雄	S53. 8. 10	正七位勲六等单光旭日章
	消 防 監	富 田 伸 利	S54. 11. 3 S57. 9. 25	勲四等瑞宝章 従五位
	消防司令長	渡 辺 秀 一	S59. 4. 29 H12. 12. 23	勲六等单光旭日章 従七位
	消 防 司 令	武 井 桂一郎	S60. 4. 29 H13. 12. 22	勲六等瑞宝章 従七位
	消 防 正 監	大久保 一	S60. 10. 2	正五位勲四等瑞宝章
	消 防 監	大 塚 實	S63. 11. 3 H22. 1. 15	勲五等瑞宝章 正六位
	消 防 司 令	鯉 渕 勲	H 1. 11. 3	勲五等瑞宝章
	消 防 司 令	山 崎 秀 夫	H 2. 4. 29	勲六等单光旭日章
	消 防 司 令	鈴 木 章	H 4. 11. 3	勲六等单光旭日章
	消 防 正 監	瀬 沼 和 男	H 8. 4. 29 H21. 1. 16	勲四等瑞宝章 正五位
	消 防 監	端 山 誠 二	H10. 1. 25	従五位勲五等双光旭日章
	消 防 監	池 田 俊 雄	H10. 4. 29	勲五等瑞宝章
	消 防 監	山 田 喜 作	H11. 4. 29 H24. 6. 10	勲六等单光旭日章 正七位
	消防司令長	田 邊 積	H12. 4. 29 H13. 9. 5	勲六等瑞宝章 従七位
	消防司令長	星 崎 敏 久	H12. 11. 3 H21. 6. 30	勲五等瑞宝章 正七位
	消 防 監	小 澤 豊 作	H13. 4. 29	勲五等瑞宝章
	消 防 監	古 谷 昭五郎	H13. 11. 3 H24. 10. 25	勲五等瑞宝章 正七位
	消 防 監	神 崎 優 治	H15. 5. 4	従六位勲五等瑞宝章
	消 防 司 令	石 川 満 男	H15. 5. 25	正七位勲六等单光旭日章
	消防司令補	笠 間 宏 信	H15. 11. 3	瑞宝单光章
消防司令補	富 田 久 司	H15. 11. 3	瑞宝单光章	
消防司令長	石 井 一 春	H15. 11. 3	瑞宝单光章	

消防職員	消防司令長	廣田金彌	H16. 4. 29 H20. 8. 31	瑞宝单光章 従七位
	消防司令	山本完夫	H16. 4. 29	瑞宝单光章
	消防司令	鈴木清	H16. 4. 29	瑞宝单光章
	消防司令長	青木重雄	H16. 11. 3	瑞宝单光章
	消防司令	岡本義友	H16. 11. 3	瑞宝单光章
	消防司令	日下嶺雄	H16. 11. 3	瑞宝单光章
	消防司令	曾我高秋	H17. 4. 25	正七位瑞宝单光章
	消防司令	阿部信雄	H17. 4. 29	瑞宝单光章
	消防司令	小泉英雄	H17. 4. 29	瑞宝单光章
	消防司令	小菅章	H17. 11. 3	瑞宝单光章
	消防監	富塚秀夫	H18. 7. 24	正七位瑞宝双光章
	消防監	矢口新二	H18. 11. 3 H21. 10. 28	瑞宝双光章 正六位
	消防司令	東海林正雄	H18. 11. 3	瑞宝单光章
	消防司令	富田吉守	H19. 4. 29	瑞宝单光章
	消防司令	守屋行雄	H19. 4. 29	瑞宝单光章
	消防司令長	小松義治	H19. 11. 14 R 2. 4. 21	瑞宝双光章 正七位瑞宝单光章
	消防司令	山崎朗	H19. 11. 14	瑞宝单光章
	消防監	日下清	H20. 11. 3 H24. 8. 5	瑞宝双光章 従五位
	消防監	神山喜代治	H20. 11. 3	瑞宝双光章
	消防監	加藤俊彦	H20. 11. 3	瑞宝双光章
	消防司令	吉原惣一郎	H20. 11. 3	瑞宝单光章
	消防正監	亀井敬一	H21. 4. 29	瑞宝小綬章
	消防監	櫻井利春	H21. 4. 29	瑞宝双光章
	消防監	鈴木良雄	H21. 4. 29 H25. 2. 23	瑞宝双光章 正六位
	消防監	重田優	H21. 4. 29	瑞宝双光章
	消防司令	吉成一二	H21. 10. 5	正七位瑞宝单光章
	消防正監	山口正直	H21. 11. 3 H29. 10. 6	瑞宝小綬章 従五位
	消防監	山田弘明	H21. 11. 3	瑞宝双光章
	消防監	金指光春	H21. 11. 3	瑞宝双光章

消防職員	消防監	武田 安	H21. 11. 3	瑞宝双光章
	消防監	鬼島 忠	H22. 4. 29	瑞宝双光章
	消防司令長	小嶋 音作	H22. 4. 29	瑞宝双光章
	消防監	小山 彰	H22. 4. 29	瑞宝双光章
	消防監	林 一治	H22. 11. 3	瑞宝双光章
	消防司令	工藤 榮	H22. 11. 3	瑞宝单光章
	消防司令	西村 武	H22. 11. 3	瑞宝单光章
	消防司令長	阿部 上弘	H23. 4. 29	瑞宝单光章
	消防司令長	安部 智徳	H23. 4. 29 H31. 4. 20	瑞宝单光章 正七位瑞宝单光章
	消防司令	郷戸 吉雄	H23. 4. 29	瑞宝单光章
	消防正監	伊藤 昭男	H23. 11. 3	瑞宝小綬章
	消防監	青木 征男	H23. 11. 3	瑞宝双光章
	消防監	加藤 正男	H23. 11. 3 H25. 8. 7	瑞宝双光章 従六位
	消防司令	設樂 俊男	H23. 11. 3	瑞宝单光章
	消防司令	関 庚二	H23. 12. 15	正七位瑞宝单光章
	消防司令	蛭名 修	H24. 1. 9	瑞宝单光章
	消防監	桑村 忠藏	H24. 4. 29	瑞宝双光章
	消防司令	杉本 安幸	H24. 4. 29	瑞宝单光章
	消防司令	古藤 光康	H24. 4. 29	瑞宝单光章
	消防正監	前崎 文男	H24. 11. 3	瑞宝小綬章
	消防監	川端 敏雄	H24. 11. 3	瑞宝双光章
	消防監	渡邊 勇一郎	H24. 11. 3	瑞宝双光章
	消防司令	若菜 正三	H24. 11. 3	瑞宝单光章
	消防司令長	大石 良雄	H25. 4. 29	瑞宝单光章
	消防司令	山崎 清治	H25. 4. 29	瑞宝单光章
	消防司令	富田 孝行	H25. 4. 29	瑞宝单光章
	消防司令	竹森 良一	H25. 8. 18	正七位瑞宝单光章
	消防司令	関根 昭光	H25. 11. 3	瑞宝单光章
	消防司令長	千田 功治	H25. 11. 3	瑞宝单光章
	消防監	山口 章	H25. 11. 3	瑞宝双光章
	消防正監	小野寺 正一	H26. 4. 29	瑞宝双光章
	消防監	小池 正	H26. 4. 29	瑞宝双光章
消防司令	富澤 幹雄	H26. 4. 29	瑞宝单光章	

消防職員	消防司令	吉田秀行	H26. 4. 29	瑞宝单光章
	消防司令	西村光夫	H26. 10. 8	正七位瑞宝单光章
	消防監	大牟禮盛雄	H26. 11. 3	瑞宝单光章
	消防司令長	天野浩	H26. 11. 3	瑞宝单光章
	消防司令	加藤武	H26. 11. 3	瑞宝单光章
	消防司令長	松本輝雄	H27. 4. 29 H28. 1. 1	瑞宝单光章 正七位
	消防監	由井敏郎	H27. 4. 29	瑞宝双光章
	消防監	矢萩幸雄	H27. 4. 29	瑞宝双光章
	消防監	川田昭	H27. 11. 3	瑞宝双光章
	消防司令	亀井寛	H28. 2. 13	正七位瑞宝单光章
	消防正監	大津正男	H28. 11. 3	瑞宝小綬章
	消防監	阿部眞二	H28. 11. 3	瑞宝双光章
	消防監	日下昇	H29. 4. 29	瑞宝双光章
	消防監	山口登志男	H29. 4. 29	瑞宝双光章
	消防監	山田義一	H29. 6. 1	瑞宝双光章
	消防監	鈴木肇	H29. 11. 3	瑞宝双光章
	消防監	佐藤則克	H29. 11. 3	瑞宝双光章
	消防司令	石井栄二	H29. 12. 27	正七位瑞宝单光章
	消防正監	金子司洋	H30. 4. 29	瑞宝小綬章
	消防司令長	今野祐二	H30. 4. 29	瑞宝单光章
	消防司令長	佐藤成司	H30. 4. 29	瑞宝单光章
	消防監	小池賢治	H30. 11. 3	瑞宝双光章
	消防監	福島節夫	H30. 11. 3	瑞宝双光章
	消防司令長	角田達美	H30. 11. 3	瑞宝单光章
	消防司令	佐藤敬太郎	H30. 12. 23	正七位瑞宝单光章
	消防正監	阿部正昭	R 1. 5. 21	瑞宝双光章
	消防監	石倉隆広	R 1. 5. 21	瑞宝双光章
	消防司令長	早川誠	R 1. 5. 21	瑞宝单光章
	消防司令長	竹内修	R 1. 5. 21	瑞宝单光章
	消防監	北村守良	R 1. 11. 3	瑞宝双光章
	消防監	丸山孝夫	R 1. 11. 3	瑞宝双光章
	消防司令	長島利夫	R 2. 4. 10	瑞宝单光章
消防司令	斉藤仁	R 2. 4. 10	瑞宝单光章	
消防司令	安齊三郎	R 2. 4. 10	瑞宝单光章	

消防職員	消防司令	小松 実	R 2. 9. 13	正七位瑞宝单光章
	消防司令	菊池 久壽	R 2. 10. 8	瑞宝单光章
	消防司令	小島 輝治	R 2. 10. 8	瑞宝单光章
	消防司令長	小川 哲雄	R 2. 10. 8	瑞宝单光章
	消防司令長	根岸 和夫	R 3. 4. 15	瑞宝单光章
	消防司令長	三觜 孝男	R 3. 4. 15	瑞宝单光章
	消防司令	久保 廣文	R 3. 4. 15	瑞宝单光章
	消防正監	鈴木 正明	R 3. 4. 29	瑞宝小綬章
	消防司令	植田 雄司	R 3. 10. 21	瑞宝单光章
	消防司令長	羽田 啓治	R 3. 10. 21	瑞宝单光章
	消防司令	岡本 義友	R 4. 3. 16	正七位瑞宝单光章

区 分	職・階級	氏 名	受章年月日	概 要
消防団員	団 長	秋 元 大太郎	S 40. 11. 3 S 50. 5. 27	勲五等双光旭日章 正六位
	副 団 長	広 田 博	S 43. 4. 29	勲六等单光旭日章
	分 団 長	奥 富 文 吉	S 45. 11. 3	勲七等旭日章
	副 団 長	桜 井 竹次郎	S 46. 11. 3	勲六等单光旭日章
	副 団 長	渡 辺 万 蔵	S 46. 11. 3	勲六等瑞宝章
	副 団 長	福 岡 正 義	S 47. 4. 29	勲五等瑞宝章
	分 団 長	山 本 佐 吉	S 47. 4. 29	勲六等单光旭日章
	分 団 長	平 井 友 儀	S 47. 11. 3	勲六等瑞宝章
	分 団 長	木 下 豊 治	S 49. 4. 29	勲六等瑞宝章
	分 団 長	岡 本 重 治	S 49. 11. 3	勲六等瑞宝章
	副 団 長	湯 口 市太郎	S 50. 4. 29	勲六等瑞宝章
	分 団 長	須 藤 浅 次	S 52. 4. 29	勲七等旭日章
	団 長	秋 本 良 夫	S 59. 11. 3	勲七等青色桐葉章
	分 団 長	山 崎 善 作	S 60. 11. 3	勲七等青色桐葉章
	分 団 長	桜 井 信 雄	S 61. 11. 3	勲七等青色桐葉章
	団 長	木 村 千代吉	S 62. 4. 29	勲六等单光旭日章
	分 団 長	吉 川 福 松	S 62. 11. 3	勲六等瑞宝章
	分 団 長	井 上 初 雄	S 63. 4. 29	勲七等青色桐葉章
	分 団 長	伊 崎 竹 夫	S 63. 11. 3	勲六等瑞宝章
	分 団 長	須 藤 一 夫	H 3. 4. 29	勲六等瑞宝章
	団 長	鯨 井 義 一	H 5. 4. 29	勲六等单光旭日章
	副 団 長	小 池 一 男	H 6. 4. 29	勲六等单光旭日章
	分 団 長	西 山 誠 二	H 6. 12. 11	勲六等瑞宝章
	分 団 長	加 藤 久 直	H 7. 1. 6	勲六等瑞宝章
	副 団 長	石 井 完 一	H 8. 4. 29	勲六等瑞宝章
	副 団 長	田 所 敏 夫	H 10. 11. 3	勲六等瑞宝章
	分 団 長	砂 川 三 次	H 12. 11. 3	勲六等瑞宝章
	分 団 長	井 上 雅 夫	H 13. 4. 29	勲六等瑞宝章
	分 団 長	志 村 俊 和	H 13. 11. 3	勲六等瑞宝章
	分 団 長	川 戸 勇	H 14. 4. 29	勲六等瑞宝章
団 長	福 島 其 一	H 15. 11. 3	瑞宝双光章	
団 員	浜 野 傳 吉	H 16. 11. 3	瑞宝单光章	

消防団員	分 団 長	仙 田 謙 明	H17. 4. 29	瑞宝单光章
	副 団 長	田 中 忠	H17. 11. 3	瑞宝单光章
	分 団 長	石 井 文 雄	H18. 4. 29	瑞宝单光章
	副 団 長	大 川 正 治	H18. 11. 3	瑞宝单光章
	分 団 長	山 崎 宣 英	H19. 11. 3	瑞宝单光章
	団 長	植 木 謙 治	H20. 4. 29	瑞宝双光章
	分 団 長	林 喜太郎	H20. 11. 3	瑞宝单光章
	副 団 長	日 尾 良 治	H21. 4. 29	瑞宝单光章
	副 団 長	池 田 稔	H22. 11. 3	瑞宝单光章
	分 団 長	高 崎 晃	H24. 4. 29	瑞宝单光章
	分 団 長	田 中 禄 郎	H25. 4. 29	瑞宝单光章
	分 団 長	菅 井 功	H25. 11. 3	瑞宝单光章
	副 団 長	小 嶋 勇	H26. 4. 29	瑞宝单光章
	副 分 団 長	吉 田 勝 政	H27. 4. 29	瑞宝单光章
	副 団 長	橋 本 鐵 雄	H28. 4. 29	瑞宝单光章
	副 団 長	小 泉 政 治	H29. 11. 3	瑞宝单光章
	団 長	川 口 勇喜夫	H30. 4. 29	瑞宝双光章
	副 団 長	廣 田 彰	H30. 11. 3	瑞宝单光章
	分 団 長	井 本 喬 充	R 1. 11. 3	瑞宝单光章
	副 団 長	桜 井 正 二	R 2. 4. 13	瑞宝单光章
分 団 長	多 田 稔	R 2. 4. 13	瑞宝单光章	

1 3 消防庁長官表彰授章

2022. 4. 1 現在

	職団員別	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
功労賞	消防職員										1				1
	消防団員						1								
永年勤続 功 勞 賞	消防職員	3	3	4	2	3	4	2	4	2	2	2	3	2	10
	消防団員	5	5	3	1	6	5	5		2	1	1	1	2	

1 4 消防職員年齢

2022. 4. 1 現在

	合 計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員
合 計	484	1	4	12	95	111	116	81	64	
平均(年齢)	37.6	58.0	58.5	56.5	51.1	42.9	34.0	27.3	22.4	
18歳以上20歳未満	7								7	
20歳以上25歳未満	58							7	51	
25歳以上30歳未満	81						8	67	6	
30歳以上35歳未満	69						63	6		
35歳以上40歳未満	69					29	40			
40歳以上45歳未満	58				5	49	4			
45歳以上50歳未満	62				40	22				
50歳以上55歳未満	27			2	20	5				
55歳以上60歳未満	48	1	4	10	29	4				
60歳以上	5				1	2	1	1		

1 5 消防職員勤続年数

2022. 4. 1 現在

	合 計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員
合 計	484	1	4	12	95	111	116	81	64	
平均(年数)	23.3	39	39.5	36.4	29.9	20.9	12.9	5.5	1.6	
1年未満	23				1	2	1	1	18	
1年以上 5年未満	64							18	46	
5年以上10年未満	78						16	62		
10年以上15年未満	60					5	55			
15年以上20年未満	88				1	44	43			
20年以上25年未満	43				15	27	1			
25年以上30年未満	60			1	32	27				
30年以上35年未満	29			3	20	6				
35年以上40年未満	29	1	1	6	21					
40年以上	10		3	2	5					

16 消防職員配置表

2022.4.1 現在

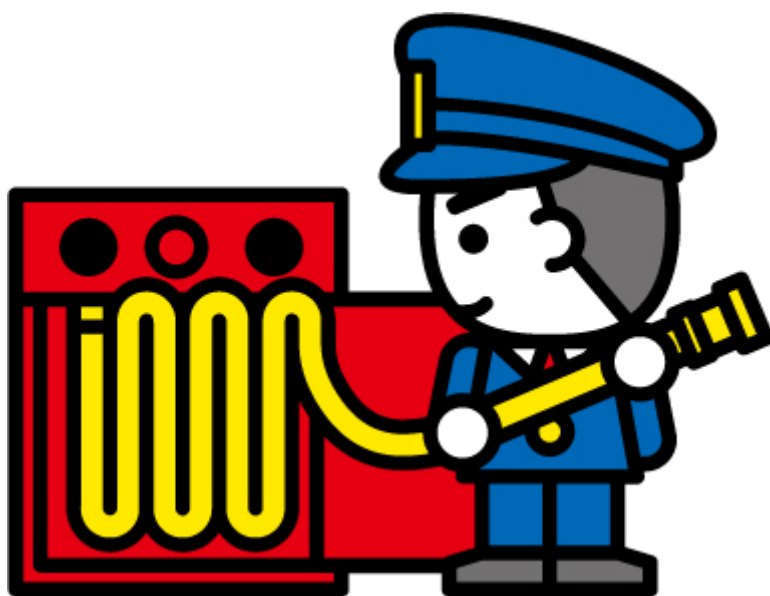
区 分		合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員	
合 計		484	1	4	12	95	111	116	81	64		
消 防 局	消防局長	1	1									
	副消防局長	2		2								
	消防総務課	12			1	4	3	3	1			
	予防課	6			1	3	1	1				
	査察指導課	9			1	2	2	4				
	警防課	33			1	11	12	9				
	救急救命課（本町救急隊含む）	15			1	5	5	3	1			
	市長部局派遣	7			1	2	4					
小計	85	1	2	6	27	27	20	2				
南 消 防 署	南消防署長	1		1								
	副署長	1			1							
	管理課	5				2	1	2				
	小計	7		1	1	2	1	2				
	警 備 一 課	南指揮隊	5			1	2	2				
		南本署隊	8				1	2	2	2	1	
		高度救助隊	8				1	2	5			
		南藤沢救急隊1	5				1	1	1	1	1	
		南藤沢救急隊2	5				1	2	1	1		
		南救助隊	9				1	1	2	3	2	
		辻堂救急隊	5				1	1	2		1	
		本町消防隊	6				1	2	1	1	1	
		荻田消防隊	7				1	2	1	2	1	
		荻田救急隊	5				1	1	1	1	1	
		村岡消防隊	6				1	1	2	1	1	
		村岡救急隊	5				1	1	2	1		
		鶴沼水難救助隊	8				1	1	2	3	1	
	明治消防隊	6				1	1	1	2	1		
	明治救急隊	5				1	1	2	1			
	小計	93			1	16	21	25	19	11		
警 備 二 課	南指揮隊	5			1	2	2					
	南本署隊	8				1	2	2	2	1		
	高度救助隊	8				1	2	4	1			
	南藤沢救急隊1	5				1	1	1	2			
	南藤沢救急隊2	5				1	1	2	1			
	南救助隊	9				1	1	2	5			
	辻堂救急隊	5				1	1	1		2		
	本町消防隊	6				1	1	1	1	2		
	荻田消防隊	7				1	1	1	3	1		
	荻田救急隊	5				1	1	2		1		
	村岡消防隊	6				1	1	1		3		
	村岡救急隊	5				1	1	1	1	1		
	鶴沼水難救助隊	8				1	1	3	2	1		
明治消防隊	6				1	1	2	1	1			
明治救急隊	5				1	1	2	1				
小計	93			1	16	18	25	20	13			
北 消 防 署	北消防署長	1		1								
	副署長	1			1							
	管理課	5				2	1	2				
	小計	7		1	1	2	1	2				
	警 備 一 課	北指揮隊	5			1	2	2				
		北救助隊	10				1	3		5	1	
		北藤沢救急隊	5				1	1	1	2		
		長後消防隊	7				1	2		3	1	
		長後救急隊	5				1	1	2		1	
		西部消防隊	8				1	1	3	2	1	
		西部救急隊	5				1	1	2	1		
		御所見消防隊	6				1	2	1	1	1	
		御所見救急隊	5				1	1	2	1		
		善行消防隊	6				1	1	2	1	1	
		善行救急隊	5				1	1	2		1	
		六会消防隊	7				1	1	1	1	3	
		六会救急隊	5				1	1	1	2		
	遠藤消防隊	7				1	1	1	2	2		
	遠藤救急隊	5				1	1	1	2			
	小計	91			1	16	20	19	23	12		
警 備 二 課	北指揮隊	5			1	2	2					
	北救助隊	10				1	1	2	5	1		
	北藤沢救急隊	5				1	2	1		1		
	長後消防隊	6				1	2	1	1	1		
	長後救急隊	5				1	1	1	2			
	西部消防隊	8				1	2	3	1	1		
	西部救急隊	5				1	1	2	1			
	御所見消防隊	6				1	2	1		2		
	御所見救急隊	5				1	1	2		1		
	善行消防隊	6				1	1	1	2	1		
	善行救急隊	5				1	1	2	1			
	六会消防隊	7				1	1	3		2		
	六会救急隊	5				1	1	1	2			
遠藤消防隊	7				1	1	2	1	2			
遠藤救急隊	5				1	2	1	1				
小計	90			1	16	21	23	17	12			

17 消防職員特殊技能資格

2022.4.1 現在

区 分		合 計	司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
職 員 数		484	17	95	111	116	81	64	
自 動 車 関 係	大型自動車運転免許 第1種	365	11	92	102	104	51	5	
	大型自動車運転免許 第2種	5		1	3		1		
	大型特殊運転免許 第1種	1				1			
	大型特殊運転免許 第2種	2			2				
	中型自動車運転免許 第1種	24		2	5	12	4	1	
	普通自動車運転免許 第1種	175	1	27	32	52	46	17	
	普通自動車運転免許 第2種	5	1	2	1		1		
	けん引運転免許 第1種	8		2	5	1			
	けん引運転免許 第2種	3		1	2				
	普通自動二輪車運転免許	171	8	31	46	54	28	4	
	大型自動二輪車運転免許	59	3	19	25	11	1		
	自動車整備士	3		2			1		
	小型移動式クレーン	130	8	38	45	23	16		
	玉掛け技能	147	9	38	57	26	16	1	
船 関 係	小型船舶操縦士	106	6	38	35	17	9	1	
	潜水士	60	2	16	20	11	9	2	
救 急 ・ 救 助 関 係	衛生管理者	9		4	4	1			
	救急隊員資格者(救急科)	247	2	37	85	76	37	10	
	救急隊員資格者(Ⅱ課程)	17	4	10	3				
	救急隊員資格者(Ⅰ課程・135時間)	59	10	38	11				
	応急手当指導員	307	13	95	104	67	24	4	
	水上安全法救助員	13	1	4	8				
	毒物・劇物取扱主任者	19		8	3	7	1		
酸欠硫化水素危険作業従事者	98	2	24	38	28	6			
機 械 関 係	ガス溶接技能	44	11	26	5	2			
	アーク溶接技能	10	3	5	1	1			
	ボイラー技師2級	5	1	2		1		1	
	高圧ガス三種製造保安責任者	22	2	15	4	1			
	第1級陸上特殊無線技士	2		2					
	第2級陸上特殊無線技士	149	2	24	61	57	5		
	第3級陸上特殊無線技士	8	1	3	4				
予 防 関 係	危険物取扱者(甲)	4	1	2	1				
	危険物取扱者(乙) 第1類	12		6	5	1			
	〃 第2類	11		5	6				
	〃 第3類	21		6	12	2	1		
	〃 第4類	199	3	59	76	57	4		
	〃 第5類	10		4	6				
	〃 第6類	10		3	6	1			
	危険物取扱者(丙)	36	9	24	3				
	消防設備士(甲) 特 類								
	〃 第1類								
	〃 第2類								
	〃 第3類								
	〃 第4類	7	1	1	2	2	1		
	〃 第5類	1					1		
	消防設備士(乙) 第1類	1			1				
	〃 第2類								
	〃 第3類								
	〃 第4類	3		1	2				
	〃 第5類	1			1				
	〃 第6類	12	1	6	4		1		
〃 第7類	1		1						
2級建築士	1			1					
予防技術資格者	23	1	11	1	10				

4 予防



業務概要

1 8 火災予防対策

昭和23年に消防法が制定されて以来、社会情勢の変化に対応し、また多数の死傷者が発生した火災を教訓としながら消防関係法令の改正がなされてきた。

昭和60年代までの火災の特徴は、大規模な建築物において消防用設備等の違反又は防火管理体制の不備等により大きな被害が発生する傾向にあったが、近年においては比較的小規模な建築物における火災により、多数の死傷者が発生する傾向にある。避難経路が一階段の小規模雑居ビル、自力避難が困難な方が入居する社会福祉施設、個室等が狭い空間に密集した施設形態となっているカラオケボックス等における火災、小規模飲食店からの出火による大規模な延焼拡大火災により、それぞれ法令の規制が強化された。

また、住宅火災での逃げ遅れ等による死者数を減少させるため、平成18年6月から新築住宅について住宅用火災警報器の設置が義務付けられ、既存住宅についても平成23年5月末までに条例により設置が義務付けられた。

本市においては、これらの法令改正に対応しながら的確・効率的な立入検査の実施や違反是正をより一層推進するとともに、各種メディア並びにイベント等を通じた幅広い広報活動や地域における住宅防火対策の推進等の各種施策を展開し、更なる火災予防対策の充実に努めている。

1 9 広報活動

火災を未然に防止し、火災による被害の軽減を図るための有効な手段として、予防広報活動がある。特に一般住宅の居住者に対する広報活動は、建物火災に占める住宅火災の割合が毎年高い値を示しており、総火災件数の減少に重要な意味を持つことから、広く市民に対し火災予防思想の普及を図る。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、火災予防に係る対面式の各種イベント等の開催を見送り、インターネットによる予防広報資料の配信や、SNSを利用した有益な情報の提供など、非接触型の広報活動により、防火意識の高揚を図った。

20 住宅防火対策の推進

全国的に住宅火災による死者は、建物火災による死者の大部分を占め、特に高齢者の死者発生率が他の年齢層に比べて極めて高い状況にあるため、今後、高齢化社会が進展すると、本市においても火災による死者が増加することが懸念される。

このような状況に鑑み、本市における住宅火災による死傷者の低減を図ることを目的として、各種メディアを利用した広報活動、火災予防キャンペーン及び高齢者世帯に対する住宅防火診断並びに、住宅用火災警報器の設置率向上等の各種施策を積極的に展開している。

なお、「住宅防火診断」は平成3年自治省消防庁長官通知に基づき全国的にスタートした制度であるが、本市においてはそれ以前の昭和50年代から「一人暮らし老人立入検査」として取り組んでおり、その後「住宅防火診断」に移行し現在に至っている。

21 防火推進員の活動

「開かれた行政、親しみのある行政をモットーに、消防にも女性の目を」と昭和62年4月1日に全国でも初めて、女性消防モニター『藤沢市消防モニター』制度を発足。平成10年度からは、この制度をさらに発展させた『藤沢市家庭防火推進員』制度へと衣替えした。

さらに、令和2年度からは、家庭における自助の火災予防広報の推進から、共助としての地域における火災予防及び住宅火災対策に主眼を置く事業へと深化及び進化を図るため『藤沢市防火推進員』制度に移行。

この制度は市内在住の方を対象に毎年度約20人を『藤沢市防火推進員』として任命し、消防主催行事への参加、体験研修等を通じて防火に関する知識・技術を習得することで、家庭における自助の火災予防広報の推進はもとより、共助として地域における火災予防及び住宅防火対策への造詣を深めるとともに消防に対する意見・提案等をおこなっていただくことを目的としている。

令和3年度防火推進員主な活動実績	
4月16日	委嘱状交付
5月27日	防災リーダー等研修会
10月30日	消火器等説明会
11月 1日	普通救命講習Ⅰ

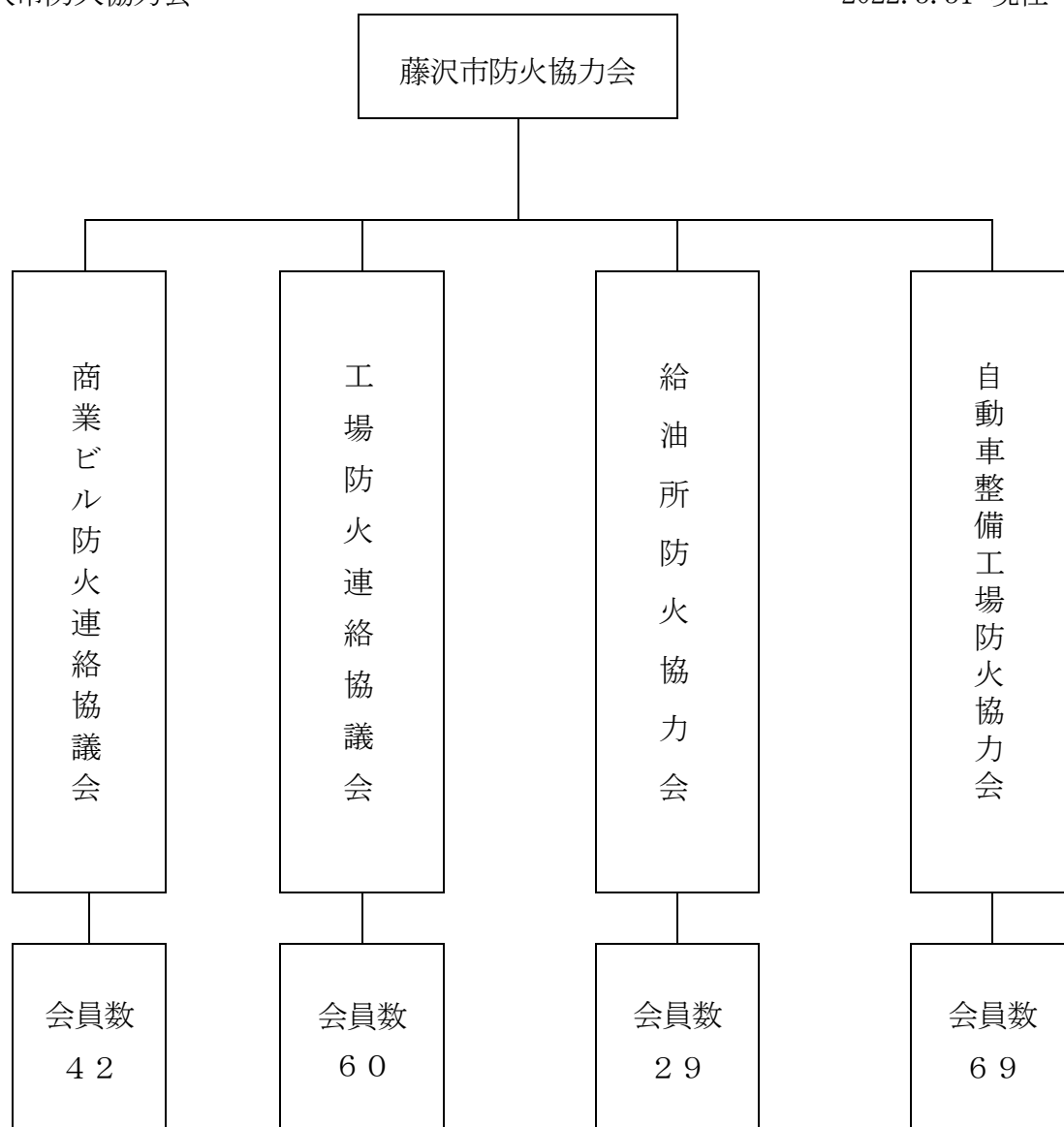
※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部の事業を中止とした。

2 2 防火協力会

市内各事業所と消防局との相互連携により、各種事業を通じ火災を含む各種災害の防止を図るとともに、安全で安心なまち藤沢を目指し活動している。

(1) 藤沢市防火協力会

2022. 3. 31 現在



(2) 主な事業

- ア 消防ポンプ操法大会
- イ 屋内消火栓操法大会
- ウ 研修会
- エ 火災予防キャンペーン
- オ 火災予防週間事業
 - (ア) 立入検査
 - (イ) 消防訓練

2 3 防火対象物の現況

本市は、1960年以降の高度成長期を通じ、JR藤沢駅を中心に建築物の高層・大型化、さらに複雑化に併せて密集化が進んできた。

また、湘南台駅周辺地区は小田急湘南台駅へ1999年3月相模鉄道いずみ野線が、同年8月に横浜市営地下鉄線が乗り入れ、本市の北部における新たな都市拠点として形成されたことにより建築物の増加が続いている。

JR辻堂駅周辺地域〔湘南C-X（シークロス）〕において都市再生事業が進められ、湘南藤沢徳洲会病院をはじめとする共同住宅等高さ40メートルを超える高層建築物が相次いで建築された。

今後、駅周辺に限らず、他の地区においても住環境の変化による建築物の高層・大型化が見込まれる。

(1) 高層建築物

2022. 3. 31 現在

区 分	計	31m超え 11階未満	11階	12階	13階	14階	15階	16階 以上
合 計	249	76	34	26	29	60	18	6
遊 技 場	2	2						
物 品 販 売	2	2						
ホ テ ル ・ 旅 館	6	3	2	1				
共 同 住 宅	158	12	27	21	26	51	18	3
病 院	2	2						
学 校	2	1						1
その他の事業所	16	16						
複 合 用 途	61	38	5	4	3	9		2

(2) 主な商業ビル

2022.3.31 現在

名 称	所 在 地	名 称	所 在 地
テラスモール湘南	辻堂神台1-3-1	藤沢プライム	南藤沢2-1-2
Luz 湘南辻堂	辻堂神台1-2-12	ダイエー湘南台店	湘南台1-3-3
イトーヨーカ堂 藤 沢 店	鵜沼石上1-10-1	藤沢オーパ	南藤沢22-3
ビックカメラ藤沢店	藤沢559	サンパール藤沢	藤沢555
フジサワ名店ビル	南藤沢2-1-1	イオン藤沢店	大庭5061-2
オ ー ケ ー ジャンボ藤沢	南藤沢6-23	イトーヨーカ堂 湘 南 台 店	石川6-2-1
ODAKYU 湘南GATE	南藤沢21-1	ルミネ藤沢店	藤沢438-1
ダイヤモンドビル	南藤沢2-1-3	湘南とうきゅう	遠藤698-10
ケーズデンキ 湘南藤沢店	葛原1695-3	オリンピック 藤 沢 店	渡内1-3-12
湘南モールFill	辻堂新町4-1-1	MrMax藤沢	辻堂新町4-3-5
辻堂ショッピング デパート	辻堂新町1-6-35		

2 4 防火対象物に係る表示制度

平成24年5月に発生した広島県福山市のホテル火災において、早期に延焼拡大した原因の一つとして、建築構造上の不適合が指摘されている。建築構造の適合性は防火安全上極めて重要であるが、旧適マーク制度が廃止された平成15年以降、建築構造の適合性等を情報提供する制度が無かったため、旅館・ホテル等不特定多数の者を収容する防火対象物に対し新たな表示制度が新設されることとなった。

この制度は、平成26年4月1日から施行され、旅館・ホテル等の防火管理体制及び建築基準適合の重要性に鑑み、防火対象物の関係者の防火に対する認識を高め、防火管理業務の適正化及び維持管理を促進することを目的としている。また、その情報を住民に公開するため、防火上一定の基準に適合している防火対象物については、その旨の表示マークを掲げることができる制度である。

2 5 防火管理及び防災管理に関する講習

学校、病院、工場、事業場、興行場、百貨店、複合用途その他多数の者が出入し、勤務し、又は居住する防火対象物の管理について権原を有する者は、その規模に応じ防火（防災）管理者を定め、消防計画の作成、消防訓練の実施など、防火（防災）管理上必要な業務を行わせなければならない。この防火（防災）管理者の資格を取得するための講習会は一般財団法人日本防火・防災協会により実施されている。

2 6 自衛消防組織の設置と防災管理

消防法の一部改正（平成21年6月1日施行）により、一定規模以上の防火対象物に対して自衛消防組織の設置と届出が義務となるとともに、その統括管理者（自衛消防隊長）等は必要な知識等を有する資格（自衛消防業務講習の修了等）が必要となった。

また、防火管理業務に加えて地震等の災害に備えた防災管理業務が義務づけられ、防災管理者の選任、防災管理に係る消防計画の作成に加えて、年1回の防災管理点検の実施や防災管理点検の特例認定が制度化された。

これにより、市内にある33の事業所において防災管理の活動が始まっている。

27 違反対象物の公表制度

この制度は、消防法令等に関する重大違反のある建物について、その法令違反の内容を公表することにより、利用者自らが利用を判断できる制度で、建物利用者等の防火安全に対する認識を高め、火災被害の軽減を図ることを目的としており、本市は平成28年4月1日から運用を開始している。

対象となる建物は、不特定多数の者が利用する建物で、屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、自動火災報知設備について、設置義務があるにもかかわらず、当該設備を構成する機器等が一切設置されていない建物とし、違反の是正が確認できるまで、藤沢市ホームページにおいて公表を行う。

28 建築許可等についての同意事務

消防法第7条に基づき、消防機関が建築物の新築等の計画段階から、建築物の出火防止、火災が発生した場合の避難及び延焼拡大防止、消火活動等の総合的な防火対策に関する規定について審査するものである。

2021年度中の本市における同意事務件数は、894件で前年度と比較し11件減少した。なお、最も同意件数が多いのは、全体の約70%を占める専用住宅であり、続いて共同住宅が約14%となっている。

29 危険物規制事務

(1) 危険物施設の状況

本市危険物許可施設は昨年に引き続き減少傾向であるが、設備の更新等に伴う変更許可件数については昨年と比較して増加している。

製造所等の総数は364施設(昨年368施設)で、主な内訳は、地下タンク貯蔵所90件、屋内貯蔵所93件、一般取扱所72件、給油取扱所66件、その他43件となっている。類別では第4類の危険物が356件で、全体の97.8%を占めている。

(2) 危険物取扱者試験受験準備講習会

危険物取扱者試験の乙種第4類受験者を対象として、神奈川県危険物安全協会連合会主催により、5月・7月・11月・2月の年4回講習会を実施した。

(3) 危険物取扱者保安講習会

消防法第13条の23の規定に基づき神奈川県が主催する、保安講習(危険物取扱者講習)に9月・2月の年2回消防局から講師を派遣し、863人が受講して危険物取扱いの保安に努めている。

(4) 危険物の事務処理状況

2021. 4. 1～2022. 3. 31

区 分		合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
許 可	設 置	1 0		5			3							2
	変 更	1 6 0		3			2				1 3			1 4 2
完 成 検 査	設 置	8		5			2							1
	変 更	1 4 7		3			1				1 7			1 2 6
仮使用承認		1 5 3		1			1				1 2			1 3 9
廃 止 (転出含む)		1 7		4	1		4				1			7
・仮貯蔵承認 2件 ・仮取扱承認 20件 ・水圧水張検査 0件														

統 計

30 防火対象物状況

防火対象物		消防法第17条に該当する 防火対象物数(棟)			
		合計	消防局	南署管内	北署管内
合 計		12,486	466	5,875	6,145
(1) 項	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場	6		2	4
	ロ 公会堂、集会場	30		21	9
(2) 項	イ キャバレー、カフェ				
	ロ 遊技場、ダンスホール	13		6	7
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗等				
	ニ カラオケボックス等	4		2	2
(3) 項	イ 待合、料理店	1			1
	ロ 飲食店	149	3	79	67
(4) 項	百貨店、マーケット	325	13	138	174
(5) 項	イ 旅館、ホテル	42		40	2
	ロ 寄宿舎、下宿、共同住宅	6,823	2	3,340	3,481
(6) 項	イ 病院、診療所、助産所	115	5	56	54
	ロ 老人短期入所施設等	126	1	48	77
	ハ 老人デイサービスセンター等	192	2	88	102
	ニ 幼稚園、特別支援学校	38		19	19
(7) 項	小学校、中学校、高等学校、大学各種学校	307	94	115	98
(8) 項	図書館、博物館、美術館	2			2
(9) 項	イ 蒸気浴場、熱気浴場、その他類するもの	2		1	1
	ロ 公衆浴場	2		2	
(1 0) 項	車両の停車場、船舶航空機の発着場	12		7	5
(1 1) 項	神社、寺院、教会	129		75	54
(1 2) 項	イ 工場、作業所	716	175	125	416
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ				
(1 3) 項	イ 自動車車庫、駐車場	58	12	24	22
	ロ 飛行機、回転翼航空機の格納庫				
(1 4) 項	倉庫	346	23	71	252
(1 5) 項	前号に該当しない事業所	946	105	390	451
(1 6) 項	イ 複合用途 一部 1~4、5(イ)、6、9(イ)	1,388	21	846	521
	ロ イ以外の複合用途	712	10	378	324
(1 6 の 2) 項	地下街				
(1 6 の 3) 項	準地下街				
(1 7) 項	文化財施設等	2		2	
(1 8) 項	延長50m以上のアーケード				
(1 9) 項	市町村長の指定する山林				
(2 0) 項	総務省令で定める舟車				

2022. 3. 31 現在

消防法第8条に該当する 防 火 対 象 物 数 (敷地)				防火管理者選任状況		消防計画届出状況	
合 計	消 防 局	南 署 管 内	北 署 管 内	選 任 済 数	選 任 率 (%)	届 出 数	届 出 率 (%)
2,535	53	1,391	1,091	2,311	91	2,172	86
1		1		1	100	1	100
19		14	5	19	100	18	95
12		6	6	12	100	12	100
3		1	2	3	100	3	100
1			1	1	100	1	100
126		68	58	116	92	108	86
200	9	86	105	170	85	166	83
33		31	2	33	100	33	100
571		325	246	492	86	445	78
30	1	14	15	30	100	29	97
91		39	52	85	93	85	93
106		52	54	101	95	102	96
31		15	16	31	100	30	97
86	5	43	38	84	98	81	94
2			2	1	50	2	100
2		1	1	2	100	2	100
4		1	3	4	100	4	100
52		29	23	47	90	46	88
67	11	17	39	63	94	61	91
2	2			2	100	2	100
17	1	1	15	15	88	16	94
180	5	102	73	165	92	157	87
795	18	483	294	738	93	679	85
104	1	62	41	96	92	89	86

3 1 建築同意処理状況

2021. 4. 1～2022. 3. 31

項別	区分	同意 件数	指導		新 築	増 築	改 築	移 転	修 繕	模 様 替	用 途 変 更	そ の 他
			有	無								
	合計	894	811	83	836	51	1				6	
(1) 項	イ											
	ロ	1	1		1							
(2) 項	イ											
	ロ											
	ハ											
	ニ											
(3) 項	イ											
	ロ	4	4		3						1	
(4)	項	3	3		3							
(5) 項	イ											
	ロ	126	126		126							
(6) 項	イ	5	4	1	4	1						
	ロ	4	4		4							
	ハ	2	2		2							
	ニ	2	2		1	1						
(7)	項	16	3	13	1	15						
(8)	項	1	1			1						
(9) 項	イ											
	ロ											
(10)	項	1	1			1						
(11)	項	1	1		1							
(12) 項	イ	5	4	1	3	2						
	ロ											
(13) 項	イ											
	ロ											
(14)	項	9	8	1	8	1						
(15)	項	49	30	19	37	11					1	
(16) 項	イ	27	25	2	22	1					4	
	ロ	11	11		9	2						
専 用 住 宅		627	581	46	611	15	1					

3 2 各種申請及び届出状況

2021. 4. 1～2022. 3. 31

区 分	合 計	消 防 局	南 署	北 署
防火管理者選任(解任)届出書	1,438	579	511	348
防火管理に係る消防計画作成(変更)届出書	1,558	626	514	418
防災管理者選任(解任)届出書	206	156	48	2
防災管理に係る消防計画作成(変更)届出書	212	161	42	9
自衛消防組織設置(変更)届出書	38	22	4	12
消防用設備等着工届	568	568		
消防用設備等設置届	1,262	1,262		
消防用設備等点検結果報告書	5,497	1,139	2,033	2,325
禁止行為解除承認申請(火気使用等許可申請)	51	21	13	17
防火対象物使用開始届	547	547		
火を使用する設備の設置(変更)届	30	26	4	
燃料電池発電・変電・発電・蓄電池設備設置届	74	63	2	9
ネオン管灯設備・水素ガス充てん気球設置届				
煙・火炎発生届	252	49	87	116
煙火打上・仕掛届	20		5	15
催物開催届	7		6	1
道路工事等届	1,437	410	504	523
少量危険物等貯蔵・取扱所設置(廃止)届	62	46	6	10
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱開始(廃止)届	41	6	11	24
旅館等防火安全施設調査願	6		6	
自衛消防訓練通知書・消防訓練等届出書	3,211	325	1,569	1,317
り災証明申請数	37		21	16
危険物製造所等品名, 数量, 引換係数変更届出書	10	10		
危険物製造所等廃止届出書	17	17		
危険物製造所等譲渡引渡届出書				
危険物保安監督者選任, 解任届出書	44	44		
危険物製造所等軽微な変更工事届出書	127	127		
危険物製造所等設置者氏名等変更届出書	48	48		
危険物製造所等休止届出書	3	3		
危険物製造所等災害発生届出書	1	1		
露店等開設届	30	21	4	5
指定洞道等設置届				
統括防火管理者選任(解任)届出書	64	19	30	15
全体についての消防計画作成(変更)届出書(防火)	71	27	30	14

区 分	合 計	消 防 局	南 署	北 署
統括防災管理者選任（解任）届出書	7	6		1
全体についての消防計画作成(変更)届出書（防災）	9	8		1
工事中の消防計画届出書	43	36	2	5
防火対象物点検結果報告書	812	372	322	118
防災管理点検結果報告書	234	209	20	5
防火対象物点検に係る特例申請	4	4		
防災管理点検に係る特例申請	6	6		
防火基準適合表示交付申請	1	1		
合 計	18,085	6,965	5,794	5,326

3 3 危険物製造所等許可数量

種別・品名	合計	製 造 所	小 計	貯			
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	
第一類 (kg)	第1種酸化性固体	2,275		2,275			
	第2種酸化性固体	60		60			
	第3種酸化性固体	8,900		8,900			
第二類 (kg)	硫化りん						
	赤りん						
	硫黄						
	鉄粉	4,091		175	175		
	第1種可燃性固体	240		240	240		
	第2種可燃性固体	200		200	200		
	引火性固体	1					
第三類 (kg)	自然発火性禁水性						
第四類 (ℓ)	特殊引火物	414		374	374		
	第1石油類	1,971,673		179,877	106,301		
	アルコール類	128,321		122,557	34,557	30,000	
	第2石油類	3,722,385		1,729,866	203,717	379,099	
	第3石油類	2,138,904		938,997	212,297	160,200	
	第4石油類	1,183,526		337,526	178,726		
	動植物油	3,138		2,688	2,688		
第五類 (kg)	第1種自己反応性						
	第2種自己反応性						
	他						
第六類 (ℓ)	酸化性液体	300		300	300		
施設件数		364		223	93	15	8

2022. 3. 31 現在

蔵 所				小 計	取 扱 所		
地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所		給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所
				3,916			3,916
				1			1
				40			40
73,000	576			1,791,796	1,769,276	3,220	19,300
58,000				5,764			5,764
1,088,600		20,100	23,600	1,992,519	1,580,076	12,960	399,483
469,400		2,000	48,000	1,199,907	58,570	2,850	1,138,487
94,200			62,600	846,000	6,100		839,900
				450		450	
90	1	8	8	141	66	3	72

3 4 危険物製造所等立入検査実施状況

2021. 4. 1～2022. 3. 31

区 分	施設数	検 査 延件数	良 好 施設数	指 導 施設数	
合 計	364	208	150	58	
製 造 所					
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	93	37	26	11
	屋外タンク貯蔵所	15	11	10	1
	屋内タンク貯蔵所	8	5	4	1
	地下タンク貯蔵所	90	42	35	7
	簡易タンク貯蔵所	1	1	1	
	移動タンク貯蔵所	8	8	5	3
	屋 外 貯 蔵 所	8	6	3	3
取 扱 所	給 油 取 扱 所	66	45	28	17
	販 売 取 扱 所	3			
	一 般 取 扱 所	72	53	38	15

35 危険物施設の推移・現況

2022.3.31 現在

推移・現況 区分		平成		令和			令和3年 施設数内訳						
		29年	30年	元年	2年	3年	第一類	第二類	第三類	第四類	第五類	第六類	混在
合計		381	380	374	368	364	2			356			6
製造所													
貯蔵所	小計	232	232	228	225	223	2			217			4
	屋内貯蔵所	93	94	93	92	93	2			87			4
	屋外タンク貯蔵所	16	16	16	16	15				15			
	屋内タンク貯蔵所	9	8	8	8	8				8			
	地下タンク貯蔵所	97	96	94	92	90				90			
	簡易タンク貯蔵所	1	1	1	1	1				1			
	移動タンク貯蔵所	8	9	8	8	8				8			
	屋外貯蔵所	8	8	8	8	8				8			
取扱所	小計	149	148	146	143	141				139			2
	給油取扱所	72	71	68	66	66				66			
	販売取扱所	3	3	3	3	3				3			
	一般取扱所	74	74	75	74	72				70			2
事業所数		201	198	195	194	191							

5 火災



火災の実態

36 火災の概要

2021年中における市内の火災発生件数は87件で、焼損棟数は51棟、建物焼損床面積268㎡、損害額29,985千円、死者0人、負傷者14人であった。

年		2021年
区 分		
火災件数		87件
同上1日当たり		0.24件
出火率(人口1万人当たり)		2.0件
建物焼損床面積		268㎡
損害額		29,985千円
火災1件当たりの損害額		345千円
火災による死者		0人
火災による負傷者		14人
出 火 原 因	1位 こんろ(※1)	12(4)件
	2位 放 火(※2)	6(5)件
	3位 電気機器	6件

※1 カッコ内の数字は「動植物油過熱出火」の件数を示す。

※2 カッコ内の数字は「放火の疑い」の件数を示す。

統 計

37 火災比較表

区分	2021年	2020年	増減
出火件数 (件)	87	101	-14
建物火災	49	59	-10
林野火災	3	1	2
車両火災	6	10	-4
船舶火災			
航空機火災			
その他の火災	29	31	-2
建物焼損棟数 (件)	51	64	-13
全焼	2	6	-4
半焼	1	3	-2
部分焼	7	17	-10
ぼや	41	38	3
建物焼損床面積 (㎡)	268	792	-524
林野焼損面積 (a)	3	7	-4
死傷者 (人)	14	19	-5
死者		1	-1
負傷者	14	18	-4
り災世帯数 (世帯)	34	27	7
全損	3	3	
半損	1	2	-1
小損	30	22	8
り災人員 (人)	83	52	31
損害額 (千円)	29,985	34,573	-4,588
建物	27,291	29,901	-2,610
建物以外の火災	2,694	4,672	-1,978
1件当たりの損害額 (千円)	345	342	3
1日当たりの出火件数 (件)	0.24	0.28	-0.04
1日当たりの建物火災件数 (件)	0.13	0.16	-0.03
1日当たりの損害額 (千円)	82	95	-13
建物1件当たりの焼損棟数 (棟)	1.04	1.08	-0.04
建物1件当たりの焼損床面積 (㎡)	5.5	13.4	-7.9
建物1件当たりの損害額 (千円)	557	507	50
出火率 (人口1万人あたり)	2.0	2.3	-0.3
主な出火原因			
1位 コンロ(※1)	12(4) ^{※1}	14(7) ^{※1}	
2位 放火(※2)	6(5) ^{※2}	12(6) ^{※2}	
3位 電気機器	6	7	

※1 カッコ内の数字は「動植物油過熱出火」の件数を示す。

※2 カッコ内の数字は「放火の疑い」の件数を示す。

3 8 出火時間別火災状況

2021. 1. 1～2021. 12. 31

出火時間別	火 災 種 別							爆 発
	合 計 (件)	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	
	87	49	3	6			29	
0 時 ～ 1 時	1	1						
1 時 ～ 2 時								
2 時 ～ 3 時	2	1		1				
3 時 ～ 4 時								
4 時 ～ 5 時								
5 時 ～ 6 時	3	1		1			1	
6 時 ～ 7 時	2	2						
7 時 ～ 8 時	4	4						
8 時 ～ 9 時	2	1					1	
9 時 ～ 1 0 時	8	6					2	
1 0 時 ～ 1 1 時	5	3					2	
1 1 時 ～ 1 2 時	7	4					3	
1 2 時 ～ 1 3 時	7	2	1				4	
1 3 時 ～ 1 4 時	15	8	1	3			3	
1 4 時 ～ 1 5 時	6	2					4	
1 5 時 ～ 1 6 時	5	2	1				2	
1 6 時 ～ 1 7 時	1			1				
1 7 時 ～ 1 8 時	2	1					1	
1 8 時 ～ 1 9 時	5	4					1	
1 9 時 ～ 2 0 時	1	1						
2 0 時 ～ 2 1 時	6	3					3	
2 1 時 ～ 2 2 時	1						1	
2 2 時 ～ 2 3 時	2	2						
2 3 時 ～ 2 4 時	1	1						
不 明	1						1	

39 署所別火災状況

区分 署所別	火災種別						原因大別				死者 48	負傷者 30	焼損棟数								
	計	建物	林野	車両	船舶	航空その他	爆発	失火	放火	不明その他			火元棟				延焼棟				計
													全焼	半焼	部分焼	ぼや	全焼	半焼	部分焼	ぼや	
	87	49	3	6		29	70	6	11		14	1	2	1	6	40			1	1	51
南署合計	38	27		3		8	29	2	7		7		2		4	21			1	1	29
南本署	9	9					8		1		2		1		3	5			1	1	11
辻堂	9	8				1	7		2		3					8					8
本町	7	5				2	4	1	2		1				1	4					5
荻田	5	2		1		2	3	1	1							2					2
村岡	2			1		1	1		1												
鵜沼	1					1	1														
明治	5	3		1		1	5				1		1			2					3
北署合計	49	22	3	3		21	41	4	4		7	1		1	2	19					22
北本署	8	7				1	8				4	1				7					7
長後	4	1		1		2	2		2							1					1
西部	17	3		2		12	16		1		1			1	2						3
御所見	6		3			3	2	4													
善行	8	8					8				1				1	7					8
六会	4	2				2	3		1					1		1					2
遠藤	2	1				1	2				1					1					1

り災世帯				り災人数	焼損床面積 (m ²)	焼損表面積 (m ²)	林野 (a)	損害見積額 (千円)								
全損	半損	小損	計					合計	建物		林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
									建築物	収容物						
3	1	30	34	83	268	25	3	29,985	25,891	1,400		246			2,448	
3		17	20	49	243	2		23,949	22,683	1,048		59			159	
2		6	8	20	135			9,417	8,846	571						
		6	6	15				82	9	35					38	
		2	2	5		2		143	7	136						
		2	2	5				39		39						
								52				20			32	
								2							2	
1		1	2	4	108			14,214	13,821	267		39			87	
	1	13	14	34	25	23	3	6,036	3,208	352		187			2,289	
		2	2	2				1,800	63	64					1,673	
								120		1		110			9	
		3	3	9		6		578	13	24		77			464	
							3	143							143	
		7	7	17		17		183	113	70						
	1		1	3	25			3,197	3,019	178						
		1	1	3				15		15						

40 地区別火災状況

区分 地区別	計	火災種別						原因大別					死者 48 時間	負傷者 30 日間	焼損棟数								計
		建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発	失火	放火	不明	その他			火元棟				延焼棟				
															全焼	半焼	部分焼	ぼや	全焼	半焼	部分焼	ぼや	
	87	49	3	6		29		70	6	11			14	1	2	1	6	40			1	1	51
片瀬	4	4						4					1				1	3					4
鵜沼	8	5	1			2		6		2			1	1		2	2				1	1	7
辻堂	11	9				2		8	1	2			3				9						9
村岡	2		1			1		1		1													
藤沢	8	6				2		5	1	2			1			1	5						6
明治	5	3	1			1		5					1	1			2						3
善行	7	7						7					1			1	6						7
湘南大庭	17	3	2			12		16		1			1			1	2						3
六会	5	3				2		4		1					1		2						3
湘南台	8	7				1		8					4	1			7						7
遠藤	1	1						1					1				1						1
長後	4	1	1			2		2		2							1						1
御所見	7		3			4		3	4														

り災世帯				り災人数	焼損床面積 (㎡)	焼損表 面積 (㎡)	林野 (a)	損 害 見 積 額 (千 円)								
全 損	半 損	小 損	計					合 計	建 物		林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	爆 発
									建 築 物	収 容 物						
3	1	30	34	83	268	25	3	29,985	25,891	1,400		246			2,448	
		5	5	11	1			58	35	23						
2		1	3	9	134			9,361	8,811	548					2	
		7	7	17				96	9	49					38	
								52				20			32	
		3	3	8		2		168	7	161						
1		1	2	4	108			14,214	13,821	267		39			87	
		6	6	16		17		182	113	69						
		3	3	9		6		578	13	24		77			464	
	1	1	2	4	25			3,198	3,019	179						
		2	2	2				1,800	63	64					1,673	
		1	1	3				15		15						
								120		1		110			9	
							3	143							143	

4 1 月別火災状況

区分 月別	火災種別						原因大別				死者 48 負傷者 30 日 間	焼損棟数									
	計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機 他	爆 発	失 火	放 火	不 明		そ の 他	火元棟				延焼棟				計
													全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	
	87	49	3	6		29	70	6	11		14	1	2	1	6	40			1	1	51
1 月	14	9		1		4	13	1			2				3	6					9
2 月	12	4				8	9		3						1	3					4
3 月	11	2		2		7	10		1		1	1				2					2
4 月	8	5				3	5	2	1		4				1	4					5
5 月	7	4	1	1		1	5	1	1		2					4					4
6 月	9	5	2	1		1	6	2	1					1	1	3					5
7 月	6	4		1		1	4		2		1		1			3			1	1	6
8 月	6	4				2	6				3					4					4
9 月																					
1 0 月	7	5				2	5		2							5					5
1 1 月	1	1					1									1					1
1 2 月	6	6					6				1		1			5					6

り災世帯				り災人数	焼損床面積 (m ²)	焼損表面積 (m ²)	林野 (a)	損害見積額 (千円)								
全損	半損	小損	計					合計	建物		林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
									建築物	収容物						
3	1	30	34	83	268	25	3	29,985	25,891	1,400		246			2,448	
1		5	6	19	18	17		3,058	2,783	236		39				
		3	3	5	1			227	35	58					134	
		2	2	3				256	1	13		57			185	
		3	3	8		6		1,823	13	137					1,673	
		1	1	3			3	576	63	19		40			454	
	1	1	2	6	25	2		3,321	3,026	185		110				
1		2	3	9	116			6,558	6,141	417						
		5	5	11				42		40					2	
		4	4	6				20		20						
								1		1						
1		4	5	13	108			14,103	13,829	274						

4 2 防火対象物別火災状況

防火対象物別	計	原因大別				死者 48時間 負傷者	30 日間	焼損棟数								計
		失 火	放 火	不 明	そ の 他			火元棟				延焼棟				
								全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	
	87	70	6	11		14	1	2	1	6	40			1	1	51
防火対象物別の合計	35	32	1	2		8	1			3	32					35
(1)イ 劇場、映画館																
(1)ロ 公会堂又は集会場																
(2)イ キャバレー、カフェ、ナイトクラブ等																
(2)ロ 遊技場又はダンスホール	1	1								1						1
(2)ハ 性風俗関連特殊営業等																
(2)ニ カラオケボックス等																
(3)イ 待合、料理店等																
(3)ロ 飲食店																
(4) 百貨店、マーケット等	1	1								1						1
(5)イ 旅館、ホテル等																
(5)ロ 寄宿舎、下宿又は共同住宅	15	13	1	1		6				2	13					15
(6)イ 病院、診療所等																
(6)ロ 老人短期入所施設等	2	2				1	1			2						2
(6)ハ 老人デイサービスセンター等	1	1								1						1
(6)ニ 幼稚園等																
(7) 小学校、中学校、高等学校等	1	1								1						1
(8) 図書館、博物館、美術館																
(9)イ 特殊浴場																
(9)ロ 公衆浴場																
(10) 車両の停車場等																
(11) 神社、寺院、教会等																
(12)イ 工場又は作業場	4	4								4						4
(12)ロ 映画スタジオ等																
(13)イ 自動車車庫又は駐車場																
(13)ロ 飛行機格納庫																
(14) 倉庫																
(15) 官公署																
(15) 事務所																
(15) その他																
(16)イ 複合用途(特定)	9	8		1		1				1	8					9
(16)ロ 複合用途(非特定)	1	1								1						1
(16の2) 指定地下街																
(16の2) その他の地下街																
(16の3) 建築物の地階																
(17) 重要文化財等指定建造物																
(18) アーケード(50m以上)																
(19) 市町村の指定する山林																
(20) 総務省令で定める舟車																
専用住宅	14	13		1		4		2	1	3	8			1	1	16
その他建物																
建物火災以外	38	25	5	8		2										

り災世帯				り災人数	焼損床面積 (㎡)	焼損表面積 (㎡)	林野 (a)	損害見積額 (千円)								
全損	半損	小損	計					合計	建物		林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
									建築物	収容物						
3	1	30	34	83	268	25	3	29,985	25,891	1,400		246		2,448		
1		20	21	49	18	2		3,225	2,741	484						
								10		10						
1		14	15	38	18			2,840	2,671	169						
		1	1	1				1		1						
		1	1	1				1		1						
								152		152						
		4	4	9		2		220	70	150						
								1		1						
2	1	10	13	34	250	23		24,066	23,150	916						
							3	2,694				246		2,448		

4 3 出火原因別火災状況

出火原因（発火源別）	件 数 計	損害額合計 （千円）	建 物 火 災				
			件	焼損床面積 （㎡）	焼損表面積 （㎡）	建築物 損害額 （千円）	収容物 損害額 （千円）
	87	29,985	49	268	25	25,891	1,400
たばこ	4	97	1				1
こんろ	12	795	12	1		675	120
かまど	1	14,087	1	108		13,821	266
風呂かまど							
炉	1	10	1				10
焼却炉	1	47					
ストーブ	4	29	3			7	22
こたつ							
ボイラー							
煙突・煙道							
排気管	1	143					
電気機器	6	334	5		23	126	156
電気装置							
電灯・電話等の配線	3	11	3				11
内燃機関							
配線器具	4	2,130	4	17		1,995	135
火あそび							
マッチ・ライター	1	39					
たき火	2						
溶接機・切断機	3	1,692	2		2	7	12
灯火	2	3	2				3
衝突の火花							
取灰							
火入れ	1	35	1	1		35	
放火	1	1	1				1
放火の疑い	5						
その他	24	3,816	10	25		3,083	237
不明・調査中	11	6,716	3	116		6,142	426

林 野 火 災			車 両 火 災		船 舶 火 災		航 空 機 火 災		そ の 他		爆 発	
件	焼損面積 (a)	損害額 (千円)	件	損害額 (千円)	件	損害額 (千円)	件	損害額 (千円)	件	損害額 (千円)	件	損害額 (千円)
3	3		6	246					29	2,448		
									3	96		
			1	37						10		
			1									
									1	143		
			1	20						32		
			1	39								
									2			
									1	1,673		
3	3								2			
			1	40					13	456		
			1	110					7	38		

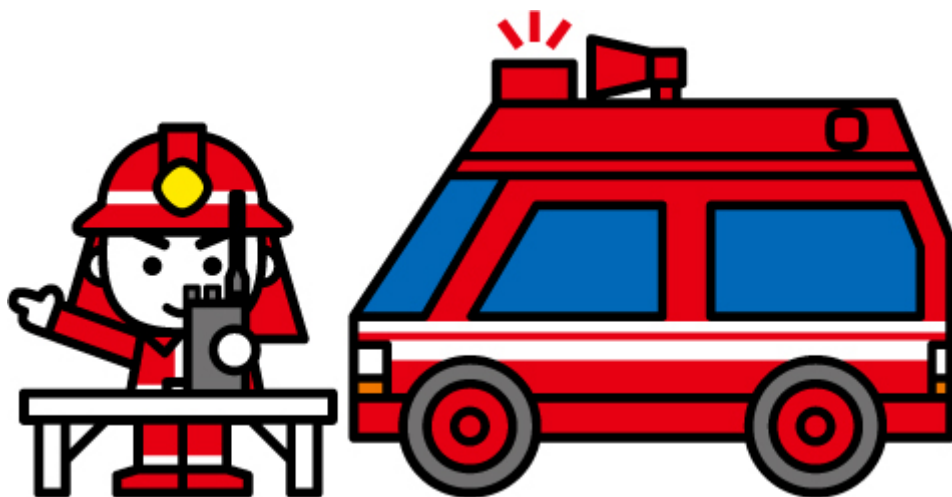
4 4 他都市との火災比較

		全 国 (概数)	神奈川県 (概数)	藤沢市	近	
					横浜市	川崎市
火 災 件 数	合 計	35,077	1,850	87	698	363
	建 物	19,461	1,138	49	463	226
	林 野	1,228	3	3		
	車 両	3,494	161	6	56	24
	船 舶	62	3		2	
	航 空 機					
	そ の 他	10,832	545	29	177	113
出火率(1万人当たり)		2.8	2.0	2.0	1.9	2.4
焼 損 床 面 積	建物(m ²)	975,134	24,577	268	8,975	2,529
	林野(a)	67,112	327	3		
損害額(千円)		72,720,770	7,218,127	29,985	5,574,666	143,463
死 傷 者	死 者	1,400	57		21	11
	負傷者	5,369	303	14	110	53
主 な 出 火 原 因	1位	放火 (疑い含む) 3,859	放火 (疑い含む) 318	こんろ 12	放火 (疑い含む) 122	放火 (疑い含む) 71
	2位	たばこ 3,017	たばこ 224	放火 (疑い含む) 電気機器	こんろ 103	たばこ 51
	3位	たき火 2,725	こんろ 215	各6	たばこ 102	こんろ 電気機器 各32

* 独自分類の出火原因については、回答のとおり表記しています。

隣		消			防	
相模原市	横須賀市・三浦市	平塚市	茅ヶ崎市	小田原市	鎌倉市	
131	93	42	38	90	26	
71	60	28	28	44	16	
13	4	6	4	17	2	
	1					
47	28	8	6	29	8	
1.8	2.2	1.6	1.6	4.8	1.5	
1,791	545	901	741	1,473	1,342	
228,366	55,442	102,390	137,799	145,372	145,688	
4	4	4		5	1	
19	15	14	14	7	7	
放火 (疑い含む) 29	放火 (疑い含む) 22	放火 (疑い含む) 7	たばこ こんろ 各5	放火 (疑い含む) 17	こんろ 5	
たばこ 13	電気関係 18	電気機器 5		たき火 12	たばこ 電気機器	
こんろ 9	たばこ 15	こんろ 3		電気機器 ・装置 4	たばこ 8	各2

6 警防



業務概要

過去の大規模災害を教訓として、近年中に発生が懸念されている大規模地震や、激甚化・頻発化する風水害、また、テロ等の特殊災害など市民生活における様々な脅威への対策を強化するため、車両や資機材の整備を中心に、消防体制の確立に努めている。

4 5 一般業務

消防隊は火災等の防ぎよ活動のほか、次のような業務を行っている。

- (1) 訓練（個人訓練、隊訓練、救助訓練、総合訓練）
- (2) 調査（雑草等調査、空家調査）
- (3) 点検（管区内外水利点検）
- (4) 検査（消防法第4条に基づく立入検査、高齢者独居世帯、防火水槽検査）
- (5) 教養（立入検査に関する教養、地水利把握、一般教養）
- (6) 防災育成指導
- (7) 水難救助（消防隊を兼務する鵜沼水難救助隊を配置）

4 6 大規模災害対策

消防局の震災対応力の向上を図るため、防災関係機関との連携強化を目的に、令和4年1月15日に藤沢市危機管理課が主催した震災対応訓練に参加した。

また、大規模震災発生により懸念される広範囲での断水時に伴う火災対応や、頻発化する台風やゲリラ豪雨により想定を超える規模の水害対応として、令和4年4月に「遠距離送・排水システム車」の運用を開始した。

4 7 本市の訓練実施状況

特殊災害並びに先の大震災の教訓を生かし、発災時における消防活動体制の強化と消防技術の向上及び隊員の気力、体力を錬成する目的から次の各種訓練を実施した。

(1) 放水訓練会

令和3年5月11日、12日、消防防災訓練センターにおいて、基本的な警防活動訓練に応用的な要素を加えることにより、部隊内における消防技術の伝承及び新たな消防戦術の検討を行い、迅速的確な行動を体得し、強固な部隊作りを目的に実施した。

(2) 警防活動訓練会

令和3年10月21日、22日、消防防災訓練センターにおいて、基本的な警防活動に応用的な要素を加え、いかなる状況においても対応できることを目的に実施した。

(3) 総合訓練

令和3年12月17日、20日、消防防災訓練センターにおいて、消防活動を安全かつ迅速に行うために、部隊連携による総合(実戦)的な訓練を実施し、警防活動の強化を図ることを目的に実施した。

(4) その他訓練

令和3年6月3日、4日、藤沢市南消防署において、消防局オリンピック対策図上訓練を実施した。想定については、爆発を伴うテロ災害で多数の負傷者がいるという想定で実施。

4.8 警防施設の整備

「消防水利の基準」及び「藤沢市消防水利基準」による計画的な整備を行い、消火栓1基の設置を行った。

「藤沢市特定開発事業等に係る手続き及び基準に関する条例」及び「都市計画法」に基づく指導により、防火水槽8基の設置がされている。

4.9 消防車両等の整備

消防力の充実強化を図るため計画的な消防車両等

遠距離送・排水システム車 1台(南消防署)

5.0 開発行為規制事務

平成22年7月1日に施行された「藤沢市特定開発事業等に係る手続き及び基準に関する条例」及び「都市計画法」に基づき、公共施設の整備促進を図り、良好な都市を形成するため市内における開発行為及び中高層建築物の建築に関する指導を行っている。

開発行為

- (1) 都市計画法第4条第12項に規定する開発行為でその規模が500平方メートル以上のものに対し、消防水利の設置を指導。
- (2) 「藤沢市特定開発事業等に係る手続き及び基準に関する条例」に該当する中高層建物に対し、消防用活動空地及び消防水利の設置を指導。

5 1 広域応援体制

地震や水害等における他都道府県からの消防応援の受入れ及び本市からの派遣に備え「緊急消防援助隊受援計画」及び「緊急消防援助隊応援等実施計画」を定めている。

本市は緊急消防援助隊として、消火部隊、救助部隊、救急部隊、後方支援部隊、特殊災害部隊（毒劇物等対応隊）及び特殊装備部隊（水難救助車隊、梯子車隊、大型水槽車隊、大型ブローア装置搭載車隊、遠距離送水用ポンプ車隊）を総務省消防庁へ登録している。

これまでの派遣履歴

- (1) 苫小牧における製油所原油貯蔵タンク火災（平成15年10月）に遠距離大量送水隊及び後方支援隊1隊を1次隊及び2次隊として合計27人を14日間派遣した。
- (2) 新潟県中越地震（平成16年10月）において、救助隊1隊、救急隊1隊及び後方支援隊1隊の合計21人を4日間派遣した。
- (3) 東日本大震災（平成23年3月）において、宮城県に3月11日から3月20日まで救助隊1隊、消防隊1隊、救急隊1隊、後方支援隊1隊の合計55人を交替で10日間、福島県に3月19日から6月6日まで救急隊1隊、後方支援隊1隊の合計62人を交替で58日間派遣した。
- (4) 静岡県熱海市土石流災害（令和3年7月）において、静岡県熱海市に7月3日から7月12日まで消防隊、救助隊、救急隊、後方支援隊の4隊の合計64人を交替で10日間派遣した。

5 2 国際消防救助隊

海外で発生した災害等に対する救助要請に隊員を派遣するため、令和4年4月現在6人を国際消防救助隊員として登録している。

(1) 派遣実績

平成20年5月に中華人民共和国四川省で発生した地震災害に対し、本市から2人を国際消防救助隊員として派遣した。

(2) 訓練実績

ア 令和3年11月16日、17日に横須賀市消防局が主催した国際消防救助隊県内合同訓練に参加した。

イ 令和4年2月16日から18日にかけて、総務省消防庁等が主催した国際消防救助隊セミナー（オンライン研修）に参加した。

5 3 歳末火災特別警戒

年末の慌ただしさに加え、火気への注意力の低下、空気の乾燥、さらに火気使用の増加と火災発生の危険性が增大することが予想されることから、火災等の災害に迅速に対処するため、消防の総力をあげて警戒の万全を期するとともに、市民の火災等に対する警戒心を喚起することを目的とし、令和3年12月25日から同年1月31日まで歳末火災特別警戒を実施した。

統 計

5 4 消防局署現有車両

2022. 4. 1現在

区分 配置	車 両 別	車 種		総重量 (kg)	車両寸法 (cm)			
		車 名	総排気量		長さ	幅	高さ	
消防局	指令車	トヨタ	2,490	1,845	489	180	165	
	総務乗用車	トヨタ	1,790	2,005	469	169	182	
	警防活動車	ニッサン	1,990	1,845	469	182	185	
	警防軽自動車	スズキ	650	1,310	339	147	189	
	団広報車	三菱	2,350	2,230	475	179	203	
	団活動車	ニッサン	1,780	2,575	428	169	208	
	予防査察車	ニッサン	2,490	2,600	488	179	212	
	予防軽自動車	ダイハツ	650	1,330	339	147	187	
	予防火災調査車	ニッサン	2,380	2,825	504	169	254	
	救急救命広報車	ニッサン	1,990	2,100	471	169	206	
	救急普及啓発広報車	ニッサン	4,470	4,585	647	207	273	
	WS 救急救命軽自動車	ダイハツ	650	1,410	339	147	192	
WS 本町救急車	トヨタ	2,690	3,205	565	189	249		
南 消 防 署	南本署	南指揮車	トヨタ	1,990	2,970	475	169	238
		南広報車 1	スバル	1,990	1,955	462	181	187
		南広報車 2	ニッサン	2,490	2,620	488	179	212
		南本署消防ポンプ自動車	いすゞ	2,990	6,405	585	193	285
		高度救助工作車	いすゞ	5,190	11,925	827	240	330
		40m梯子付消防ポンプ自動車	いすゞ	15,680	19,640	1,090	249	350
		ミニ消防車	スズキ	650	1,410	340	147	193
		南藤沢救急車 1	トヨタ	2,690	3,205	565	189	249
		南藤沢救急車 2	トヨタ	2,690	3,195	566	189	249
		南本署軽自動車 1	三菱	650	1,380	339	147	194
		南本署軽自動車 2	ダイハツ	650	1,230	339	147	197
		南本署軽トラック	スズキ	650	1,270	339	147	188
		支援 2	いすゞ	5,190	10,900	654	224	304
		支援 3	トヨタ	4,000	4,655	634	203	295
		南非常用消防ポンプ自動車	いすゞ	2,990	5,865	590	191	285
		南非常用救急車 1	トヨタ	2,690	3,235	562	189	249
		南非常用救急車 2	トヨタ	2,690	3,235	562	189	249
		遠距離 1	いすゞ	5,190	14,835	765	246	323

配置	区分	車 両 別	車 種		総重量 (kg)	車両寸法 (cm)		
			車 名	総排気量		長さ	幅	高さ
南 消 防 署	辻 堂 出張所	南救助工作車 (ポンプ付)	いすゞ	2,990	7,065	617	193	297
		30m梯子付消防ポンプ自動車	いすゞ	5,880	15,030	1080	249	358
		辻堂救急車	トヨタ	2,690	3,205	565	189	249
		辻堂軽自動車	ダイハツ	650	1,230	339	147	199
	本 町 出張所	本町消防ポンプ自動車	いすゞ	5,190	9,570	635	233	287
		南資機材搬送車 2	いすゞ	2,990	6,955	548	194	292
		本町軽自動車	ダイハツ	650	1,460	339	147	199
	荻 田 出張所	荻田消防ポンプ自動車	いすゞ	2,990	6,385	592	194	281
		南資機材搬送車 1	いすゞ	2,990	7,495	640	220	306
		荻田救急車	トヨタ	2,690	3,205	565	189	249
		荻田軽自動車	ダイハツ	650	1,450	339	147	198
		荻田非常用消防ポンプ自動車	いすゞ	5,190	10,970	720	230	290
	村 岡 出張所	村岡消防ポンプ自動車	いすゞ	2,990	6,495	590	193	285
		村岡救急車	トヨタ	2,690	3,205	565	189	249
		支援 1	いすゞ	7,790	12,390	946	247	354
		村岡軽自動車	ダイハツ	650	1,470	339	147	196
	鶴 沼 出張所	鶴沼消防ポンプ自動車	いすゞ	2,990	7,405	588	193	290
		鶴沼水難救助車	いすゞ	4,770	7,315	748	224	300
		鶴沼軽自動車	ダイハツ	650	1,230	339	147	197
		ボートトレーラ	ソレックス	-	660	431	169	91
江の島救急車		ダイハツ	650	1,320	339	147	197	
明 治 出張所	明治化学消防ポンプ自動車	いすゞ	5,190	10,910	695	232	307	
	明治救急車	トヨタ	2,690	3,235	565	189	249	
	大型ブローカー車	いすゞ	5,193	9,730	818	232	353	
	明治軽自動車	ダイハツ	650	1,410	339	147	192	
北 消 防 署	北本署	北指揮車	トヨタ	2,690	3,000	565	188	250
		北広報車 1	スバル	1,990	1,955	462	181	187
		北救助消防ポンプ自動車	いすゞ	2,990	6,465	592	193	282
		北広報車 2	ニッサン	2,490	2,620	488	179	212
		北救助工作車	いすゞ	5,190	11,105	806	234	324
		40m梯子付消防ポンプ自動車	いすゞ	15,680	19,450	1,125	249	367
		北藤沢救急車	トヨタ	2,690	3,215	565	190	249
		管理課軽自動車	ダイハツ	650	1,410	339	147	192
北本署軽自動車	ダイハツ	650	1,230	339	147	199		

配置	区分	車 両 別	車 種		総重量 (kg)	車両寸法 (cm)		
			車 名	総排気量		長さ	幅	高さ
北 消 防 署	長 後 出張所	長後消防ポンプ自動車	いすゞ	2,990	6,175	592	193	285
		長後救急車	トヨタ	2,690	3,205	565	189	249
		長後軽自動車	ダイハツ	650	1,460	339	147	199
		長後非常用消防ポンプ自動車	いすゞ	4,770	6,115	581	188	290
		長後非常用救急車	トヨタ	2,690	3,175	562	189	254
	西 部 出張所	西部消防ポンプ自動車	いすゞ	5,190	10,640	700	236	300
		30m梯子付消防ポンプ自動車	いすゞ	15,680	16,440	1,000	249	346
		西部救急車	トヨタ	2,690	3,205	565	189	249
		西部軽自動車	ダイハツ	650	1,230	339	147	199
		西部非常用救急車	トヨタ	2,690	3,225	562	189	249
	御所見 出張所	御所見消防ポンプ自動車	いすゞ	2,990	6,465	590	193	285
		御所見救急車	トヨタ	2,690	3,215	565	190	249
		御所見軽自動車	ダイハツ	650	1,460	339	147	198
		小型動力付水槽車	いすゞ	7,790	19,060	825	249	320
		御所見非常用消防ポンプ自動車	いすゞ	8,220	9,910	720	230	310
	善 行 出張所	善行消防ポンプ自動車	いすゞ	2,990	6,995	580	193	276
		善行救急車	トヨタ	2,690	3,205	565	189	249
		善行軽自動車	ダイハツ	650	1,460	339	147	199
	六 会 出張所	六会消防ポンプ自動車	いすゞ	5,190	10,850	695	234	306
		六会救急車	トヨタ	2,690	3,205	565	189	249
		六会軽自動車	ダイハツ	650	1,410	339	147	192
	遠 藤 出張所	遠藤化学消防ポンプ自動車	いすゞ	5,190	11,860	695	234	319
		遠藤救急車	ニッサン	3,490	3,285	564	190	246
		北資機材搬送車	いすゞ	2,990	7,495	640	220	306
		遠藤軽自動車	ダイハツ	650	1,450	339	147	199

5 5 署所別消防水利設置状況

2022. 4. 1現在

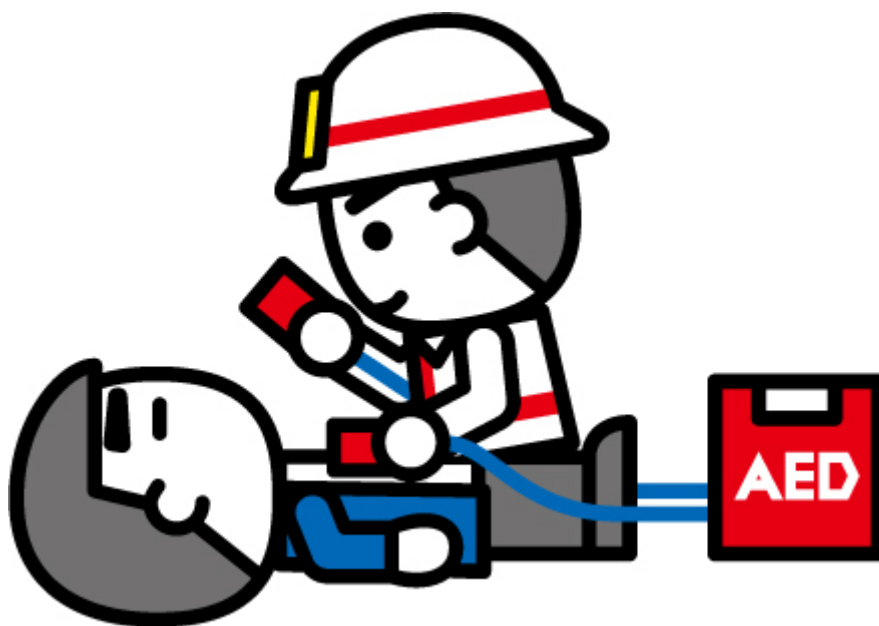
区分	合計 A+B+C	消火栓			防火水槽				プ ー ル 等 (C)		
		計 (A)	公設	私設	計 (B)	公設		私設 (消防水利指定)			
						20m ³	40m ³ 以上	20m ³		40m ³ 以上	
合計	7,303	4,964	4,932	32	2,266	404	596	612	654	73	
南 消 防 署	小計	3,508	2,275	2,265	10	1,197	208	283	351	355	36
	南本署	704	411	410	1	288	43	55	114	76	5
	辻堂	464	303	298	5	153	48	41	36	28	8
	本町	511	301	300	1	202	11	47	75	69	8
	苅田	345	246	246	-	95	28	24	27	16	4
	村岡	680	513	511	2	162	21	49	35	57	5
	鶴沼	363	234	234	-	127	32	34	28	33	2
	明治	441	267	266	1	170	25	33	36	76	4
北 消 防 署	小計	3,795	2,689	2,667	22	1,069	196	313	261	299	37
	北救助	591	359	359	-	227	16	44	99	68	5
	長後	479	332	332	-	140	50	37	31	22	7
	西部	714	590	584	6	117	9	64	14	30	7
	御所見	424	316	314	2	105	39	35	9	22	3
	善行	594	381	371	10	210	38	51	56	65	3
	六会	411	292	292	-	112	22	44	15	31	7
	遠藤	582	419	415	4	158	22	38	37	61	5

5 6 開発行為等事務処理状況

2022.4.1 現在

区分		協議件数	指導件数	水槽設置指導数(基)		水槽免除	消防活動 避難関係 指導(件)
年度	種別			40m ³ 以上	20m ³		
2012	平面開発	93	5	5	0	90	0
	中高層開発	30	30	8	0	22	30
2013	平面開発	91	2	2	0	89	0
	中高層開発	28	27	8	0	20	27
2014	平面開発	91	4	5	0	87	0
	中高層開発	27	27	4	0	23	27
2015	平面開発	98	2	3	0	96	0
	中高層開発	43	43	11	0	32	43
2016	平面開発	101	5	5	0	96	0
	中高層開発	36	36	14	0	22	36
2017	平面開発	85	6	2	0	83	0
	中高層開発	36	36	5	0	31	36
2018	平面開発	80	3	3	0	77	0
	中高層開発	32	32	9	0	23	32
2019	平面開発	76	4	4	0	72	0
	中高層開発	39	39	20	0	19	39
2020	平面開発	68	4	4	0	64	0
	中高層開発	30	30	13	0	17	30
2021	平面開発	53	1	2	0	52	0
	中高層開発	29	29	6	0	23	29

7 救急救命



業務概要

令和3年（2021年）中における本市の救急出動件数は、2万2,070件（対前年比801件増）、搬送人員は2万318人（対前年比608人増）で救急出動件数、搬送人員ともに対前年比で増加した。令和3年の始めは、緊急事態宣言の発令及び新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う市民の行動変容により、インフルエンザの流行等がなく、例年とは異なる社会状況を呈し、救急出動件数も減少した。一方で、3月以降は、各月の救急出動件数は前年の件数を概ね上回る状況となった。

こうした中、救急需要に対応するため、新型コロナウイルス感染拡大防止のため一時中断していた救命講習の一部を再開し、市民に対してもバイスタンダーの育成と応急手当の必要性について普及促進すると共に、緊急性の高い事案に救急車を利用するよう、救急車の適正利用についても周知した。

また、救急救命士の知識の向上を目的とした研修体制の確保や、円滑で効果的な救急業務を推進するため、メディカルコントロール体制の整備や医療機関との連携を図っている。

藤沢市民病院の敷地内に設置している救急ワークステーションでは、出動機能を備えた救急隊が常駐し、救急隊員の研修を実施すると共に、重症や重篤と推定された救急要請に対しては、医師が救急車に同乗して出動することにより、質の高い病院前医療を提供している。

令和3年（2021年）中に医師が救急車に同乗して出動した件数は29件あり、今後も増加が予想される救急需要に対し、救命率向上を図る上で、必要かつ重要な救急施策である。

5.7 救急救命事業

(1) メディカルコントロール体制の充実強化

救急現場から病院収容までの間における応急処置の質の向上

- ア 専門医師による救急救命士の救急救命処置に対する指示、救急隊員への指導・助言体制の充実を図る。
- イ 救急隊員の救急活動について、専門医師が医学的観点から事後検証を行い、救急隊にその内容を還元し応急処置の質の向上を図る。
- ウ 救急救命士を含む救急隊員のレベル向上のための教育・研修などを行い、応急処置の質の向上を図る。

(2) 救急資器材の整備、救急隊の業務環境の整備

救急活動を円滑に遂行するための業務環境の整備

- ア 救急活動用資器材を整備し、救急需要対策を図る。
- イ 救急廃棄物の処理等、業務環境の整備を図る。

- (3) 救急業務全般に係る種々の社会情勢に鋭敏に対応し、市民ニーズに即応した救急サービスを提供するための救急救命事業を展開する。

5 8 救急高度化事業

- (1) 救急救命士の養成・教育・研修体制の整備、救急業務の高度化

- ア 救急救命士養成研修
- イ 救急救命士就業前教育病院実習 免許取得時160時間以上
- ウ 救急救命士再教育病院実習 2年間で96時間
- エ 気管挿管再教育病院実習
- オ ビデオ喉頭鏡気管挿管病院実習 2症例

- (2) 救急救命士の各認定者数の推移

各年4月1日現在

	2022年 (令和4年)		2021年 (令和3年)		2020年 (令和2年)		2019年 (平成31年)		2018年 (平成30年)	
	有資格	運用	有資格	運用	有資格	運用	有資格	運用	有資格	運用
救急救命士	120	98	119	98	108	95	108	87	105	83
薬剤投与認定 (拡大2行為)	113 (111)	94 (94)	107 (105)	92 (91)	102 (101)	90 (90)	100 (99)	79 (79)	92 (90)	74 (73)
気管挿管認定 (ビデオ喉頭鏡)	51 (43)	47 (41)	52 (44)	49 (42)	50 (34)	46 (32)	48 (26)	41 (22)	44 (21)	35 (18)

有資格・・・救急救命士及び各種認定資格を有する職員数

運用・・・救急救命士及び各種認定資格を有し、救急隊員として現場活動に従事している職員数

5 9 応急手当普及啓発推進事業

- (1) 各種救命講習の開催、応急手当実施率・救命率の向上
各種救命講習開催状況

	普通救命講習									上級救命講習	
			普通救命講習Ⅰ		普通救命講習Ⅱ		普通救命講習Ⅲ				
	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	
2021年度* (令和3年度)	1,888	118	1,652	91	0	0	236	27	0	0	
2020年度* (令和2年度)	914	71	897	69	0	0	17	2	0	0	
2019年度* (令和元年度)	7,631	197	6,471	152	101	5	1,059	40	101	5	
2018年度 (平成30年度)	10,058	244	9,075	203	89	4	894	37	154	6	
2017年度 (平成29年度)	9,396	243	8,472	199	98	6	826	32	125	6	
平成6年からの 累計	145,625	4,281	137,370	3,903	2,031	86	6,224	292	2,598	104	

※2019年度から2021年度まで、緊急事態宣言等により多くの講習を中止した。

- (2) 救命講習に係る指導者の育成

ア 応急手当指導員

消防職員に対し、応急手当指導員講習を実施、応急手当指導員の拡充を図る。

イ 応急手当普及員

応急手当普及員講習、応急手当普及員再講習を実施、応急手当普及員の拡充を図る。

- (3) 応急手当普及啓発に係る民間団体との連携

ア NPO法人ふじさわ救命普及推進会と連携し、応急手当普及啓発事業の充実強化を図る。

イ 救命普及指導員制度の充実

応急手当指導員及び応急手当普及員の中から、救命の指導技術に優れた人を救命普及指導員として委嘱し、消防職員と協働して救命講習を実施し、応急手当普及啓発の推進を図る。

(4) その他、応急手当普及啓発に係る施策

ア 市内中学生に対する応急手当教育の実施

市内中学生に対し、普通救命講習若しくは、応急手当教育を行い、地域の安全・安心に貢献できる人材の育成を図る。

イ 救急普及啓発広報車の活用、普及啓発活動の実施

救急普及啓発広報車を用いて、各種防災訓練や応急救護訓練、各種イベントに参加し、応急手当の普及啓発を図る。

ウ 救急フェア、消防・救急キャンペーンの実施

藤沢市内一斉救命講習などを実施し、応急手当普及啓発活動を行う。

エ 救急セーフティーステーション標章交付制度の推進

AEDを設置し、かつ、従業員の20%以上が救命講習を修了している事業所に対し、救急セーフティーステーション標章を交付することで、公的・民間事業所の地域貢献を推進し、AEDの設置、救命講習受講の推進を図る。

オ AEDの貸出

市内で開催され、市民を含む参加者の多いスポーツ競技やその他のイベントなどの主催者に対し、AEDを貸し出すことで、参加者が心肺停止に陥った際の救命活動に備えると共に、バイスタンダーが早期に除細動を実施することで、救命率の向上を図る。



60 救急隊の配置状況

2022.4.1 現在

区 分		隊員数	救急自動車台数	主な出動地区
合 計		138	18 (非常用 4)	
局	本町救急隊	8	1	藤沢・善行・鵜沼地区
南 消 防 署	南藤沢救急隊 1	10	3 (非常用 2)	鵜沼・藤沢・片瀬・村岡地区
	南藤沢救急隊 2	10	1	片瀬・鵜沼地区
	辻堂救急隊	10	1	辻堂・鵜沼・明治地区
	荻田救急隊	10	1	鵜沼・藤沢・辻堂地区
	村岡救急隊	10	1	村岡・藤沢地区
	明治救急隊	10	1	明治・辻堂・湘南大庭地区
北 消 防 署	北藤沢救急隊	10	2 (非常用 1)	湘南台・六会・長後・遠藤地区
	長後救急隊	10	1	長後・湘南台地区
	御所見救急隊	10	1	御所見・遠藤・長後地区
	西部救急隊	10	2 (非常用 1)	湘南大庭・遠藤・六会地区
	善行救急隊	10	1	善行・湘南大庭・藤沢地区
	遠藤救急隊	10	1	遠藤・六会・御所見地区
	六会救急隊	10	1	六会・湘南台・長後地区







8 救急



統 計

6 1 総救急件数

22,070 件

<p>急 病 14,518 件 (65.8%)</p> 	<p>交通事故 1,285 件 (5.8%)</p> 	<p>一般負傷 3,707 件 (16.8%)</p> 
<p>労働災害 155 件 (0.7%)</p> 	<p>加害事故 96 件 (0.4%)</p> 	<p>自損行為 207 件 (0.9%)</p> 
<p>運動競技 125 件 (0.6%)</p> 	<p>水 難 50 件 (0.2%)</p> 	<p>火 災 140 件 (0.6%)</p> 
<p>自然災害 8 件 (0.03%)</p> 	<p>転 院 1,665 件 (7.5%)</p> 	<p>そ の 他 114 件 (0.5%)</p>

6 2 隊別・地区別・曜日別救急活動状況

区 分	合 計		救						急				
			火 災		自 然 災 害		水 難		交 通		労 働 災 害		
	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	
合 計	22,070	20,318	140	14	8	3	50	5	1,285	1,209	155	149	
WS	小 計	1,929	1,700	14	1	0	0	0	0	101	86	9	8
	本町救急隊	1,929	1,700	14	1	0	0	0	0	101	86	9	8
南 署	小 計	10,329	9,454	60	8	1	0	45	5	597	555	47	46
	南藤沢救急隊1	2,483	2,198	20	2	1	0	13	0	125	113	9	9
	南藤沢救急隊2	1,313	1,165	5	0	0	0	18	3	78	72	3	3
	辻堂救急隊	1,457	1,351	12	2	0	0	9	1	97	93	5	5
	荏田救急隊	1,663	1,558	3	0	0	0	2	0	108	99	8	8
	村岡救急隊	1,522	1,418	7	0	0	0	1	1	74	66	9	9
	明治救急隊	1,868	1,764	13	4	0	0	1	0	115	112	12	12
	江の島救急車	23	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
	南その他の隊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北 署	小 計	9,812	9,164	66	5	7	3	5	0	587	568	99	95
	北藤沢救急隊	1,827	1,704	8	2	3	1	1	0	106	105	18	16
	長後救急隊	1,193	1,099	6	0	0	0	0	0	75	67	6	6
	西部救急隊	1,630	1,558	12	0	1	1	0	0	89	88	9	8
	御所見救急隊	855	796	12	1	0	0	2	0	58	59	16	16
	善行救急隊	1,535	1,436	7	1	0	0	0	0	66	64	14	14
	遠藤救急隊	1,377	1,292	12	1	0	0	2	0	99	97	29	28
	六会救急隊	1,395	1,279	9	0	3	1	0	0	94	88	7	7
	北その他の隊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地 区 別	小 計	22,070	20,318	140	14	8	3	50	5	1,285	1,209	155	149
	片 瀬	1,201	1,027	9	1	0	0	31	3	77	70	5	4
	鵜 沼	3,054	2,742	16	1	1	0	6	0	147	136	7	7
	辻 堂	1,891	1,738	20	3	0	0	6	1	124	111	8	8
	村 岡	1,336	1,256	5	0	0	0	2	1	65	58	9	9
	藤 沢	2,692	2,428	14	1	0	0	0	0	159	143	13	12
	明 治	1,710	1,625	9	2	0	0	0	0	116	115	13	13
	善 行	1,847	1,699	13	1	0	0	0	0	76	71	15	15
	湘 南 大 庭	1,333	1,272	9	1	0	0	0	0	74	75	3	2
	六 会	1,531	1,438	5	0	1	1	0	0	86	84	8	8
	湘 南 台	1,744	1,602	13	2	5	1	0	0	110	105	22	21
	遠 藤	1,114	1,058	6	0	1	1	2	0	89	86	25	24
	長 後	1,556	1,451	5	1	0	0	1	0	99	91	8	8
	御 所 見	1,029	951	16	1	0	0	2	0	63	64	19	18
	市 外	32	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
曜 日 別	小 計	22,070	20,318	140	14	8	3	50	5	1,285	1,209	155	149
	月 曜 日	3,352	3,099	18	2	2	0	12	0	173	169	26	26
	火 曜 日	3,163	2,924	9	2	0	0	6	0	180	167	23	22
	水 曜 日	3,163	2,902	28	1	1	1	10	1	178	164	23	22
	木 曜 日	3,139	2,885	20	3	2	1	2	1	204	192	27	25
	金 曜 日	3,253	3,016	23	3	1	1	10	1	202	195	28	27
	土 曜 日	3,132	2,876	20	1	2	0	2	1	201	192	16	15
日 曜 日	2,868	2,616	22	2	0	0	8	1	147	130	12	12	

事		故						種		別		その他			
運動競技		一般負傷		加害		自損行為		急病		転院		その他			
出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員		
125	126	3,707	3,498	96	74	207	151	14,518	13,419	1,665	1,662	114	8		
16	17	303	286	11	7	24	16	1,232	1,101	178	178	41	0		
16	17	303	286	11	7	24	16	1,232	1,101	178	178	41	0		
43	43	1,831	1,717	42	28	83	57	6,697	6,144	849	847	34	4		
8	8	451	414	16	10	24	16	1,591	1,408	217	217	8	1		
1	1	287	261	7	6	13	8	838	751	60	60	3	0		
10	10	281	268	5	3	11	7	914	853	109	109	4	0		
8	8	267	252	5	4	9	8	1,181	1,112	67	67	5	0		
12	12	256	250	5	2	17	13	1,067	998	66	66	8	1		
4	4	284	272	4	3	8	5	1,091	1,022	330	328	6	2		
0	0	5	0	0	0	1	0	15	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
66	66	1,573	1,495	43	39	100	78	6,589	6,174	638	637	39	4		
9	9	286	271	9	8	20	14	1,242	1,158	119	119	6	1		
4	4	214	202	3	3	10	9	775	717	92	91	8	0		
6	6	265	257	1	1	15	11	1,112	1,067	118	118	2	1		
6	6	114	107	1	1	4	4	576	537	65	65	1	0		
18	18	254	242	15	14	18	13	1,081	1,014	55	54	7	2		
16	16	194	185	7	7	19	15	891	843	100	100	8	0		
7	7	246	231	7	5	14	12	912	838	89	90	7	0		
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
125	126	3,707	3,498	96	74	207	151	14,518	13,419	1,665	1,662	114	8		
1	1	240	216	7	6	12	7	758	665	54	54	7	0		
15	15	593	544	18	11	15	11	2,020	1,809	209	208	7	0		
11	11	326	310	6	3	16	12	1,296	1,206	73	73	5	0		
9	9	219	215	4	3	18	11	906	855	95	95	4	0		
18	19	451	426	13	9	25	21	1,713	1,554	241	241	45	2		
2	2	238	226	4	3	7	5	931	874	385	383	5	2		
23	23	321	304	13	11	31	20	1,325	1,229	23	23	7	2		
6	6	231	224	2	2	8	3	888	851	107	107	5	1		
9	9	239	227	6	5	21	20	1,120	1,056	28	28	8	0		
3	3	272	255	12	10	15	9	1,099	1,009	185	186	8	1		
19	19	152	149	5	5	15	11	692	657	106	106	2	0		
4	4	280	264	5	5	16	13	1,031	968	98	97	9	0		
5	5	136	129	1	1	8	8	716	664	61	61	2	0		
0	0	9	9	0	0	0	0	23	22	0	0	0	0		
125	126	3,707	3,498	96	74	207	151	14,518	13,419	1,665	1,662	114	8		
8	8	532	508	14	12	35	25	2,240	2,071	278	278	14	0		
18	18	507	474	8	6	27	20	2,102	1,950	264	264	19	1		
13	14	525	495	16	11	33	23	2,066	1,925	246	244	24	1		
15	15	529	494	14	10	37	29	2,049	1,890	224	223	16	2		
8	8	551	529	9	5	26	21	2,063	1,909	316	316	16	1		
32	32	570	537	11	8	26	17	2,036	1,866	205	205	11	2		
31	31	493	461	24	22	23	16	1,962	1,808	132	132	14	1		

6 3 時間別・収容所要時間別救急活動状況

区 分		救 急 事											
		合 計		火 災		自然災害		水 難		交 通		労働災害	
		出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員
合 計		22,070	20,318	140	14	8	3	50	5	1,285	1,209	155	149
時 間 別	0時～2時	911	820	3	0	0	0	1	0	21	16	3	2
	2時～4時	773	700	6	0	0	0	0	0	25	21	1	1
	4時～6時	821	755	7	0	1	1	2	0	29	25	2	2
	6時～8時	1,452	1,333	17	5	2	0	4	1	113	104	3	3
	8時～10時	2,374	2,246	9	1	2	0	2	1	160	160	19	17
	10時～12時	2,808	2,635	11	3	1	1	2	0	160	153	33	32
	12時～14時	2,671	2,474	27	2	1	1	6	0	149	139	21	21
	14時～16時	2,472	2,274	18	0	0	0	5	1	146	134	39	38
	16時～18時	2,423	2,191	12	0	0	0	12	1	202	184	18	18
	18時～20時	2,189	2,003	10	2	0	0	10	0	133	138	8	8
	20時～22時	1,838	1,674	12	1	0	0	0	0	95	89	4	3
	22時～24時	1,338	1,213	8	0	1	0	6	1	52	46	4	4
収 容 所 要 時 間	区 分	搬送人員	うち管外	搬送人員	うち管外	搬送人員	うち管外	搬送人員	うち管外	搬送人員	うち管外	搬送人員	うち管外
	10分未満	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10分～19分	933	58	0	0	0	0	0	0	41	1	10	1
	20分～29分	8,850	1,305	1	0	1	0	0	0	444	32	62	10
	30分～59分	10,237	2,204	6	0	2	0	5	2	697	104	76	16
	60分～119分	292	167	7	1	0	0	0	0	27	13	1	1
	120分以上	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

故 種 別													
運動競技		一般負傷		加 害		自損行為		急 病		その他			
										転院搬送		その他	
出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員
125	126	3,707	3,498	96	74	207	151	14,518	13,419	1,665	1,662	114	8
0	0	109	100	12	11	13	8	711	646	37	37	1	0
0	0	82	78	5	4	14	11	612	559	25	24	3	2
0	0	103	103	4	3	11	8	640	596	16	16	6	1
0	0	221	214	4	3	11	9	1,059	978	16	16	2	0
12	12	403	391	5	5	13	10	1,591	1,502	147	145	11	2
28	28	535	512	6	6	19	11	1,645	1,540	350	349	18	0
29	29	472	460	9	5	14	11	1,563	1,445	361	361	19	0
28	28	493	455	4	2	20	16	1,492	1,394	204	204	23	2
18	19	461	418	8	6	17	11	1,408	1,282	252	252	15	0
6	6	374	343	5	5	24	20	1,487	1,359	121	121	11	1
3	3	281	260	17	11	26	21	1,324	1,212	73	74	3	0
1	1	173	164	17	13	25	15	986	906	63	63	2	0
搬送人員	うち管外	搬送人員	うち管外	搬送人員	うち管外	搬送人員	うち管外	搬送人員	うち管外	搬送人員	うち管外	搬送人員	うち管外
0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
8	0	130	3	2	1	2	0	536	33	204	19	0	0
64	6	1,540	160	31	0	47	10	5,807	762	850	324	3	1
54	5	1,797	317	38	2	98	11	6,903	1,466	556	280	5	1
0	0	31	4	3	1	4	0	169	97	50	50	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	2	2	0	0

6 4 年齢別・傷病程度別・応急処置別救急活動状況

区 分		合 計	救 急				
			火 災	自然災害	水 難	交 通	
合 計		20,318	14	3	5	1,209	
年 齢 別	男 性	小 計	10,261	8	2	4	782
		0才～4才	526	1			10
		5才～9才	229				33
		10才～19才	492			1	120
		20才～29才	584	1		1	126
		30才～39才	514		1		85
		40才～49才	809	2			98
		50才～59才	1,110	1		1	100
		60才以上	5,997	3	1	1	210
	女 性	小 計	10,057	6	1	1	427
		0才～4才	367				6
		5才～9才	106				14
		10才～19才	328				45
		20才～29才	552				51
		30才～39才	555				34
		40才～49才	652	1			71
		50才～59才	783	1		1	72
		60才以上	6,714	4	1		134
傷 病 程 度	合 計	20,318	14	3	5	1,209	
	死 亡	329			2	10	
	重 症	1,274				44	
	中等症	12,468	6	2	3	550	
	軽 症	6,246	8	1		605	
	その他	1					
応 急 処 置 別	合 計	80,979	52	13	29	5,106	
	止 血	301		1		28	
	固 定	1,813		2	2	608	
	人工呼吸	99				1	
	酸素吸入	3,530	1		4	60	
	保 温	144	1		2	11	
	被 覆	1,162	1	1		233	
	ショックパンツ	0					
	除細動	44					
	静脈路確保	249			1	1	
	血圧測定	19,232	13	3	3	1,181	
	心音・呼吸音	6,009	7		3	416	
	血中酸素飽和度	19,924	14	3	3	1,198	
	心肺蘇生	361			1	7	
	気道確保	610			2	12	
	経鼻エアウェイ	51					
	喉頭異物除去	9					
	ラリングアルマスク等	266			1	4	
	気管挿管	24					
	薬剤投与	239			1		
	在宅療法継続	164					
	心電図	6,761	1		3	151	
	心電図電送	0					
その他	19,987	14	3	3	1,195		

事 故 種 別							
労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他	
						転 院	その他
149	126	3,498	74	151	13,419	1,662	8
123	104	1,631	40	42	6,642	882	1
		125	1		283	105	1
	2	81	1		97	15	
5	63	74	8	6	200	15	
20	16	49	8	11	339	13	
21	9	58		2	316	22	
21	4	100	8	8	511	57	
24	6	132	10	9	749	78	
32	4	1,012	4	6	4,147	577	
26	22	1,867	34	109	6,777	780	7
		70			209	80	2
	1	28			58	5	
2	10	24		17	225	5	
3	1	28	4	28	415	22	
	1	38	7	17	383	73	2
5	3	46	3	25	463	34	1
10	2	89	8	6	554	40	
6	4	1,544	12	16	4,470	521	2
149	126	3,498	74	151	13,419	1,662	8
1		11		19	282	4	
8		53	3	13	862	291	
83	60	1,887	31	91	8,496	1,255	4
57	66	1,547	40	28	3,778	112	4
					1		
640	454	13,395	277	708	54,149	6,135	21
24		172	8	9	58	1	
40	49	887	13	31	170	11	
		1		1	90	6	
7	3	161	1	35	2,767	491	
2		16		7	98	6	1
54	5	768	14	18	68		
2				1	40	1	
2		11		13	221		
147	125	3,322	73	130	12,735	1,495	5
35	14	627	16	41	4,472	377	1
147	126	3,469	74	131	13,117	1,635	7
3		13		20	313	4	
3		22		25	529	17	
1		1		5	43	1	
		2			7		
2		7		12	238	2	
		4			19	1	
2		9		13	212	2	
		11			149	4	
21	6	418	4	82	5,602	472	1
148	126	3,474	74	134	13,201	1,609	6

6 5 月別救急事故種別一覽表

区 分		合 計	救 急			
			火 災	自然災害	水 難	交 通
合 計	出動件数	22,070	140	8	50	1,285
	搬送件数	20,233	14	3	5	1,151
	搬送人員	20,318	14	3	5	1,209
1 月	出動件数	1,870	21	1	2	106
	搬送件数	1,713	1	1	0	98
	搬送人員	1,723	1	1	0	104
2 月	出動件数	1,508	7	0	0	81
	搬送件数	1,391	0	0	0	74
	搬送人員	1,399	0	0	0	81
3 月	出動件数	1,720	17	0	0	100
	搬送件数	1,581	1	0	0	90
	搬送人員	1,587	1	0	0	93
4 月	出動件数	1,738	14	0	4	112
	搬送件数	1,597	4	0	0	104
	搬送人員	1,602	4	0	0	106
5 月	出動件数	1,745	8	0	6	105
	搬送件数	1,617	1	0	1	89
	搬送人員	1,621	1	0	1	92
6 月	出動件数	1,792	14	0	9	105
	搬送件数	1,657	0	0	2	90
	搬送人員	1,662	0	0	2	94
7 月	出動件数	2,113	16	2	6	108
	搬送件数	1,941	1	0	0	102
	搬送人員	1,949	1	0	0	108
8 月	出動件数	2,113	17	2	6	99
	搬送件数	1,903	3	0	0	91
	搬送人員	1,913	3	0	0	95
9 月	出動件数	1,736	5	0	13	99
	搬送件数	1,594	0	0	2	86
	搬送人員	1,601	0	0	2	90
10 月	出動件数	1,828	5	2	0	128
	搬送件数	1,680	1	1	0	114
	搬送人員	1,691	1	1	0	123
11 月	出動件数	1,868	4	0	0	122
	搬送件数	1,699	0	0	0	109
	搬送人員	1,703	0	0	0	113
12 月	出動件数	2,039	12	1	4	120
	搬送件数	1,860	2	1	0	104
	搬送人員	1,867	2	1	0	110

事 故 種 別							
労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他	
						転院	その他
155	125	3,707	96	207	14,518	1,665	114
149	125	3,492	73	151	13,402	1,661	7
149	126	3,498	74	151	13,419	1,662	8
12	5	319	10	14	1,250	122	8
11	5	304	6	10	1,154	122	1
11	5	306	6	10	1,155	122	2
8	6	264	7	17	988	124	6
8	6	244	7	13	915	124	0
8	6	244	7	13	915	125	0
8	8	289	15	21	1,113	138	11
8	8	270	13	14	1,039	137	1
8	8	270	13	14	1,042	137	1
15	9	305	7	18	1,111	133	10
13	9	286	4	14	1,029	132	2
13	10	286	4	14	1,031	132	2
8	19	277	8	15	1,135	153	11
8	19	263	7	13	1,063	153	0
8	19	263	7	13	1,064	153	0
21	8	282	6	15	1,173	147	12
21	8	273	5	12	1,100	146	0
21	8	273	5	12	1,101	146	0
9	16	341	9	21	1,393	180	12
9	16	319	8	15	1,290	180	1
9	16	319	8	15	1,292	180	1
15	12	290	5	21	1,499	137	10
14	12	270	3	12	1,360	137	1
14	12	273	3	12	1,363	137	1
16	4	269	7	22	1,183	112	6
15	4	257	5	16	1,096	112	1
15	4	258	5	16	1,098	112	1
12	13	339	7	18	1,146	151	7
12	13	322	5	12	1,049	151	0
12	13	322	6	12	1,050	151	0
12	13	361	5	16	1,209	117	9
11	13	338	4	12	1,095	117	0
11	13	338	4	12	1,095	117	0
19	12	371	10	9	1,318	151	12
19	12	346	6	8	1,212	150	0
19	12	346	6	8	1,213	150	0

6 6 過去5年間の救急業務

区 分		2021年 (令和3年)		2020年 (令和2年)		2019年 (令和元年)		2018年 (平成30年)		2017年 (平成29年)	
		出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員
合 計		22,070	20,318	21,269	19,710	23,573	21,856	23,757	22,091	22,379	20,972
救 急 事 故 種 別	火 災	140	14	181	20	184	13	148	14	122	9
	自然災害	8	3	3	1	4	4	2	2	2	2
	水 難	50	5	32	9	34	12	75	24	49	11
	交 通	1,285	1,209	1,305	1,240	1,517	1,488	1,570	1,529	1,671	1,654
	労働災害	155	149	145	142	158	151	162	159	165	161
	運動競技	125	126	90	89	168	167	199	202	176	178
	一般負傷	3,707	3,498	3,767	3,596	3,951	3,772	3,915	3,756	3,711	3,542
	加 害	96	74	93	77	114	97	121	90	113	103
	自損行為	207	151	195	156	174	136	171	119	182	128
	急 病	14,518	13,419	13,789	12,809	15,403	14,298	15,403	14,389	14,317	13,444
	その他	転 院	1,665	1,662	1,566	1,563	1,717	1,711	1,799	1,793	1,735
医師搬送		30	0	22	0	45	0	61	0	65	0
資材搬送		6	0	2	0	3	0	5	0	4	0
その他		78	8	79	8	101	7	126	14	67	4
局	小 計	1,929	1,700	1,764	1,584	1,972	1,730	2,081	1,811	2,053	1,836
	本町救急隊	1,929	1,700	1,764	1,584	1,972	1,730	2,081	1,811	2,053	1,836
南 消 防 署	小 計	10,329	9,454	10,047	9,312	11,218	10,336	11,345	10,458	10,781	10,037
	南藤沢救急隊 1	2,483	2,198	2,380	2,149	2,682	2,450	2,702	2,458	2,591	2,392
	南藤沢救急隊 2	1,313	1,165	1,194	1,095	1,388	1,275	1,476	1,344	1,335	1,264
	辻堂救急隊	1,457	1,351	1,475	1,400	1,726	1,624	1,628	1,524	1,521	1,430
	荏田救急隊	1,663	1,558	1,723	1,617	2,006	1,858	2,035	1,928	1,957	1,842
	村岡救急隊	1,522	1,418	1,450	1,341	1,620	1,503	1,658	1,527	1,615	1,502
	明治救急隊	1,868	1,764	1,804	1,710	1,747	1,626	1,805	1,677	1,733	1,607
	江の島救急車	23	0	21	0	49	0	41	0	29	0
北 消 防 署	小 計	9,812	9,164	9,458	8,814	10,383	9,790	10,331	9,822	9,545	9,099
	北藤沢救急隊	1,827	1,704	1,871	1,729	2,395	2,251	2,368	2,262	2,338	2,219
	長後救急隊	1,193	1,099	1,299	1,199	1,646	1,543	1,604	1,514	1,528	1,461
	御所見救急隊	855	796	849	798	987	927	994	939	967	921
	西部救急隊	1,630	1,558	1,567	1,485	1,830	1,741	1,813	1,735	1,801	1,744
	善行救急隊	1,535	1,436	1,528	1,426	1,907	1,809	1,944	1,839	1,831	1,717
	遠藤救急隊	1,377	1,292	1,341	1,254	1,618	1,519	1,608	1,533	1,080	1,037
六会救急隊	1,395	1,279	1,003	923	未 設						

67 医師同乗出動

区分	2021年 (令和3年)		2020年 (令和2年)		2019年 (令和元年)		2018年 (平成30年)		2017年 (平成29年)		平成25年9月 からの累計		
	成人	小児	成人	小児	成人	小児	成人	小児	成人	小児	成人	小児	
出動件数	29		22		45		59		60		626		
	0	29	3	19	16	29	19	40	23	37	188	438	
医師接触人員	28		21		44		59		59		615		
	0	28	3	18	16	28	19	40	22	37	185	430	
程 度 別	死亡	0	0	2	0	6	1	3	1	3	0	36	3
	重症	0	3	0	4	4	1	8	5	6	4	64	36
	中等症	0	14	1	11	5	15	8	20	11	14	68	215
	軽症	0	11	0	3	1	11	0	14	2	19	17	176

68 ドクターヘリ

ドクターヘリの搬送状況（件数＝人数）

番号	搬送場所	2021年 (令和3年)	2020年 (令和2年)	2019年 (令和元年)	2018年 (平成30年)	2017年 (平成29年)	～2016年 (平成28年)	計	
1	T 5 藤沢八部野球場	0	0	0	0	0	4	4	
2	T 6 県立体育センターサブグラウンド	平成28年8月1日から休止中						3	3
3	T40 大清水中学校	0	0	0	0	0	0	0	
4	T41 江の島湘南港	0	0	0	0	0	5	5	
5	T81 鶴南小学校	0	0	0	0	0	0	0	
6	T82 村岡中学校	0	0	0	0	0	5	5	
7	T83 片瀬中学校	0	0	0	0	0	2	2	
8	T84 高砂小学校	0	0	0	0	0	0	0	
9	T85 羽鳥小学校	0	0	0	0	0	2	2	
10	T86 大庭中学校	0	0	0	0	0	1	1	
11	T87 秋葉台中学校	0	0	0	0	0	1	1	
12	T88 亀井野小学校	0	0	0	0	0	3	3	
13	T89 湘南台小学校	0	0	0	0	0	4	4	
14	T90 長後中学校	0	0	0	0	0	5	5	
15	T91 御所見中学校	0	0	0	0	0	18	18	
16	T238 藤沢市消防防災訓練センター	0	0	0	0	0	4	4	
(廃止)	荏原製作所グラウンド	平成17年2月1日廃止						12	12
(廃止)	大清水スポーツ広場サッカー場	平成26年3月31日廃止						15	15
合計		0	0	0	0	0	84	84	
	うち直送	0	0	0	0	0	62	62	
	うち転院搬送	0	0	0	0	0	22	22	

69 救急業務の推移

		出動件数	一日平均 出動件数	一万人当り の出動件数	出動件数増加率 (昭和29年を1とする)	隊数	人 口 (12月末日)
1954年	昭和29年	191	0.5	20.2	1.0	1	94,481
1955年	昭和30年	414	1.1	37.9	2.2	1	109,101
1956年	昭和31年	434	1.2	38.7	2.3	1	112,095
1957年	昭和32年	459	1.3	39.9	2.4	1	115,054
1958年	昭和33年	373	1.0	31.8	2.0	1	117,375
1959年	昭和34年	591	1.6	48.8	3.1	1	120,990
1960年	昭和35年	526	1.4	41.8	2.8	1	125,968
1961年	昭和36年	773	2.1	58.5	4.0	1	132,027
1962年	昭和37年	780	2.1	55.7	4.1	1	140,138
1963年	昭和38年	1,176	3.2	79.2	6.2	1	148,524
1964年	昭和39年	1,225	3.3	74.6	6.4	1	164,117
1965年	昭和40年	1,424	3.9	78.7	7.5	1	181,027
1966年	昭和41年	1,846	5.1	96.0	9.7	1	192,326
1967年	昭和42年	2,119	5.8	105.4	11.1	2	201,135
1968年	昭和43年	2,285	6.2	108.0	12.0	2	211,557
1969年	昭和44年	2,836	7.8	127.7	14.8	2	222,018
1970年	昭和45年	3,233	8.9	139.9	16.9	2	231,022
1971年	昭和46年	3,279	9.0	136.6	17.2	2	240,026
1972年	昭和47年	3,913	10.7	158.8	20.5	3	246,447
1973年	昭和48年	4,656	12.8	183.6	24.4	3	253,586
1974年	昭和49年	5,186	14.2	199.2	27.2	3	260,299
1975年	昭和50年	5,496	15.1	205.6	28.8	3	267,308
1976年	昭和51年	5,521	15.1	202.3	28.9	4	272,886
1977年	昭和52年	6,156	16.9	219.3	32.2	4	280,728
1978年	昭和53年	6,247	17.1	216.6	32.7	4	288,361
1979年	昭和54年	6,666	18.3	225.8	34.9	4	295,227
1980年	昭和55年	7,283	19.9	241.2	38.1	4	301,948
1981年	昭和56年	7,032	19.3	228.2	36.8	5	308,157
1982年	昭和57年	7,712	21.1	245.9	40.4	6	313,633
1983年	昭和58年	8,073	22.1	253.4	42.3	6	318,587
1984年	昭和59年	8,362	22.8	258.5	43.8	6	323,440
1985年	昭和60年	8,973	24.6	272.5	47.0	7	329,297
1986年	昭和61年	9,070	24.8	270.9	47.5	7	334,752
1987年	昭和62年	9,015	24.7	266.5	47.2	8	338,331
1988年	昭和63年	9,244	25.3	269.7	48.4	8	342,753

		出動件数	一日平均 出動件数	一万人当り の出動件数	出動件数増加率 (昭和29年を1とする)	隊数	人 口 (12月末日)
1989年	平成元年	9,432	25.8	271.4	49.4	8	347,486
1990年	平成2年	9,798	26.8	279.2	51.3	8	350,975
1991年	平成3年	10,210	28.0	287.0	53.5	8	355,741
1992年	平成4年	10,282	28.1	285.8	53.8	8	359,784
1993年	平成5年	10,319	28.3	284.5	54.0	8	362,661
1994年	平成6年	11,019	30.2	300.7	57.7	8	366,441
1995年	平成7年	11,888	32.6	321.8	62.2	8	369,441
1996年	平成8年	12,151	33.2	327.6	63.6	8	370,895
1997年	平成9年	12,624	34.6	337.6	66.1	8	373,950
1998年	平成10年	13,546	37.1	359.8	70.9	8	376,515
1999年	平成11年	13,910	38.1	368.2	72.8	9	377,822
2000年	平成12年	15,050	41.1	396.7	78.8	9	379,361
2001年	平成13年	15,904	43.6	414.2	83.3	9	383,966
2002年	平成14年	16,512	45.2	425.3	86.5	9	388,280
2003年	平成15年	17,677	48.4	451.7	92.5	10	391,342
2004年	平成16年	18,307	50.0	465.1	95.8	10	393,602
2005年	平成17年	19,400	53.2	489.3	101.6	10	396,520
2006年	平成18年	18,952	51.9	474.9	99.2	11	399,098
2007年	平成19年	18,771	51.4	466.2	98.3	12	402,628
2008年	平成20年	17,908	48.9	441.4	93.8	12	405,705
2009年	平成21年	18,015	49.4	441.8	94.3	12	407,766
2010年	平成22年	19,924	54.6	485.4	104.3	12	410,504
2011年	平成23年	20,429	56.0	492.8	107.0	12	414,530
2012年	平成24年	21,156	57.8	507.5	110.8	12	416,832
2013年	平成25年	21,645	59.3	517.5	113.3	12	418,267
2014年	平成26年	22,114	60.6	526.1	115.8	12	420,343
2015年	平成27年	21,973	60.2	517.3	115.0	12	424,742
2016年	平成28年	22,502	61.5	526.7	117.8	12	427,199
2017年	平成29年	22,379	61.3	521.4	117.2	13	429,249
2018年	平成30年	23,757	65.1	549.8	124.4	13	432,095
2019年	令和元年	23,573	64.6	542.2	123.4	13	434,769
2020年	令和2年	21,269	58.1	485.6	111.4	14	437,998
2021年	令和3年	22,070	60.5	499.7	115.5	14	441,708

9 通信指令



業務概要

通信指令室は、119番通報を受信し各部隊へ迅速な出場指令を行っています。また部隊からの現場情報により災害状況の的確な把握に努めており、複雑多様化し増加傾向にあるさまざまな災害に対処しています。

70 指令システム

119番通報の受信から出場まで



通報受付

119番通報の受付と同時にコンピュータによる処理が開始されます。



災害種別決定

通報者からの聞き取りにより、災害種別（火災・救急・救助など）を決定します。



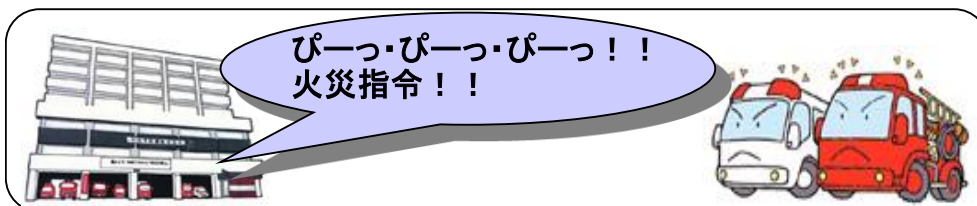
出場隊編成

災害地点、災害種別が決定されると災害地点に最適な部隊が自動的に編成されます。

出場指令！！

出場指令

車両が配置されている消防署所に自動的に出場指令を流すと同時に、車両に積載した車両動態管理装置（AVM）に災害地点の地図と指令内容を表示します。



回線・CH（チャンネル）一覧表

2022. 4. 1現在

種 別	回線数	備 考
119番デジタル回線	10	INS64 固定電話（IP電話等含む） 携帯電話 聴覚障がい者等用FAX119他
指令回線	16	南・北署各出張所、分遣所、救急WS
無線CH	8	南活動波 市共通活動波 北活動波 救急活動波 主運用波6 統制波1・2・3
市民案内 (火災等災害情報自動案内)	10	25-0119 市民からの火災等の問い合わせに音声合成 にて情報提供をするもの

7 1 無線設備

藤沢市防災センター通信指令室の無線統制台からの制御により、基地局（藤沢市役所本庁舎及び北消防署御所見出張所、北消防署六会出張所）に設置された無線装置を經由して、車両等との無線通信を行い良好な通信網を形成しています。

2022. 4. 1現在

種別	合計局数	市役所本庁舎	御所見出張所	六会出張所
基地局	3	1	1	1

種別			合計局数	局	南署	北署	
陸上移動局	車載無線機	消防系	5 W	70	13	32	25
		救急系	5 W	19	1	9	9
	可搬無線機		5 W	30	5	14	11
	携帯無線機		2 W	86	10	42	34
	防災相互波用		1 W	31	2	15	14
	署活無線機		1 W	161	42	61	58
	消防団	車載無線機	5 W	33	33	0	0
		可搬無線機	5 W	4	4	0	0
		携帯無線機	2 W	166	166	0	0

7 2 各種装置

(1) 情報受信機器

ア 神奈川県防災行政通信網

国・県・市の防災関係機関を相互に結ぶ手段で、電話やFAX等による気象情報や災害情報、地震情報等の通信を行います。

イ 気象情報システム (MICOS W i t)

(財) 日本気象協会からの防災気象情報等を受信します。

ウ Em-Net

行政専用回線である総合行政ネットワーク「LGWAN」を利用した、国（総理大臣官邸）と地方公共団体間で緊急情報を双方向通信するためのシステムです。強制的にメッセージが着信すると同時にアラーム音が鳴り、注意喚起を促す仕組みとなっています。

エ LINE WORKS (ラインワークス)

神奈川県内広域応援実施計画において、県内で大規模な災害が発生した場合に、いち早く災害発生に気づき、リアルタイムで情報共有を図るため、県及び県内各消防本部（局）にタブレット端末を配備し「LINE WORKS」というアプリケーションを活用して、情報共有を図っています。

(2) 計測装置

ア 地震観測収集システム

藤沢市役所と市内4か所の市民センターに設置された計測震度計で感知した震度を、通信指令室内の専用端末に表示します。

イ 気象観測装置

藤沢市防災センターと北消防署長後出張所に設置され、気象状況を常時観測し表示記録します。

(3) 消防統計処理端末

消防OAシステム (N e f o a p)

専用アプリケーションパッケージにより、消防業務のデータを統計処理し効率的に管理します。

(4) 高所監視カメラ

ア 南・北高所監視カメラ (N T T 東日本藤沢支店鉄塔)

イ 江の島灯台カメラ・周辺監視カメラ

ウ 北部防災カメラ (日本大学生物資源科学部屋上)

南・北高所監視カメラは、119番通報時に通信員の操作により災害点方向に連動して映像を映し出すことができ、災害状況を把握します。

(5) 車両動態管理装置 (A V M)

(A u t o m a t i c V e h i c l e M o n i t o r i n g S y s t e m)

車両の出動、現着、作業開始から終了、帰署等の動態を管理するとともに、GPS機能により常時車両現在地を把握し、災害発生時には現場直近の車両で部隊を編成します。

基地局と車両間のデータ通信はN T T ドコモの packets 通信により行っており、無線通信との輻輳を防いでいます。

(6) Eメール指令装置

自動出動指定装置と連携して、あらかじめ登録された連絡先に指令情報をメール送信又は音声合成により電話伝達するシステムです。消防団への出動指令はこのシステムにより行っています。

(7) N e t 1 1 9 緊急通報システム、メール119及びF A X 1 1 9

聴覚や発語の障がい等により、音声通話が困難な方が、携帯電話やスマートフォンからインターネットやEメール又はF A Xなどを利用して、火災や救急などの緊急通報を行うことができるシステムです。

(8) 多言語通訳サービス

119番通報時には、通報者・指令員・通訳オペレーターの三者通話が可能であり、災害現場では携帯電話を使用して、オペレーターに通訳してもらうことができます。

統 計

73 119番受信状況

(1) 119番着信件数

	令和3年	令和2年	令和元年	平成30年	平成29年
件数	28,878	28,232	31,095	30,606	28,858
前年比	102.3%	90.8%	101.6%	106.1%	98.3%

(2) 119番着信内訳

2021.1.1~2021.12.31

	119番合計	固定電話	携帯電話
火災	171	54	117
救急	21,652	10,846	10,806
救助	41	11	30
その他	504	177	327
誤通報	1,235	342	893
問合せ	1,693	564	1,129
火災案内	0	0	0
病院案内	28	6	22
収容先案内	2	1	1
無言・無応答	1,344	158	1,186
いたずら	60	28	32
テスト	1,258	1,080	178
他市へ転送	890	28	862
合計	28,878	13,295	15,583

無言・無応答は、呼び返しを行っても何も応答がないものです。

いたずらは、いたずらと確認できたものです。

テストは、事業所などの避難訓練時の通報訓練や、回線試験です。

(3) 携帯電話119番通報 他都市への転送件数

2021.1.1~2021.12.31

	合計	横浜	鎌倉	大和	茅ヶ崎・寒川	海老名・座間・綾瀬	その他
他市への転送	862	275	222	41	130	135	59

※茅ヶ崎・寒川及び海老名・座間・綾瀬は共同指令センター

7 4 自動案内サービス（音声合成）

	令和3年	令和2年	令和元年	平成30年	平成29年
火災情報案内件数	16,459	16,729	17,661	15,540	14,496

7 5 災害出場指令状況

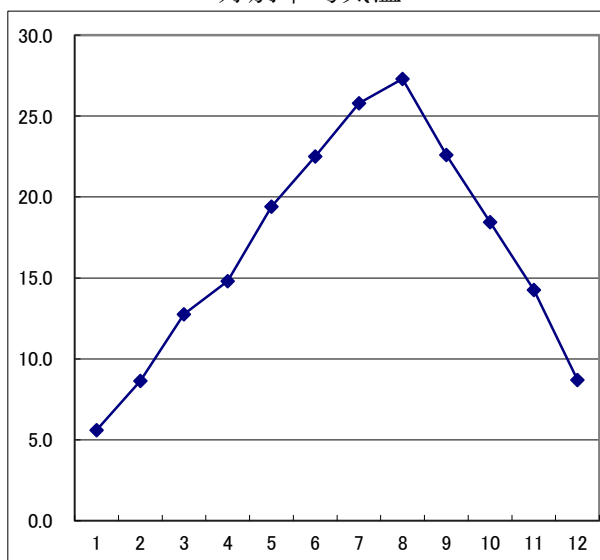
		令和3年	令和2年	令和元年	平成30年	平成29年
火災出場指令		140	152	169	146	126
内 訳	火 災	87	101	108	86	83
	火災として取り扱わず	15	19	24	27	21
	誤 報	28	26	21	21	13
	虚 報	0	2	3	1	0
	応 援	10	4	13	11	9
救急出場指令		22,070	21,269	23,573	23,757	22,379
救急支援出場指令		2,242	2,355	2,721	2,948	2,670
救助出場指令		66	45	51	81	65
偵察・調査・警戒出場指令		644	643	798	629	606
内 訳	風水害	116	15	246	132	68
	警報機の鳴動	241	285	210	177	178
	怪煙	71	68	45	62	29
	ガス異臭	33	9	3	1	11
	危険物漏洩	34	31	27	43	34
	上記以外のもの	149	235	267	214	286

7 6 気象

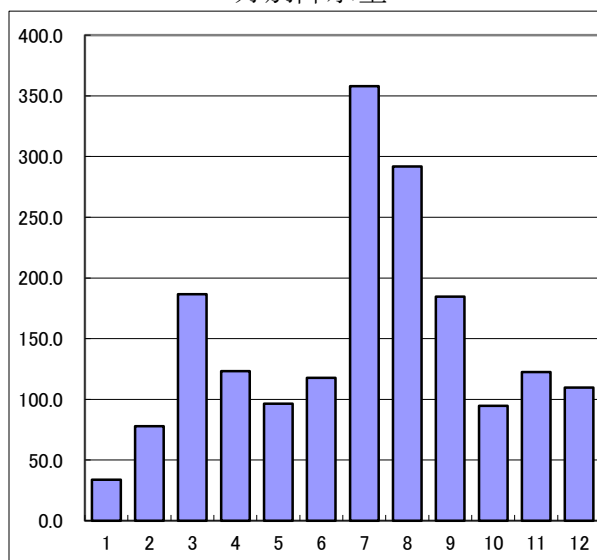
2021. 1. 1～2021. 12. 31

	主たる 風向	風速(m/s)		気温(℃)			湿度(%)		降水量 (mm)
		平均	最大瞬間	平均	最高	最低	平均	最低	
1月	北北東	2.1	24.4	5.6	18.0	-4.2	64.3	19.4	33.8
2月	北北東	2.6	24.6	8.7	21.0	-1.9	56.9	17.2	78.0
3月	北北東	2.8	22.7	12.8	23.4	3.2	71.6	24.3	186.5
4月	北北東	2.8	21.1	14.8	24.0	6.9	69.0	12.1	123.3
5月	南西	2.9	23.7	19.4	28.7	10.0	79.5	26.7	96.5
6月	南西	2.0	19.3	22.5	31.3	16.2	84.9	34.8	117.8
7月	南西	1.8	14.1	25.8	33.8	20.0	89.8	46.8	358.0
8月	南西	2.6	25.1	27.3	35.5	18.8	88.1	51.5	291.8
9月	北北東	2.4	16.5	22.6	31.8	17.3	86.2	36.6	184.5
10月	北北東	2.5	21.5	18.5	29.0	8.7	81.8	36.1	94.8
11月	北北東	2.0	17.2	14.3	23.8	3.3	70.3	29.9	122.5
12月	北北東	2.1	21.3	8.7	20.3	-1.9	66.3	20.3	109.8
平均	北北東	2.4		16.7			75.7		149.8

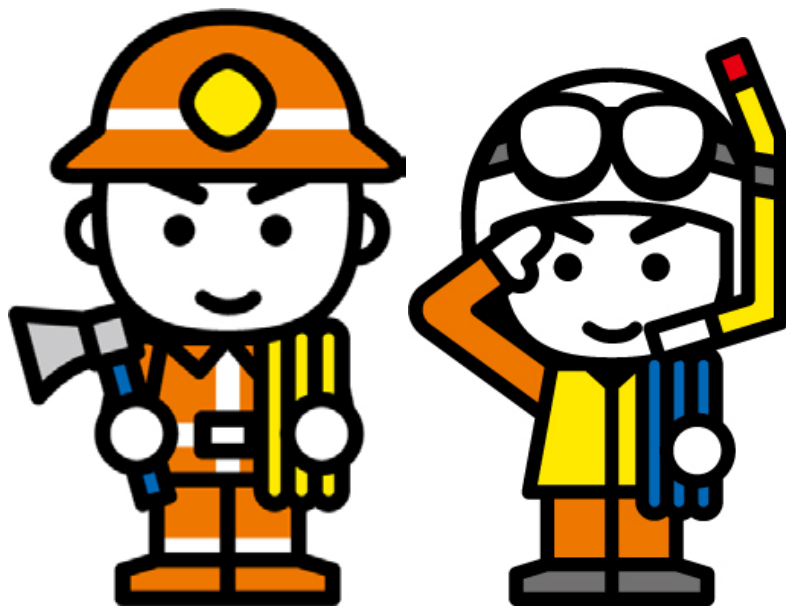
月別平均気温



月別降水量



10 救助



統 計

77 救助活動状況

2021. 1. 1～2021. 12. 31

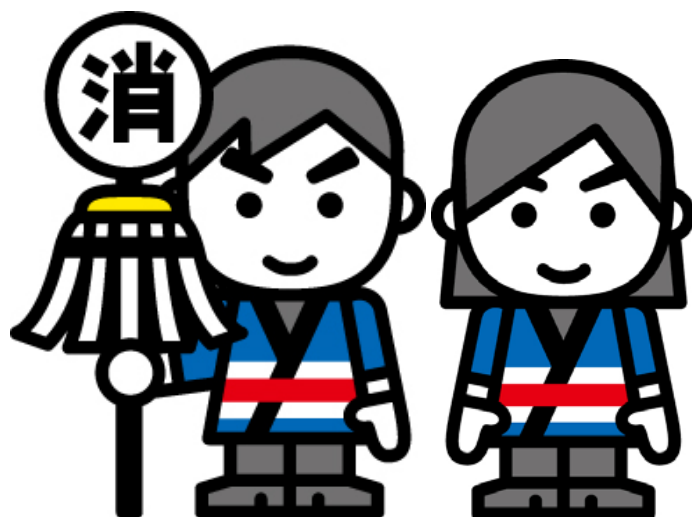
区 分	合 計	火 災		交通事 故	水難事 故	風水害・自然災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故		
		建 物	建 物 以 外										
救助出動件数	68	2	0	17	13	3	2	0	2	0	29		
救助活動件数	42	2	0	10	8	1	2	0	2	0	17		
救助出動延人員	2,037	98	0	535	377	86	58	0	60	0	823		
救助人員	41	4	0	15	7	2	2	0	1	0	10		
救助出動隊・出動人員	救助隊	隊数	78	2	0	19	17	4	2	0	3	0	31
		延人員	428	11	0	104	91	23	13	0	16	0	170
	消防隊	隊数	149	12	0	36	28	6	4	0	4	0	59
		延人員	638	53	0	156	117	26	17	0	16	0	253
	救急隊	隊数	149	6	0	46	26	6	4	0	4	0	57
		延人員	447	18	0	138	78	18	12	0	12	0	171
	指揮隊	隊数	67	2	0	17	13	3	2	0	2	0	28
		延人員	210	6	0	52	42	9	6	0	6	0	89
	高度救助隊	隊数	63	2	0	17	10	2	2	0	2	0	28
		延人員	314	10	0	85	49	10	10	0	10	0	140
救助活動隊・活動人員・救助人員	救助隊	隊数	29	1	0	6	7	1	2	0	1	0	11
		人員	163	6	0	33	36	6	13	0	6	0	63
		人員	17	1	0	7	2	1	2	0	0	0	4
	消防隊	隊数	55	1	0	10	13	1	2	0	3	0	25
		人員	227	4	0	43	54	4	8	0	12	0	102
		人員	11	0	0	4	2	1	0	0	0	0	4
	救急隊	隊数	43	1	0	19	10	0	1	0	1	0	11
		人員	129	3	0	57	30	0	3	0	3	0	33
		人員	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1
	指揮隊	隊数	12	0	0	1	5	0	0	0	0	0	6
		人員	42	0	0	3	17	0	0	0	0	0	22
		人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高度救助隊	隊数	21	2	0	4	5	0	1	0	1	0	8
		人員	105	10	0	20	25	0	5	0	5	0	40
		人員	10	3	0	2	3	0	0	0	1	0	1
事故発生場所	屋内	専用住宅	5	1	0	0	0	0	0	2	0	2	
		その他の建物	5	1	0	0	0	0	1	0	0	3	
	屋外	道路	17	0	0	13	0	3	0	0	0	1	
		川・海等	18	0	0	0	10	0	0	0	0	8	
		その他の屋外	23	0	0	4	3	0	1	0	0	15	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

7 8 月別救助活動状況

2021. 1. 1～2021. 12. 31

区 分	合 計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 ・ 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故
		建 物	建 物 以 外								
救 助 出 動 件 数	68	2	0	17	13	3	2	0	2	0	29
救 助 活 動 件 数	42	2	0	10	8	1	2	0	2	0	17
救 助 人 員	41	4	0	15	7	2	2	0	1	0	10
1 月	救 助 出 動 件 数	3	1	0	1	1	0	0	0	0	0
	救 助 活 動 件 数	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	救 助 人 員	6	3	0	3	0	0	0	0	0	0
2 月	救 助 出 動 件 数	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0
	救 助 活 動 件 数	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0
	救 助 人 員	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0
3 月	救 助 出 動 件 数	6	1	0	1	0	0	0	0	1	0
	救 助 活 動 件 数	3	1	0	0	0	0	0	0	1	0
	救 助 人 員	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
4 月	救 助 出 動 件 数	5	0	0	1	0	0	1	0	0	0
	救 助 活 動 件 数	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	救 助 人 員	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
5 月	救 助 出 動 件 数	5	0	0	2	2	0	0	0	0	0
	救 助 活 動 件 数	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	救 助 人 員	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
6 月	救 助 出 動 件 数	9	0	0	1	4	0	0	0	0	0
	救 助 活 動 件 数	7	0	0	1	4	0	0	0	0	0
	救 助 人 員	5	0	0	1	3	0	0	0	0	0
7 月	救 助 出 動 件 数	8	0	0	2	1	1	0	0	0	0
	救 助 活 動 件 数	6	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	救 助 人 員	4	0	0	2	0	0	0	0	0	0
8 月	救 助 出 動 件 数	9	0	0	1	1	1	0	0	0	0
	救 助 活 動 件 数	5	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	救 助 人 員	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0
9 月	救 助 出 動 件 数	10	0	0	3	3	0	1	0	0	0
	救 助 活 動 件 数	7	0	0	2	2	0	1	0	0	0
	救 助 人 員	10	0	0	5	3	0	1	0	0	0
1 0 月	救 助 出 動 件 数	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	救 助 活 動 件 数	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	救 助 人 員	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
1 1 月	救 助 出 動 件 数	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	救 助 活 動 件 数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	救 助 人 員	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1 2 月	救 助 出 動 件 数	6	0	0	3	1	1	0	0	0	0
	救 助 活 動 件 数	3	0	0	1	0	1	0	0	0	0
	救 助 人 員	4	0	0	1	0	2	0	0	0	0

11 消防団

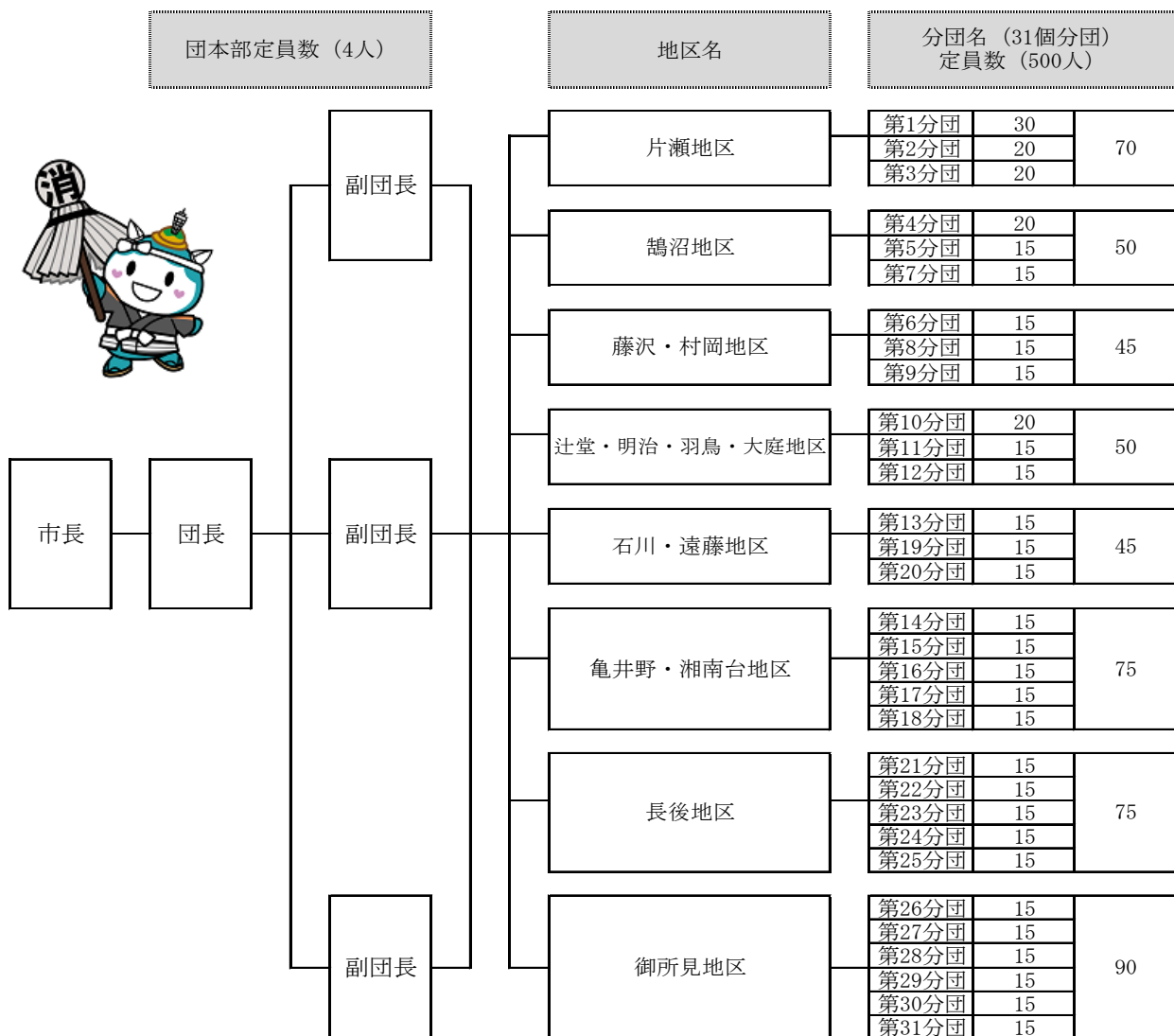


藤沢市消防団の概要

明治41年に鶴沼、明治村を合併して、藤沢町が発足されると同時に藤沢町消防組が組織され、昭和14年の警防団令の公布と同時に消防組と自主的に設置された防護団とを統合して警防団が組織されました。その後、昭和15年に市制が施行され藤沢市警防団と改名、また、昭和22年の消防団令の公布により警防団から消防団になり、現在は、1団、31個分団（可搬ポンプ積載車31台）、定員504人の組織となりました。

消防団は、『自分たちのまちは自分たちで守る』という郷土愛護の精神により、平常時や大規模災害発生時における災害活動に加えて、国民保護法による任務を行うなど、様々な活動に従事しています。

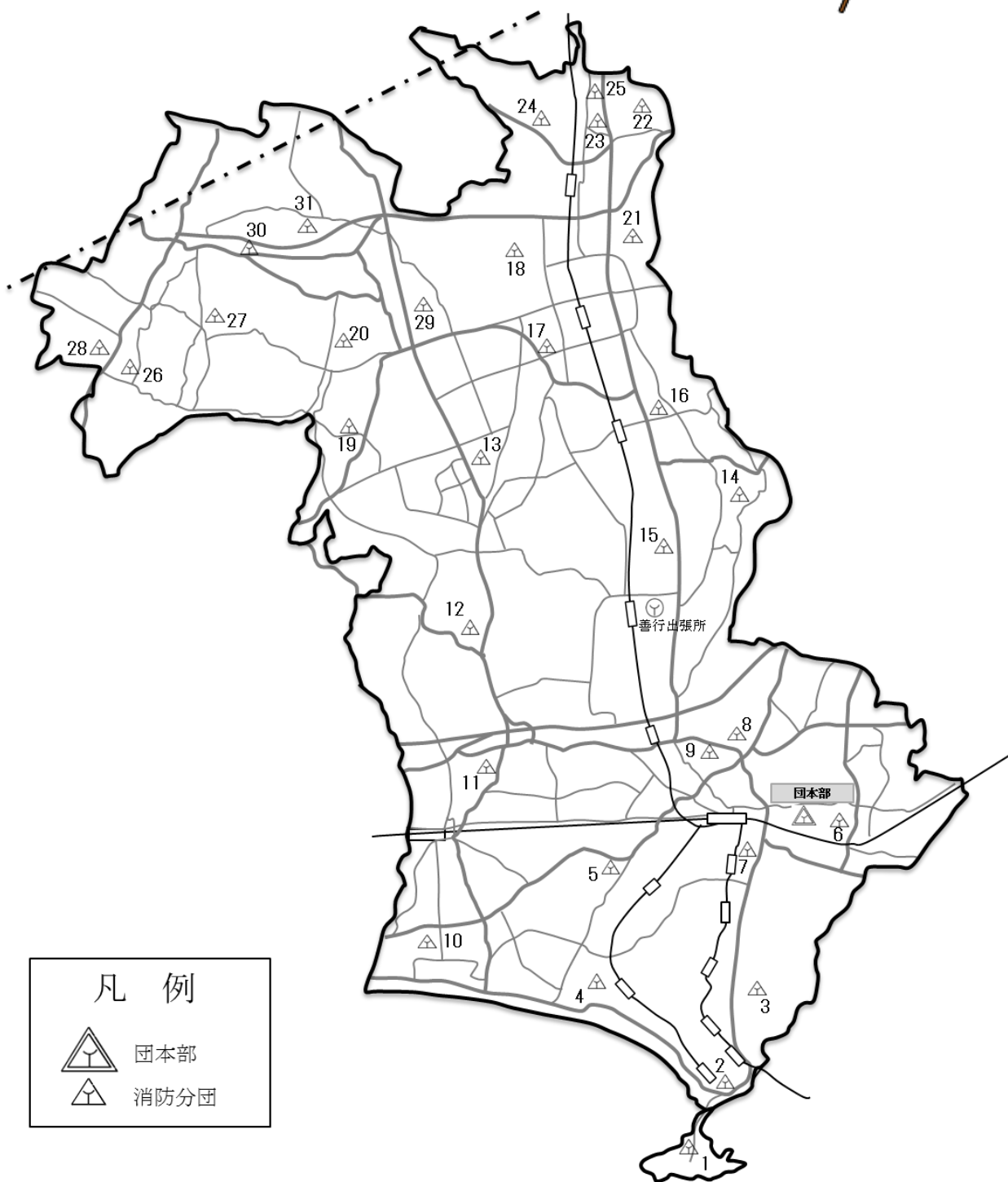
79 藤沢市消防団組織図



【指揮命令系統】



80 藤沢市消防団施設位置図



8 1 施設及び車両

施設名称	住所	施設外観	車両	総重量 (kg)	車両寸法 (cm)		
					長さ (cm)	幅 (cm)	高さ (cm)
第 1 分団器具置場	江の島		小型動力ポンプ積載車	2,760	490	169	226
第 2 分団器具置場	片瀬 (片瀬分遣所)		小型動力ポンプ積載車	3,820	513	170	238
第 3 分団器具置場	片瀬		小型動力ポンプ積載車	3,580	515	171	238
第 4 分団器具置場	鵜沼海岸		小型動力ポンプ積載車	3,900	512	170	238
第 5 分団器具置場	本鵜沼 (荻田出張所)		小型動力ポンプ積載車	3,000	514	169	223
第 6 分団器具置場	弥勒寺		小型動力ポンプ積載車	3,030	489	179	227
第 7 分団器具置場	鵜沼石上		小型動力ポンプ積載車	3,740	519	171	232
第 8 分団器具置場	西富		小型動力ポンプ積載車	2,940	490	169	230
第 9 分団器具置場	本町 (本町出張所)		小型動力ポンプ積載車	2,940	490	169	230
第 1 0 分団器具置場	辻堂西海岸 (辻堂出張所)		小型動力ポンプ積載車	3,880	519	171	232
第 1 1 分団器具置場	羽鳥		小型動力ポンプ積載車	3,180	514	169	220
第 1 2 分団器具置場	大庭		小型動力ポンプ積載車	2,960	530	169	220
第 1 3 分団器具置場	石川		小型動力ポンプ積載車	2,960	530	169	220
第 1 4 分団器具置場	西俣野		小型動力ポンプ積載車	3,710	520	170	238
第 1 5 分団器具置場	亀井野		小型動力ポンプ積載車	3,270	514	169	223
第 1 6 分団器具置場	亀井野		小型動力ポンプ積載車	3,710	520	170	238

施設名称	住所	施設外観	車両	総重量 (kg)	車両寸法 (cm)		
					長さ (cm)	幅 (cm)	高さ (cm)
第17分団器具置場	湘南台		小型動力ボンプ積載車	3,240	514	169	220
第18分団器具置場	下土棚		小型動力ボンプ積載車	2,760	490	169	226
第19分団器具置場	遠藤		小型動力ボンプ積載車	3,000	514	169	223
第20分団器具置場	遠藤		小型動力ボンプ積載車	3,570	515	171	238
第21分団器具置場	高倉		小型動力ボンプ積載車	3,000	514	169	223
第22分団器具置場	高倉		小型動力ボンプ積載車	3,530	519	171	232
第23分団器具置場	長後		小型動力ボンプ積載車	3,900	512	170	238
第24分団器具置場	長後 (長後出張所)		小型動力ボンプ積載車	3,590	515	171	238
第25分団器具置場	長後		小型動力ボンプ積載車	3,000	515	169	221
第26分団器具置場	瀬郷		小型動力ボンプ積載車	3,000	515	169	221
第27分団器具置場	打戻		小型動力ボンプ積載車	3,530	519	171	232
第28分団器具置場	宮原		小型動力ボンプ積載車	3,210	514	169	223
第29分団器具置場	菖蒲沢		小型動力ボンプ積載車	3,630	515	171	238
第30分団器具置場	用田 (御所見出張所)		小型動力ボンプ積載車	3,010	489	179	227
第31分団器具置場	葛原		小型動力ボンプ積載車	3,710	520	170	238

8 2 消防団員産業別状況

2022. 4. 1 現在

	団員数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水道熱供給業	運輸・通信業	飲食・小売業	金融・保険業	不動産業	サービス業	(公務員を含む)	分類不能の産業	その他
合計	445	70	0	3	0	77	40	10	32	47	3	19	56	26	0	62
団本部	4					2	1				1					
第1分団	29			1			2		2	14			8	1		1
第2分団	17					7			2	4			1	1		2
第3分団	20			1		6	1		4	2			2			4
第4分団	18					4	1		2		1		2			8
第5分団	15					8		1				2	1	1		2
第6分団	15	4				1	2		1	1		2	1	2		1
第7分団	15						3		5			3	3			1
第8分団	15					5			4	1			2			3
第9分団	15	1				4		1	1	1			1	1		5
第10分団	18			1		5	2			1		2	4	2		1
第11分団	15					7	2	1		1				2		2
第12分団	15	2					2		2				2	1		6
第13分団	13	1				4	2			1		2	1			2
第14分団	15	12				1								1		1
第15分団	15	10						1					1	1		2
第16分団	15	3				3				2		1	2			4
第17分団	15					2	1			4		4	1	2		1
第18分団	13	2				2		1	1	2			1	2		2
第19分団	14	6				2			2			1	1	1		1
第20分団	13	3					3			2		1	3	1		
第21分団	14	4				2		1	1	2			2	1		1
第22分団	11	1				2	3						2	2		1
第23分団	15					1	2	2	1	5	1		1	1		1
第24分団	15	5				2	1		2				2			3
第25分団	15	3				1	4		1	1			3			2
第26分団	5	3						1				1				
第27分団	15	4					3			1			5	1		1
第28分団	0															
第29分団	15	2				2	4	1	1				3			2
第30分団	5					2				1			1			1
第31分団	11	4				2	1			1				2		1

8 3 消防団員年額報酬

2022.4.1 現在

団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
84,800	70,400	58,700	49,500	43,000	38,400	36,500

8 4 消防団員出動報酬

2022.4.1 現在

区 分	支 給 単 位	金 額 (円)
訓練等に出動した場合	1 時間当たり	1,400
水火災その他の災害に出動した場合		1,700

8 5 過去 5 年間消防団員の入団・退団・定数状況

年 度	定 数	入 団	退 団
2017年	504	27	24
2018年	504	17	32
2019年	504	29	39
2020年	504	26	30
2021年	504	32	41

8 6 消防団員勤続年数状況

2022.4.1 現在

区 分	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
合 計	445	1	3	30	30	36	59	286
1 年 未 満	35							35
1年以上5年未満	68			1	2	2	1	62
5年以上10年未満	99			4	5	6	20	64
10年以上15年未満	89			8	8	10	16	47
15年以上20年未満	67		2	5	7	6	13	34
20年以上25年未満	40			6	2	2	5	25
25年以上30年未満	31			3	3	9	4	12
30年以上35年未満	8		1	1	2	1		3
35 年 以 上	8	1		2	1			4

8 7 消防団員年齢状況

2022.4.1 現在

区 分	合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
合 計	445	1	3	30	30	36	59	286
18歳以上 20歳未満	6							6
20歳以上 25歳未満	16							16
25歳以上 30歳未満	13			1	1	1		10
30歳以上 35歳未満	33			1	1	3	7	21
35歳以上 40歳未満	77			2	4	5	11	55
40歳以上 45歳未満	86			4	9	6	11	56
45歳以上 50歳未満	84			9	1	7	12	55
50歳以上 55歳未満	65		1	5	7	8	13	31
55歳以上 60歳未満	30			2	4		3	21
60歳以上	35	1	2	6	3	6	2	15

8 8 女性・学生等消防団員数

2022.4.1 現在

区分	学生以外	学生	合計
男性	423	13	436
女性	7	2	9
合計	430	15	445



89 消防団の活動状況

2021. 4. 1～2022. 3. 31

区分 月別	災害出動		訓練・点検		その他		合計	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
4月	3	15	60	313	80	125	143	453
5月	5	25	92	405	33	37	130	467
6月	12	76	64	315	6	17	82	408
7月	9	49	63	309	17	73	89	431
8月	5	30	60	303	13	55	78	388
9月	1	4	59	309	17	40	77	353
10月	0	0	62	481	37	49	99	530
11月	2	5	100	753	8	19	110	777
12月	9	58	71	471	163	545	243	1,074
1月	22	152	54	380	41	205	117	737
2月	9	50	62	329	3	6	74	385
3月	10	54	57	321	15	31	82	406
合計	87	518	804	4,689	433	1,202	1,324	6,409



2021年(令和3年)11月20日(土)
令和3年度消防団実災害想定訓練
藤沢市消防防災訓練センターにて

12 その他



90 藤沢火災史

寛政9年（1797年）11月29日の夜、領家（本町四丁目）の米屋権七より出火した火事は、東海道の北側中之町（本町三丁目）の池田屋儀兵衛までを焼き、南側はわずか田畑辺に5、6軒を残して翌朝6時になって漸く鎮火した。

大政3年（1820年）2月8日台町（本町五丁目）風早山真源寺より出火、折からの南風にあおられた火の手はたちまち西方台町から白旗横町の両側を焼きつくした。

天保2年（1831年）12月27日の夜7時に内出町より出火、折からの南風にあおられ、たちまち東海道の北側坂戸町（本町二丁目）の庄屋新右衛門、南側は神奈川屋から東は大久保の大橋（遊行寺橋）までの両側を焼きつくし、遂に藤沢山客殿合所念仏堂末寺の二ヶ寺も焼失した。

天保7年（1836年）12月13日午後5時頃、陣屋小路の津村屋次郎より出火、折からの強い風にあおられて陣屋小路、内出通りを全焼し、東海道の北側の本陣までと、南側は本陣源右衛門より2、3軒先まで焼き、東方は大久保北側の問屋までと、南側は近江屋（森地喜兵衛）まで焼失した。当時の藤沢宿の町名は、現在の町内を4、5町程包含して呼ばれていた。坂戸町は台町、白旗横町、領家、仲之町、永勝寺横町、大久保町は仲久保町、栄町、旅籠町、内出町、茅場町、陣屋小路、大鋸町は大鋸（広小路）、舟久保端光町、藤沢嶺は西富（西村）、山谷等である。

嘉永3年（1850年）9月29日夜6時に出火（出火場所不明）した火事は、仲町、永勝寺横町をことごとく焼き、西方は大之町坂屋伊衛門で止り、東方は、広瀬藤右衛門（伊賀屋）で漸くとまった。

嘉永4年（1851年）12月3日夜8時に坂戸町和田七郎右衛門裏手より出火する。

弱い北風であったが、東海道の北側西方の加藤甚右衛門、東方は、湯屋南側で、西方は吉田屋幸四郎、東方は角屋にてとまり、内出町加藤長屋をことごとく焼失した。

明治12年（1879年）11月16日の夜中の1時頃、鈴木茂右衛門（伊勢屋）現在本荘林平氏裏手より出火する。折からの強風は西から吹きまくり火の手はたちまち燃え広がり、東海道の西仲之町大阪屋伊右衛門まで、南側は田村佐兵衛まで、そして東仲之町は全焼し、西坂戸町の南側森地嘉兵衛（近江屋）まで、北側は平野彦四郎まで焼失し、日蓮宗妙善寺本堂などもことごとく焼失し、俗に伊勢茂火事と呼ばれた。

明治13年（1880年）11月26日夜2時頃、西風の烈風の折から東坂戸町大川喜右衛門裏手物置から出火した火の手は、陣屋小路、栄町、仲久保、旅籠町、西富町、大鋸町を総なめにして遠くは柄沢部落まで飛火した。遊行寺伽藍七ヶ、末寺感応院も焼失した。この火事は当宿稀代の大火で俗に大川火事と言われた。

明治18年（1885年）11月29日夜2時頃、坂戸町の仲屋長右衛門裏手より出火した。栄町の南側、川上久兵衛と北側の稲元屋喜兵衛より西方坂戸町南側の加藤甚右衛門まで焼失し、俗に中長火事と呼ばれた。

明治42年（1909年）吾楽町大火

大正12年（1923年）関東大震災

昭和20年（1945年）12月18日7時15分頃、辻堂駅構内で天地を覆すような大爆発があり、一瞬にして阿鼻叫喚の地獄となった。

当時太平洋戦争の終結により進駐軍が日本製の弾薬を接收し国鉄辻堂駅貨物列車停車場に弾薬を満載した有蓋貨車（15 t車）50輦を集結させ、他へ輸送すべく貨車3輦の入替作業中、貨車2輦から突然煙を吐き、貨車3輦（45 t）の弾薬が大爆発し一瞬の間に辻堂駅前商店街及び駅北側工場等の建物が吹き飛び、飛び散った火薬で火災が発生し、死者8人、重傷者7人、軽傷者多数が発生、住宅の被害、全焼14戸、全壊63戸、半壊335戸、その他山本鋳業(株)工場1棟、松下乾電池工場1棟、吉田製作所工場4棟の計6棟が全壊した。

9 1 自治体消防発足以来の火災状況

年 次		人 口	世 帯 数	1 万人 出火率	火 災 件 数	損 害 額 (万円)
西 曆	元 号	12月1日調 (29年以前は10月1日調)				
1948年	昭和23年	78,759	17,451	4.4	35	882
1949	24	82,679	17,867	4.0	33	1,148
1950	25	84,581	17,735	3.9	33	1,163
1951	26	86,407	18,002	4.2	36	1,935
1952	27	89,464	18,677	2.1	19	665
1953	28	92,013	19,370	3.4	31	3,841
1954	29	94,481	20,114	3.2	30	2,929
1955	30	109,750	22,694	5.0	55	1,678
1956	31	112,095	23,698	6.1	68	332
1957	32	115,054	24,650	6.9	79	7,332
1958	33	117,735	25,584	7.7	91	4,500
1959	34	120,990	26,732	5.0	60	2,244
1960	35	125,968	28,493	4.1	52	902
1961	36	132,027	30,460	5.5	72	2,040
1962	37	140,138	33,371	7.2	101	11,069
1963	38	148,524	35,562	5.7	85	1,458
1964	39	164,117	40,117	8.5	139	3,815
1965	40	181,027	45,768	9.8	178	11,803
1966	41	192,326	49,414	7.3	141	3,489
1967	42	201,135	51,823	7.9	158	12,411
1968	43	211,557	55,285	6.6	139	5,654
1969	44	222,018	59,201	6.2	138	4,513
1970	45	231,022	63,121	8.7	200	15,015
1971	46	240,026	65,958	7.0	168	10,148
1972	47	246,447	68,450	5.9	146	9,592
1973	48	253,586	71,144	6.4	162	22,849
1974	49	260,299	73,554	4.4	114	7,546
1975	50	267,308	77,888	5.6	149	12,911
1976	51	272,886	79,513	2.9	80	13,889
1977	52	280,728	81,954	4.1	115	21,273
1978	53	288,361	84,170	3.3	95	47,361
1979	54	295,227	86,267	2.9	85	14,361
1980	55	301,948	97,176	3.7	112	16,764

建物火災		建 物 火 災 以 外					死 傷 者		
件 数	焼損面積(m ²)	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他	死 者	負傷者	計
33	3,021					2			
30	662	3						3	3
28	1,390	4	1					1	1
30	1,835	2				4		4	4
17	604	1				1		1	1
27	3,278	2	1			1		5	5
19	1,115	3	5	1		2		1	1
35	1,449	4	6		1	9	3	5	8
40	439	15	6	1		6			
54	3,556	12	6			7		7	7
57	4,687	14	9			11		5	5
48	1,801	3	6	1		2	1	3	4
38	670	8	5			1		7	7
55	4,336	7	7			3	1	4	5
71	9,787	12	17	1				22	22
55	1,988	11	9			10		1	1
78	4,178	26	15	1		19		9	9
90	8,438	57	11			20	1	14	15
81	2,343	34	16			10		7	7
89	3,805	40	18			11	1	9	10
67	2,521	42	17			13		4	4
73	1,907	34	12			19	1	7	8
88	6,664	16	9			87	5	10	15
79	2,992	14	12			63	1	14	15
80	3,140	9	12			45	5	11	16
84	4,207	8	12			58	8	8	16
75	1,752	7	6			26	1	8	9
86	2,156	4	10			49	4	12	16
46	1,169	2	10	1		21	2	12	14
76	3,362	2	6			31	5	12	17
62	5,117	2	13			18	3	21	24
68	1,606	3	7			7	3	11	14
86	3,542	3	4			19	2	11	13

年 次		人 口	世 帯 数	1 万人	火 災	損 害 額
西 曆	元 号	12月1日調 (29年以前は10月1日調)		出火率	件 数	(万円)
1981	56	308,157	99,096	5.1	156	35,979
1982	57	313,633	101,050	3.0	95	11,891
1983	58	318,587	102,414	4.3	136	20,534
1984	59	323,440	104,584	4.2	136	13,521
1985	60	329,297	108,973	3.4	112	22,070
1986	61	334,752	112,153	4.2	139	50,736
1987	62	338,331	114,250	2.8	95	15,022
1988	63	342,753	117,095	2.7	94	9,076
1989	平成元年	347,486	120,733	2.3	79	10,867
1990	2	351,317	124,820	2.7	95	15,546
1991	3	355,684	128,774	2.2	80	48,171
1992	4	359,784	131,826	2.1	74	14,213
1993	5	362,661	134,505	2.9	104	28,974
1994	6	366,441	137,022	2.2	80	39,793
1995	7	369,153	138,134	3.2	118	27,400
1996	8	370,895	140,361	2.5	93	8,660
1997	9	373,950	143,081	3.0	111	27,607
1998	10	376,109	145,091	2.3	86	29,530
1999	11	377,834	147,208	2.1	80	12,512
2000	12	379,547	148,524	2.4	92	35,440
2001	13	383,689	152,037	2.7	103	15,089
2002	14	388,408	155,525	2.9	111	13,978
2003	15	391,342	158,229	2.7	107	21,993
2004	16	393,344	160,545	2.6	103	24,967
2005	17	396,475	161,293	3.0	118	26,175
2006	18	398,964	164,253	3.5	136	18,743
2007	19	402,490	167,419	3.0	120	20,635
2008	20	405,600	170,141	2.6	104	9,652
2009	21	407,430	171,845	2.7	109	5,798
2010	22	410,258	172,038	2.8	113	13,467
2011	23	414,327	175,076	2.9	119	14,837
2012	24	416,867	177,359	2.6	106	15,829
2013	25	418,267	178,945	2.6	110	15,299

建物火災		建 物 火 災 以 外					死 傷 者		
件 数	焼損面積 (m ²)	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他	死 者	負傷者	計
97	4,054	3	12			44	10	16	26
65	1,405	2	11			17	2	10	12
84	2,305	4	12			36	3	19	22
83	1,413	6	16			31	3	17	20
64	2,236	3	18			27	5	28	33
86	2,597	5	16	1		31	5	12	17
76	3,316	1	12			6	6	10	16
72	1,696	1	14			7	6	8	14
58	1,652	2	16	1		2	2	15	17
68	1,755		10			17	2	10	12
62	1,632		13			5	1	14	15
51	1,508		9			14	2	15	17
73	2,897	1	15			15	4	20	24
62	2,503		5			13	4	14	18
69	2,310	2	17			30	5	12	17
61	858	6	10			16	7	15	22
77	2,729	1	20			13	4	22	26
56	1,600	1	17	1		11	1	12	13
52	1,378		22			6	7	11	18
56	3,292		12			24	4	22	26
69	1,637		9			25	5	15	20
65	1,430		20			26	4	16	20
64	2,222		19			24	3	30	33
61	1,770		11			31	4	16	20
76	1,866		15			27	5	34	39
72	980		15			49	3	25	28
79	1,546		16			25	1	43	44
56	1,026		8			40	2	18	20
54	350		17			38	2	16	18
64	915		20			29	3	22	25
57	1,287		19			43	3	12	15
56	923		11			39	5	25	30
64	1,083		8			38	4	19	23

年 次		人 口	世 帯 数	1 万人	火 災	損 害 額
西 曆	元 号	12月1日調 (29年以前は10月1日調)		出火率	件 数	(万円)
2014	26	420,180	180,949	2.4	101	10,070
2015	27	424,538	180,605	1.9	81	12,993
2016	28	427,044	183,026	2.0	86	12,838
2017	29	429,202	185,514	1.9	83	4,961
2018	30	431,752	188,142	2.0	86	12,078
2019	令和元年	434,716	191,159	2.5	108	11,825
2020	2	437,664	194,365	2.3	101	3,457
2021	3	441,423	197,617	2.0	87	2,999
計					7,446	1,042,737
過去10年間の平均数値				2.2	94.9	10,234.9

建物火災		建 物 火 災 以 外					死 傷 者		
件 数	焼損面積 (m ²)	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他	死 者	負傷者	計
47	1,202		6			48	3	20	23
56	914		9			16	1	20	21
55	1,186	3	15			13	7	15	22
41	655		5			37	1	9	10
46	1,848		6			34	2	14	16
57	1,523	4	10	1		36	3	13	16
59	792	1	10			31	1	18	19
49	268	3	6			29		14	14
4,564	168,076	453	800	10	1	1,618	192	965	1,157
53.0	1,039.4	1.1	8.6	0.1	0.0	32.1	2.7	16.7	19.4

9 2 昭和23年以降の主な火災

発生年月日	名 称	覚知時分	焼損棟数		焼損面積 (㎡)	死者	負傷者
			全焼	半焼			
S 23. 11. 14	辻堂 電気通信事業所	18:00	1		1,449		
24. 12. 30	藤沢 小売店舗	6:50	2		248		
25. 6. 10	片瀬 交通機関営業所	3:50	6	2	845		
25. 12. 9	藤沢 繊維工場（職員負傷後殉職）	23:40	1		52		1
26. 11. 24	鶴沼 公立施設	14:10	1		763		4
28. 2. 3	藤沢 繊維工場	17:42	2		519		2
28. 4. 21	鶴沼 市立小学校	4:25	4		1,053		2
29. 8. 31	藤沢 電気通信事業所	13:20	1		503		
32. 7. 7	辻堂 作業所	21:55	2	1	826		
32. 12. 18	辻堂 製鋼所	21:30	1		745		
33. 2. 24	鶴沼 県立高等学校	3:30	6		2,518		
33. 8. 10	藤沢 小売店舗	12:10	1		977		
34. 9. 29	鶴沼 市立小学校	13:40	1		801		
36. 4. 21	高倉 米軍機事故	9:15	6		422	1	1
36. 9. 11	片瀬 私立学校	5:10		1	1,123		
37. 2. 22	本町 市立小学校	16:50	5		3,099		
37. 12. 3	善行 私立高等学校	22:40	8		3,498		
37. 12. 4	藤沢駅南口商店街	5:30	9	1	1,952		
38. 10. 31	片瀬 市立小学校	19:03	1		797		
39. 3. 27	江の島 旅館	23:00	2	1	868		
39. 8. 19	江の島 旅館	16:25	1		792		3
40. 1. 14	長後 化学工場	14:00	4		285		
40. 1. 20	鶴沼神明 市立中学校	20:05	1		1,117		
40. 2. 16	川名 事業所	15:30	1		783		
40. 4. 6	長後 アパート他	3:50	6		803	1	2
40. 7. 29	鶴沼 作業場	18:10	1		876		1
40. 9. 15	石川 食品加工業	20:40	1		1,126		
40. 12. 6	藤沢 空家	20:25	1		659		
41. 11. 29	片瀬海岸 旅館	6:55	1		419		
45. 1. 14	川名 薬品工場	0:55	17	部分焼 4	2,641		
45. 3. 26	遠藤 製品工場	9:28	1		268		
45. 7. 26	大鋸 倉庫	9:20	1	部分焼 1	219		
45. 11. 11	弥勒寺 印刷工場	16:28	1		416		
45. 12. 20	鶴沼神明 市立中学校	3:40		部分焼 1	124		
45. 12. 30	石川 幼稚園	16:30	1		526		
46. 2. 26	弥勒寺 製品工場	21:45	1		661		

発生年月日	名 称	覚知時分	焼損棟数		焼損面積 (㎡)	死者	負傷者
			全焼	半焼			
47. 2. 16	辻堂 作業所	1:06	1		196		
47. 5. 25	片瀬 作業所	0:46	3		206		
47. 12. 12	藤沢 製菓工場	0:52	1		1,377		
48. 3. 4	長後 独身寮	18:10	1		164		
48. 7. 21	辻堂 飲食店	1:18	4	2	321		
48. 9. 24	善行 歯科医院(ﾌﾟﾛﾊﾟﾝ爆発火災)	8:36	4		599	6	6
48. 11. 20	高倉 製ﾊﾟﾝ工場	13:43	1		680		
48. 12. 26	藤沢 小売店舗	20:45	1		372		
49. 1. 25	藤沢 風俗店	23:20	1		223		
51. 1. 31	藤沢 寺院	15:52	1		368		
51. 6. 12	藤沢 大型小売店	14:19		部分焼 1	127		1
52. 1. 8	片瀬海岸 商店街	0:10	2	部分焼 1	257		
52. 7. 22	藤沢 倉庫	19:40	2		703		2
52. 10. 7	円行 倉庫	23:10	1	部分焼 1	316		
52. 10. 13	本町 倉庫	2:15	1	1	554		
53. 4. 10	藤沢 遊技場	22:03	3		796		2
53. 5. 29	辻堂 大型ｽｰﾊﾟｰ	16:50		1	1,729	1	6
55. 9. 30	辻堂元町 ｱﾊﾟｰﾄ	0:15	2	2	358		
56. 11. 8	大鋸 染色工場	0:33	2		1,137		
56. 12. 16	長後 天満宮付近	20:54	2	1	156	3	1
57. 3. 24	鶴沼神明 家畜舎	12:19	2	部分焼 1	209		1
57. 4. 27	藤沢 遊技場	12:30		1	350		
58. 12. 16	片瀬 作業所	13:30	2	1	521		1
60. 2. 11	下土棚 マンション(ﾌﾟﾛﾊﾟﾝ爆発火災)	10:03		部分焼 1	111		8
60. 5. 8	遠藤 製品工場	15:47		1	687		
61. 3. 4	遠藤 車両製造工場	16:42		部分焼 1	722		
61. 9. 2	土棚 車両製造工場	0:45		部分焼 1	316		
H5. 10. 17	善行坂 建築作業所	3:50	1	部分焼 3	768		
6. 2. 23	片瀬 製品工場	12:20		1	782		
8. 11. 9	鶴沼藤が谷 住宅	1:21	1		162	4	
9. 1. 19	辻堂元町 小売店舗	17:25	4	5	488	1	1
15. 8. 3	亀井野 間伐材集積場(防禦24日間)	16:37			180㎡		
19. 5. 12	大鋸 歴史的建築物	4:48		1	228		
25. 3. 9	藤沢 店舗	23:32	2	部分焼 1	416		
28. 1. 14	土棚 車両製造工場	19:43		部分焼 1	448		

9 3 過去における風水害等

年月日	種別	被害の状況			摘要
昭和 29. 3. 20	台風5号	1 家屋被害	倒壊 流出	8棟 14棟	
		2 屋根被害		4件	
31. 9. 27	台風15号	道路被害	埋没 流出 破損	1箇所 5m 1箇所 (6m)	
31. 10. 30	豪雨	家屋被害	全壊住家 流失非住家 半壊住家 床下浸水	2棟 1棟 3棟 15世帯	
33. 7. 23	台風11号	家屋被害	全壊非住家 半壊住家 半壊非住家 部分壊住家 部分壊非住家 床上浸水 流失非住家 床下浸水	42棟 3棟 69棟 14棟 36棟 1棟 15棟 11棟	災害対策本部設置
33. 9. 18	台風21号	1 家屋被害 2 堤防決壊 3 橋梁流失	全壊非住家 半壊住家 半壊非住家 床上浸水 床下浸水 2箇所 1箇所	2棟 2棟 2棟 4棟 14棟	災害対策本部設置
33. 9. 26	台風22号	1 人的被害 2 家屋被害	死者 全壊住家 全壊非住家 半壊非住家 床上浸水 床下浸水	3人 7棟 9棟 9棟 515棟 1, 713棟	大島西方から江の島 上陸 災害対策本部設置
34. 9. 26	台風15号	家屋被害	全壊非住家 半壊住家 半壊非住家 部分壊住家 部分壊非住家 床上浸水 床下浸水	22棟 2棟 7棟 20棟 19棟 4棟 5棟	災害対策本部設置

年月日	種別	被害の状況		摘要
昭和 36.6.28	台風6号	1 人的被害	死者 2人 負傷者 3人	降雨量 267.0mm 救助法適用 災害対策本部設置
		2 家屋被害	全壊住家 6棟 半壊住家 22棟 床上浸水 323棟 床下浸水 1,573棟	
36.9.16	台風18号	1 家屋被害	全壊 2棟 半壊 34棟	災害対策本部設置
		2 堤防決壊	7箇所 護岸 5 防湖堤 1 防波堤 1	
40.6.27	集中豪雨	1 家屋被害	床上浸水 12棟 床下浸水 262棟	災害対策本部設置
		2 崖崩れ	15箇所	
		3 道路	決壊及び洗掘 14箇所	
40.8.21	台風17号	施設被害	1箇所	
40.9.17	台風24号	1 家屋被害	全壊 1棟 半壊 1棟 床上浸水 6棟 床下浸水 17棟 非住家被害 57棟 一部破損 45棟 学校関係 17箇所	災害対策本部設置
		2 道路被害	決壊及び洗掘 8箇所	
		3 橋梁流失	1箇所	
		4 堤防決壊	5箇所	
		5 山崖崩れ	5箇所	
41.6.28	台風4号	1 人的被害	重症者 1人 軽症者 4人	降雨量 6.27午後9時～ 6.28午後7時まで 306.5mm 災害対策本部設置
		2 家屋被害	全壊 6棟 半壊 2棟 一部破損 4棟 床上浸水 283棟 床下浸水 479棟 非住家 4棟	
		3 田畑の被害	田流失 埋没 11.7ha 田冠水 288.9ha 畑流出 埋没 冠水 0.7ha	
		4 学校及び公民館被害	4箇所	
		5 道路被害	4箇所	
		6 橋梁流失	3箇所	
		7 堤防決壊	18箇所	

年月日	種別	被害の状況			摘要
昭和 41. 6. 28	台風4号	8	農業用施設	6箇所	
		9	崖崩れ	41箇所	
41. 9. 24	台風26号	1	人的被害	軽症者 1人	降雨量 9. 24午後6 時～ 9. 25午前3 時まで 85. 3mm 災害対策本部設置
		2	家屋被害	全壊 1棟 半壊 24棟 一部破損 24棟 床上浸水 1棟 床下浸水 2棟 非住家 72棟	
		3	田畑の被害	水稻倒伏 196. 84ha 陸稻倒伏 163. 85ha	
		4	学校、公民館、保育園その他	45箇所	
		5	道路被害	8箇所	
		6	橋梁流失	1箇所	
		7	堤防決壊	3箇所	
43. 7. 6	集中豪雨	1	家屋被害	半壊 1棟 床上浸水 6棟 床下浸水 17棟	降雨量 7. 6午前0 時～ 午後0 時まで 98. 0mm 最高時雨量30. 0mm (午前4 時～5 時)
		2	橋梁流失	1箇所	
		3	崖崩れ	6箇所	
44. 6. 2	集中豪雨	家屋被害	半壊 2棟 一部破損 17棟		降雨量 6. 25午後5 時～ 6. 26午後0 時まで 94. 0mm
45. 5. 2	集中豪雨	1	家屋被害	一部破損 1棟 床下浸水 13棟 (16世帯)	降雨量 5. 20午後6 時～ 午後11時まで 75. 0mm
		2	堤防決壊	1箇所	
		3	崖崩れ	2箇所	
45. 6. 14 ～6. 16	集中豪雨	1	家屋被害	床下浸水 6棟	降雨量 6. 14午後6 時～ 6. 16午後3 時まで 149. 0mm
		2	堤防決壊	1箇所	
		3	崖崩れ	3箇所	
45. 7. 1	集中豪雨	1	家屋被害	床上浸水 31棟 (38世帯) 床下浸水 48棟 (59世帯)	降雨量 7. 1午前0 時～ 7. 2 午前1時まで 125. 0mm 最高時雨量42. 0mm (7. 1午前9 時～ 10時) 災害対策本部設置
		2	橋梁流失	1箇所	
		3	堤防決壊	4箇所	
		4	崖崩れ	4箇所	

年月日	種別	被害の状況			摘要
昭和 46. 3. 7	落石事故	人的被害	死者	1人	江の島岩屋入り口
			負傷者	8人	
46. 8. 31	台風23号	1 家屋被害	一部破損	1棟	降雨量 8. 30午後7 時～ 8. 31午後4 時まで 96. 1mm 最高時雨量30. 0mm (8. 31午前5 時～ 午前6 時) 災害対策本部設置
			床上浸水	31棟	
			床下浸水	48棟	
		2 田畑の被害	田水稻倒伏	29ha	
			陸稲倒伏	9. 9ha	
		3 堤防決壊	4箇所		
		4 鉄道の不通	1箇所	(藤沢駅～藤沢本町駅間)	
		5 崖崩れ	5箇所		
46. 10. 12	秋雨前線	崖崩れ	1箇所		降雨量 10. 9午後10時～ 10. 14午後0 時まで 116. 0mm
47. 2. 14	突風雨	1 人的被害	軽症者	1人	
		2 家屋被害	全壊	3棟	
			半壊	1棟	
			一部破損	21棟	
			床上浸水	2棟 (2世帯)	
			床下浸水	4棟 (4世帯)	
47. 3. 20	強風	家屋被害	全壊	3棟	
			半壊	1棟	
			一部破損	13棟	
47. 7. 11	集中豪雨	家屋被害	床下浸水	2棟 (2世帯)	降雨量 7. 10午前2 時～ 7. 11午後10時まで 75. 5mm
47. 7. 15	台風6号	1 人的被害	死者	1人	降雨量 7. 14午後9 時～ 7. 15午後0 時まで 162. 0mm
		2 家屋被害	一部破損	5棟	
			床上浸水	4棟 (4世帯)	
			床下浸水	3棟 (25世帯)	
47. 9. 16	台風20号	1 家屋被害	一部破損	1棟	降雨量 9. 14午後11時～ 9. 17午前1 時まで 236. 5mm
			床上浸水	15棟 (16世帯)	
			床下浸水	34棟 (48世帯)	
		2 道路決壊	2箇所		
		3 堤防決壊	3箇所		
		4 崖崩れ	5箇所		

年月日	種別	被害の状況		摘要
昭和 48. 11. 10	集中豪雨	1 家屋被害	床上浸水 157棟 (124世帯) 床下浸水 194棟 (183世帯) 住宅以外浸水 66棟	降雨量 11. 10午前9 時～ 11. 11午前0 時まで 226. 0mm 災害対策本部設置
49. 7. 8	集中豪雨	家屋被害	床上浸水 154棟 (187世帯) 床下浸水 206棟 (228世帯)	降雨量 7. 8午前0 時～ 午前9 時まで 153. 0mm 災害対策本部設置
49. 9. 1	台風16号	1 家屋被害 2 崖崩れ 3 堤防決壊	床上浸水 3棟 (3世帯) 床下浸水 6棟 (6世帯) 2箇所 1箇所	降雨量 8. 31午前2 時～ 9. 1午後5 時まで 55. 0mm
50. 7. 4	集中豪雨	家屋被害	床下浸水 3棟 (3世帯)	降雨量 7. 4午前0 時～ 午後5 時まで 98. 5mm
50. 10. 5	台風13号	家屋被害	床下浸水 14棟 (13世帯)	
50. 10. 8	集中豪雨	1 家屋被害 2 堤防決壊	床下浸水 2棟 (2世帯) 1箇所	降雨量 10. 8午前0 時～ 午後1 時まで 96. 5mm
51. 7. 11	集中豪雨	1 家屋被害 2 道路冠水	床下浸水 3棟 (3世帯) 4箇所	降雨量 7. 11午前0 時～ 7. 12午前4 時まで 142. 0mm
51. 9. 9 ～9. 11	台風17号 集中豪雨	1 家屋被害 2 河川損壊 3 崖崩れ 4 道路冠水 5 鉄道の不通	半壊家屋 1棟 床上浸水 14棟 (17世帯) 床下浸水 121棟 (130世帯) 6箇所 17箇所 15箇所 1箇所 (小田急藤沢本町駅～善行駅間)	降雨量 9. 9～9. 11まで 120. 0mm 災害対策本部設置
52. 9. 1	台風9号	家屋被害	床下浸水 13棟	降雨量 125. 0mm
52. 9. 19	台風11号	家屋被害	床下浸水 9棟	降雨量 9. 19午前9 時～ 午後5 時まで 125. 0mm

年月日	種別	被害の状況			摘要
昭和 54.10.18 ～10.19	台風20号	1 人的被害	重症者 1人 軽症者 15人		降雨量 10.18午前2時～ 10.19午後4時まで 137.0mm 災害対策本部設置
		2 家屋被害	全壊 1棟 (1世帯) 半壊 47棟 (50世帯) 一部破損 101棟 (113世帯) 床下浸水 4棟 (4世帯)		
		3 道路冠水	6箇所		
		4 道路陥没	9箇所		
55.3.29 ～3.30	集中豪雨	1 家屋被害	床上浸水 5棟 (5世帯) 床下浸水 11棟 (13世帯)		降雨量 3.29午後8時～ 3.30午前7時まで 51.0mm
		2 道路冠水	5箇所		
		3 崖崩れ	2箇所		
55.10.14	台風19号	家屋被害	床上浸水 1棟 (1世帯) 床下浸水 2棟 (2世帯)		降雨量 10.14午後1時～ 午後10時まで 81.5mm
56.7.22	集中豪雨	家屋損壊	床下浸水 2棟 (2世帯)		降雨量 7.22午前1時～ 午前3時まで 51.0mm
56.10.22	台風24号	1 家屋被害	床上浸水 143棟 床下浸水 151棟		降雨量 10.22午前7時～ 10.23午前0時まで 186.0mm 最多時雨量30.0mm (午後10時～11時) 災害対策本部設置
		2 道路冠水	14箇所		
		3 道路陥没	5箇所		
		4 路肩の崩れ	17箇所		
		5 崖崩れ	3箇所		
57.8.1	台風10号	1 人的被害	重症者 1人		降雨量 8.1午前0時～ 8.2午前2時まで 84.0mm
		2 建物被害	一部破損 10棟		
		3 道路冠水	1件		
		4 街路樹倒木	429件		
		5 ブロック塀倒壊	2件		
		6 崖崩れ	3件		
57.9.12	台風18号	1 家屋被害	半壊 4棟 (4世帯) 一部破損 31棟 (30世帯) 床上浸水 1,463棟 (1,749世帯) 床下浸水 504棟 (574世帯)		降雨量 9.10午前11時～ 9.12午後6時まで 341.5mm (南消防署) 411.0mm (北消防署) 災害対策本部設置
		2 堤防決壊	1箇所		
		3 鉄道の不通	1件 (小田急藤沢駅～長後駅間)		
		4 崖崩れ	11件		

年月日	種別	被害の状況			摘要
昭和 57.9.12	台風18号	5 道路冠水	25件		
		6 道路陥没	7件		
		7 田畑冠水	105.7ha		
60.6.30 ～7.1	台風6号	1 家屋被害	半壊 一部破損 床上浸水 床下浸水	2棟 (2世帯) 38棟 (38世帯) 5棟 (5世帯) 25棟 (25世帯)	降雨量 6.30午前0時～ 7.1午前6時まで 177.0mm (南消防署) 146.5mm (北消防署)
		2 海浜施設 (海の家) 被害	全壊 半壊	28棟 20棟	7.1午前3時43分 最大瞬間風速 30.3m 災害対策本部設置
63.7.15 ～7.16	集中豪雨	1 家屋被害	床下浸水	3棟 (3世帯)	降雨量 7.15午後10時～ 7.16午前6時まで 120.0mm (南消防署) 114.0mm (北消防署)
		2 道路冠水	6箇所		
		3 道路陥没	1箇所		
		4 崖崩れ	3箇所		
63.8.11 ～8.12	集中豪雨	1 家屋被害	床上浸水 床下浸水	13棟 (13世帯) 45棟 (45世帯)	降雨量 8.11午前0時～ 8.12午前11時まで 230.0mm (南消防署) 239.5mm (北消防署) 災害対策本部設置
		2 崖崩れ	7箇所		
		3 道路冠水	17箇所		
		4 道路陥没	1箇所		
		5 崖崩れ	7箇所		
平成 1.4.8 ～4.9	集中豪雨	1 家屋被害	床上浸水 床下浸水	49棟 (49世帯) 76棟 (76世帯)	降雨量 4.8午前4時～ 4.9午前3時まで 133.0mm (南消防署) 162.5mm (北消防署)
		2 道路冠水	6箇所		
		3 崖崩れ	1箇所		
1.7.31 ～8.2	集中豪雨	1 家屋被害	床下浸水	2棟 (2世帯)	降雨量 7.31午前2時～ 8.2午前7時まで 176.0mm (南消防署) 149.0mm (北消防署)
		2 道路冠水	6箇所		
		3 崖崩れ	3箇所		
1.9.19 ～9.20	台風22号	1 家屋被害	床下浸水	2棟 (2世帯)	降雨量 9.19午前7時～ 9.20午前7時まで 78.5mm (南消防署) 68.0mm (北消防署)
		2 道路冠水	6箇所		

年月日	種別	被害の状況	摘要
平成 2. 8. 8 ～8. 10	集中豪雨 台風11号	1 橋梁被害 落橋1箇所(藤沢橋) 2 海浜施設(海の家)被害 半壊 3棟 3 林産被害 街路、公園樹木の倒木 150本 4 道路冠水 5箇所 5 停電 遠藤地区50世帯 (8. 10 13:01～17:00) 藤沢・亀井野・湘南台地区 (8. 10 6:29～7:59)	降雨量 8. 8午後7 時～ 8. 10午後2 時まで 81. 0mm(南消防署) 139. 5mm(北消防署) 最大瞬間風速 23. 3m
2. 9. 19 ～9. 20	台風19号	1 非住家被害 全壊 1棟 2 道路冠水 1箇所 3 車両被害 3台(倒木による)	降雨量 9. 19午後0 時～ 9. 20午前9 時まで 44. 5mm(南消防署) 34. 0mm(北消防署) 最大瞬間風速 27. 8m
2. 9. 30	台風20号	1 公共建物被害 床上浸水 4棟 2 家屋被害 床上浸水 233棟 床下浸水 259棟 3 道路冠水 47箇所 4 崖崩れ 7箇所 5 橋梁被害 落橋1箇所(鵜沼橋) 6 護岸崩壊 1箇所 7 田畑被害 21. 33ha冠水 8 水産被害 漁船1隻損壊 遊漁船3隻流失不明	降雨量 9. 30午前4 時～ 10. 1午前0 時まで 195. 5mm(南消防署) 173. 0mm(北消防署) 災害対策本部設置
2. 11. 30	台風28号	1 家屋被害 床下浸水 2棟 2 道路冠水 10箇所 3 護岸崩壊 1箇所	降雨量 11. 30午前9 時～ 12. 1午前0 時まで 157. 5mm(南消防署) 187. 5mm(北消防署)
3. 9. 18～ 9. 19	台風18号	1 家屋被害 床上浸水 77棟 床下浸水 23棟 2 非住家 床上浸水 12棟 床下浸水 1棟 3 護岸決壊 2箇所(境川) 4 河川溢水 4箇所(境川、白旗川) 5 道路冠水 27箇所 6 田畑被害 41. 1ha冠水 7 畜産被害 豚19頭	降雨量 9. 18午前10時～ 9. 19午後8 時まで 252. 0mm(南消防署) 225. 0mm(北消防署)

年月日	種別	被害の状況		摘要
平成 5.11.13 ～11.14	集中豪雨	1 家屋被害	床上浸水 154棟 床下浸水 175棟	降雨量 11.13午前8時～ 11.14午後1時まで 163.0mm(南消防署) 143.5mm(北消防署)
		2 非住家被害	床上浸水 74棟	
		3 護岸損壊	3箇所(引地川2、境川)	
		4 河川溢水	5箇所 (境川、引地川、白旗川、滝川、 不動川)	
		5 道路冠水	41箇所	
		6 田畑被害	ハウス破損等6件	
6.7.12	集中豪雨	1 家屋被害	床上浸水 1棟 床下浸水 3棟	降雨量 7.12午後6時～ 午後8時まで 30.0mm(南消防署) 40.5mm(北消防署)
		2 道路冠水	6箇所	
6.7.18	集中豪雨	1 家屋被害	床上浸水 2棟 床下浸水 3棟	降雨量 7.18午前0時～ 午後6時まで 67.5mm(南消防署) 89.0mm(北消防署)
		2 電気施設被害	湘南大庭・鵠沼海岸地区落雷に よる停電(9,100戸)	
		3 道路冠水	6箇所	
6.8.20	大雨	1 家屋被害	床上浸水 12棟 床下浸水 8棟	降雨量 54.5mm(南消防署) 11.0mm(北消防署)
		2 道路冠水	8箇所	
7.9.16	台風12号	1 人的被害	重症者 1人	降雨量 9.16～9.17 104.5mm(南消防署) 113.0mm(北消防署) 災害対策本部設置
		2 建物被害	家屋一部損壊 18棟 学校関係 8棟	
		3 公共施設被害	61件 (樹木倒木・保護ネット破損)	
8.7.9	台風15号	土砂崩れ	4箇所	降雨量 7.7午後6時～ 7.10午後4時まで 247.5mm(南消防署) 222.5mm(北消防署)
8.7.21	集中豪雨	1 道路冠水	23箇所	降雨量 7.21午前0時～ 午前11時まで 139.5mm(南消防署) 167.0mm(北消防署)
		2 道路陥没、路面剥離	6箇所	

年月日	種別	被害の状況			摘要
平成 8.9.22	台風17号	1 人的被害	軽症者	1人	降雨量 9.22午前0時～ 午後6時まで 157.5mm(南消防署) 191.5mm(北消防署) 災害対策本部設置
		2 建物被害	床下浸水	2棟	
			一部損壊	32棟	
			学校関係	4棟	
			公共施設	14棟	
		3 非住家被害	一部損壊	8棟	
		4 道路陥没	1箇所		
		5 道路冠水	7箇所		
		6 崖崩れ	1箇所		
		7 樹木倒木	72箇所		
		8 農産物等被害	3箇所		
		9 工作物被害	14箇所		
		10 その他被害	25箇所		
9.6.20	台風7号	1 建物被害	一部損壊	9棟	降雨量 6.20午前0時～ 午後5時まで 96.0mm(南消防署) 107.5mm(北消防署)
		2 非住家被害	一部損壊	1棟	
		3 車両被害	一部破損	10台	
		4 工作物等被害	5件		
		5 道路冠水	7箇所		
		6 倒木	25箇所		
9.8.25	集中豪雨	1 建物被害	床上浸水	19棟	降雨量 8.25午後5時～ 午後9時まで 96.0mm(南消防署) 19.0mm(北消防署)
			床下浸水	25棟	
			一部損壊	1棟	
		2 非住家被害	床上浸水	4棟	
			床下浸水	4棟	
		3 河川溢水	2箇所		
		4 道路冠水	28箇所		
		5 車両被害	22台(水没)		
		6 工作物被害	1件		
		7 その他被害	11件		
10.1.8	大雪	1 人的被害	重症者	1人	1.8午後7時～ 午後10時まで 総積雪 12.0cm (南消防署)
			中等症	1人	
			軽症者	3人	
		2 倒木	1件		
10.1.14	大雪	1 人的被害	7件(10人) (重症者2、軽症者8)		1.14午前4時～ 午後1時まで 総積雪 9.5cm (南消防署)
		2 道路陥没	1件		
		3 倒木	6件		
		4 停電	13:50～15:30 長後高校周辺(250世帯) 16:50～18:30 打戻周辺(690世帯)		

年月日	種別	被害の状況			摘要
平成 10.7.30	集中豪雨	1 家屋被害	床下浸水	1件(1世帯)	総雨量 36.0mm(南消防署) 27.0mm(北消防署)
		2 道路冠水	1件		
10.8.28	集中豪雨	1 道路冠水	12件		総雨量 8.28午前0時～ 午後3時まで 54.5mm(南消防署) 134.0mm(北消防署)
		2 車両水没	3件		
10.8.30	大雨	1 家屋被害	床下浸水	11件(11世帯)	総雨量 8.30午前0時～ 午後7時まで 78.5mm(南消防署) 25.0mm(北消防署)
		2 道路冠水	6件		
		3 車両水没	1件		
10.9.15 ～9.16	大雨 台風5号	1 家屋被害	一部破損	1件	総雨量 9.15午後9時～ 9.16午前9時まで 106.5mm(南消防署) 126.5mm(北消防署)
			床下浸水	3件	
		2 道路冠水	8件		
		3 道路陥没	1件		
		4 車両水没	3件		
		5 倒木	10件		
11.7.21	大雨	1 家屋被害	床上浸水	17件	総雨量 7.21午後4時～ 午後10時まで 65.0mm(南消防署) 47.0mm(北消防署)
			床下浸水	14件	
			地下冠水(非住家)	2件	
		2 道路冠水	16件		
		3 車両水没	5件		
		4 その他(断水等)			
			20:15～20:30		
			柄沢、大鋸の一部		
			断水50世帯		
			減水200世帯		
			(水道管破裂による)		
11.8.14	大雨	1 家屋被害	床下浸水	7件	総雨量 8.14午前0時～ 午後5時まで 144.0mm(南消防署) 117.5mm(北消防署)
		2 道路冠水	22件		
		3 崖崩れ	1件		
		4 その他	1件		

年月日	種別	被害の状況		摘要
平成 12.7.7 ～7.8	台風3号	1 家屋被害	床下浸水 2件	総雨量 7.7午後7時～ 7.8午前6時まで 151.0mm(南消防署) 119.0mm(北消防署)
		2 道路冠水	2件	
		3 崖崩れ	1件	
		4 車両水没	1件	
		5 倒木	4件	
		6 その他	停電(2:18～3:38) 藤沢一～五丁目一帯(630世帯)	
12.9.11	大雨	1 家屋被害	床下浸水 2件	総雨量 9.11午前5時～ 午後6時まで 49.5mm(南消防署) 81.0mm(北消防署)
		2 道路冠水	19件	
		3 車両水没	2件	
12.9.16 ～9.17	大雨	1 道路冠水	15件	総雨量 9.16午前2時～ 9.17午後3時まで 33.5mm(南消防署) 44.5mm(北消防署)
		2 その他	5件	
13.1.27	大雪	1 人的被害	14件(14人) (重症者1、中等症9、軽症者4)	総積雪 1.27午前4時～ 午後1時まで 9.5cm(南消防署)
		2 交通事故	3件(6人) (中等症3、軽症者3)	
		3 その他	停電(9:27～11:00) 弥勒寺二丁目、村岡東二、三、 四丁目一帯(約3,700世帯)	
13.8.21	台風11号	1 道路冠水	6件	総雨量 8.21午後1時～ 8.22午後2時まで 136.5mm(南消防署) 137.5mm(北消防署)
		2 倒木	1件	
13.9.10	台風15号	1 道路冠水	3件	総雨量 9.10午前0時～ 9.11午後3時まで 157.0mm(南消防署) 145.5mm(北消防署)
		2 車両水没	1件	
		3 倒木	4件	
14.7.16	台風7号	1 床下浸水	4件	総雨量 7.16午前0時～ 午後0時まで 52.0mm(南消防署) 22.5mm(北消防署)
		2 道路冠水	7件	

年月日	種別	被害の状況		摘要
平成 15. 3. 1	集中豪雨	1 床上浸水	64件	総雨量 3. 1午後3 時～ 3. 2午前0 時まで 207. 5mm (防災センター) 100. 5mm (北消防署) 最大時雨量 午後10時～11時 53. 5mm(防災センター)
		2 床下浸水	106件	
		3 崖崩れ	3件	
		4 道路冠水	11件	
15. 5. 31	台風4号	1 床上浸水	24件	総雨量 5. 31午前8 時～ 午後6 時まで 154. 0mm(防災センター) 123. 0mm(北消防署)
		2 床下浸水	15件	
		3 道路冠水	17件	
15. 8. 8	台風10号	1 家屋被害	5件	総雨量 8. 8午後1 時～ 午後6 時まで 23. 5mm (防災センター)
		2 倒木	2件	
15. 8. 15	集中豪雨	1 床下浸水	1件	総雨量 8. 14午前1 時～ 8. 16午後10 時まで 336. 0mm (防災センター)
		2 道路冠水	2件	
		3 崖崩れ	1件	
16. 10. 8 ～10. 9	台風22号	1 床上浸水	100件	総雨量 10. 9午前0 時～ 午後10時まで 180. 0mm (防災センター)
		2 床下浸水	141件	
		3 道路冠水	22件	
		4 倒木	8件	
		5 崖崩れ	17件	
		6 家屋損壊	5件	
		7 その他	16件	
16. 10. 19 ～10. 20	台風23号	1 床下浸水	18件	総雨量 10. 19午前1 時～ 10. 21午前0 時まで 193. 0mm (防災センター)
		2 道路冠水	20件	
		3 崖崩れ	4件	
		4 その他	3件	
17. 9. 4	集中豪雨	1 床上浸水	2件	総雨量 9. 4午後10時～ 午後11時まで 53. 5mm(防災センター)
		2 床下浸水	2件	
		3 道路冠水	22件	
19. 7. 29	集中豪雨	1 床上浸水	1件	総雨量 7. 29午後8 時～ 午前0 時まで 62. 5mm(防災センター)
		2 床下浸水	8件	
		3 道路冠水	12件	

年月日	種別	被害の状況		摘要
平成 21. 10. 7 ～10. 8	台風18号	1 床下浸水	1件	総雨量 10. 7午前3 時～ 10. 8午前9 時まで 121. 5mm(防災センター) 91. 5mm(北消防署)
		2 道路冠水	6件	
		3 崖崩れ	1件	
		4 家屋損壊	2件	
		5 倒壊	1件	
22. 12. 2 ～12. 3	集中豪雨	1 床上浸水	2件	総雨量 12. 2午後7 時～ 12. 3午前11時まで 82. 0mm(防災センター) 86. 0mm(北消防署)
		2 床下浸水	1件	
		3 道路冠水	29件	
		4 車両水没	3件	
		5 家屋損壊	52件	
23. 9. 21	台風15号	1 家屋損壊	92件	総雨量 9. 21午前0 時～ 9. 22午前0 時まで 94. 0mm(防災センター) 最大瞬間風速 38. 4m
		2 倒木	23件	
		3 その他	27件	
24. 6. 19	台風4号	1 人的被害	1件(1人) (中等症1)	総雨量 6. 19午後5 時～ 6. 20午前0 時まで 59. 0mm(辻堂)
		2 倒木	2件	
		3 家屋損壊	16件	
		4 倒壊	1件	
		5 その他被害	2件	
25. 1. 14	大雪	1 人的被害	61件(61人) (軽症者32、中等症28、重症者1)	
		2 倒木	2件	
		3 家屋損壊	1件	
		4 その他被害	2件	
25. 4. 6	集中豪雨	1 人的被害	2件(2人) (軽症者1、中等症1)	総雨量 4. 6午後4 時～ 4. 7午前4 時まで 97. 0mm(防災センター)
		2 道路冠水	8件	
		3 崖崩れ	1件	
		4 家屋損壊	1件	
		5 その他	1件	
25. 9. 5	集中豪雨	車両水没	1件	総雨量 9. 5午前5 時～ 9. 5午後3 時まで 20. 5mm(防災センター)

年月日	種別	被害の状況			摘要
平成 25. 9. 15	台風18号	1	家屋被害	床上浸水 2件 床下浸水 4件 一部損壊 5件	総雨量 9. 15 午前3 時～ 9. 15 午前10時まで 127. 5mm(防災センター)
		2	道路冠水	23件	
		3	道路損壊	1件	
		4	河川溢水	1件	
		5	土砂流出	1件	
		6	雨水流入	1件	
		7	その他	7件	
25. 10. 15	台風26号	1	人的被害	1件(1人)	総雨量 10. 15午後0 時～ 10. 16午前8 時まで 144. 0mm(防災センター)
		2	家屋損壊	4件	
		3	その他	1件	
25. 11. 25	集中豪雨	1	道路冠水	4件	総雨量 11. 25午後10時～ 11. 26午前0 時まで 10. 0mm(防災センター)
		2	その他	1件	
26. 10. 5	台風18号	1	家屋被害	床上浸水 57件 床下浸水 73件 一部損壊 1件	総雨量 10. 5午前5 時～ 10. 6午前11時まで 272. 5mm(防災センター)
		2	建物地下浸水	1件	
		3	道路冠水	127件	
		4	土砂流出	8件	
		5	道路損壊	9件	
		6	崖崩れ	4件	
		7	通行止め	29件	
		8	車両水損	16件	
		9	船舶被害	20件	
		10	倒木	4件	
27. 7. 3	集中豪雨	1	道路冠水	2件	総雨量 7. 3午前9 時～ 7. 4午前0 時まで 67. 5mm(北消防署)
27. 8. 17	竜巻	1	家屋損害	一部損壊 22件 その他 9件 非住宅被害 6件	最大瞬間風速 15. 3m
		2	その他	車両損壊 2件	
27. 9. 6	集中豪雨	1	住宅	床下浸水 1 件	総雨量 9. 6午後4 時～ 9. 7午前7 時まで 64. 0mm (防災センター)
		2	道路冠水	7件	

年月日	種別	被害の状況		摘要
平成 27.9.8	集中豪雨	1 道路冠水	3 件	総雨量 9.8午後4時～ 9.10午後9時まで 105.5mm(防災センター)
27.12.11	集中豪雨	1 道路冠水 2 その他	7 件 1 件	総雨量 12.11午後5時～ 12.11午後6時まで 64.5mm(防災センター)
28.1.18	大雪	1 人的被害	6 件(6人) (重症者1、中等症4、軽症者1)	
29.2.20	強風	1 人的被害	5 件(5人) (中等症2、軽症者3)	
29.6.21	集中豪雨	1 人的被害 2 物的被害	2 件(2人) (中等症1、軽症者1) 2 件 (非住宅一部破損)	総雨量 6.21午前4時～ 6.21午前11時まで 36.0mm(防災センター)
29.7.4	集中豪雨	1 物的被害	1 件 (車両水没1件)	総雨量 7.4午後8時～ 7.4午後12時まで 21.0mm(防災センター)
29.8.1	集中豪雨	1 物的被害	18 件 (床上浸水3件 床下浸水1件) (道路冠水10件) (車両水没3件) (道路一部損壊1件)	総雨量 8.1午後2時～ 8.1午後11時まで 104.5mm(防災センター)
29.9.16 ～9.18	台風18号	1 物的被害	6 件 (倒木3件) (電線障害3件)	総雨量 9.16午後21時～ 9.18午前9時まで 46.5mm(防災センター)
29.10.22 ～10.23	台風21号	1 物的被害	23 件 (床下浸水7件) (非住宅被害5件) (道路冠水4件)	総雨量 10.22午前5時～ 10.23午後5時まで 131.0mm(防災センター)

年月日	種別	被害の状況		摘要
平成 29.10.22 ～10.23	台風21号		(防波堤フェンス倒壊 1件) (倒木 1件) (電線障害 3件) (車破損 1件) (駐車場アスファルト損壊 1件)	
30.3.9	集中豪雨	1	物的被害 5件 (道路冠水 2件) (車両水没 2件) (河川溢水 1件)	総雨量 3.9 午前0時～ 3.9 午前3時まで 29.0mm(防災センター)
30.5.13	集中豪雨	1	物的被害 1件 (道路一部損壊 1件)	総雨量 5.13 午前10時～ 5.13 午後10時まで 47.0mm(防災センター)
30.9.4 ～9.5	台風21号	1	物的被害 5件 (住宅一部破損 2件) (非住宅一部破損 1件) (電線等の切断 2件)	総雨量 9.4 午前5時～ 9.5 午前6時まで 31.0mm(防災センター) 最大瞬間風速 26.4m
30.9.30 ～10.1	台風24号	1	物的被害 80件 (住宅一部破損 47件) (非住宅一部破損 6件) (倒木 4件) (電線等の切断 6件) (その他 17件)	総雨量 9.29 午後4時～ 10.1 午後0時まで 45.0mm(防災センター)
令和 1.9.8 ～9.9	台風15号	1	人的被害 1件(1人) (軽症者 1)	総雨量 9.8 午前10時～
		2	物的被害 71件 (住宅一部破損 38件) (非住宅一部破損 13件) (フェンス・堀等の破損 5件) (電線等の障害 6件)	9.9 午前8時まで 111.5mm(防災センター) 瞬間最大風速 38.4m

年月日	種別	被害の状況		摘要
			(倒木 5 件) (道路冠水 1 件) (その他 3 件)	
令和 1. 10. 11 ～10. 13	台風 19 号	1 人的被害	2 件(2 人) (軽症者 2)	総雨量 10. 11 午後 4 時～ 10. 13 午前 6 時まで 203. 0mm(防災センター) 瞬間最大風速 37. 6m
		2 物的被害	74 件 (住宅一部破損 24 件) (非住宅一部破損 10 件) (フェンス・堀等の破損 1 件) (電線等の障害 6 件) (倒木 13 件) (道路冠水 2 件) (その他 18 件)	
3. 3. 13	大雨	1 物的被害	7 件 (床下浸水 1 件) (道路冠水 6 件)	総雨量 3. 13 午後 1 時～ 3. 13 午後 6 時まで 77. 5mm(防災センター)
3. 7. 1 ～7. 4	大雨	1 物的被害	10 件 (倒木 2 件) (床下浸水 1 件) (道路冠水 1 件) (フェンス及び塀等の破損 1 件)	総雨量 7. 1 午前 1 時～ 7. 4 午後 10 時まで 331mm(防災センター)
3. 10. 1 ～10. 2	台風 16 号	1 人的被害	3 件(3 人) (中等症 2、軽症者 1)	総雨量 10. 1 午前 3 時～ 10. 2 午前 4 時まで 71mm(防災センター)
3. 12. 1	大雨	1 人的被害	2 件(2 人) (軽症者 2)	総雨量 12. 1 午前 3 時～ 12. 1 午前 8 時まで 39. 5mm(防災センター)
		2 物的被害	8 件 (家屋一部破損 1 件) (道路冠水 7 件)	

消 防 年 報

2022年（令和4年）版

発 行 藤 沢 市 消 防 局

〒251-8601 藤沢市朝日町1番地の1
TEL 0466(25)1111(代)

編 集 藤沢市消防局 警防課
通信指令担当

発 行 日 2022年（令和4年）9月